

地域プライド一覧
(全国アンケート調査より)

資料参考上の注意

- ・ 本地域プライド一覧は、都道府県から寄せられたアンケート回答を一覧として整理したもので、個々に記載されている地域プライドの内容や取り組み内容について、すべての内容を網羅しているものではありません。
- ・ また、都道府県から、地域の誇りとして考えられるものとして、「自然」や「食」、「天然記念物」に関するものも挙げられていましたが、本調査で取り扱う「歴史的地域プライド」の定義にそぐわないと判断し、一覧からは割愛しております。
- ・ アンケートは、1つの都道府県から複数の担当部署に依頼をしたため、地域プライドの内容が重複して挙げられているものもあります。
- ・ 市町村名等については、合併前の市町村名を示したものもあります。

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
北海道	アイヌ文化	アイヌ民族は、北海道の先住民であり、その文化は、北海道独自の文化として道民の間に広く周知されている。	アイヌ文化の振興	アイヌ文化振興・推進研究機構	・アイヌ民族の歴史・文化等の紹介リーフレット
	北海道全域				
北海道	北海道遺産「稚内港北防波堤ドーム」	稚内港における冬季の北西越波防止のために建設された半アーチ式ドーム。海上からの高さ14m、柱間6mの円柱70本を並べた長さ427mの世界でも類を見ない独特の景観と構造を持つ。港湾土木史に残る傑作であるとともに、旧樺太航路時代の記憶を残す歴史遺産。設計者は当時北大工学部を卒業して間もない26歳の土木技師、土谷実氏。イベントや市民活動等の場としても親しまれ、舳刈航路としてイベントの歴史や技術を多くの人々に伝えている。	「うま宗谷グルメ市」など 彩北わっキャナイト NPOによる映像配信 北海道遺産活用連絡会議の設置	うま宗谷グルメ市実行委員会 彩北わっキャナイト実行委員会 NPO法人映像コミュニティ・ムーブユー 稚内市	・NPOによる映像制作・配信
	稚内市				
北海道	北海道遺産「宗谷丘陵の周水河地形」	宗谷丘陵に見られるなだらかな地形は、約2万年前の最終氷期の間に形成された氷河由来の特徴的なもので、氷河周辺部での凍結融解の繰り返しによってできたもの。谷が樹枝状に延びる地形は上空からよく観察される。明治44年5月に起きた山火事で森林が失われて、その後は多くの笹に覆われているが、谷沿いにはようやく森林が回復しつつある。日本最北端のこの丘陵には、国内最大規模を誇る広大な肉牛牧場があり、黒牛約3,000頭が放牧されている。稚内市では北海道遺産に選定された「稚内港北防波堤ドーム」とともにPR活動や市民による勉強会などを実施。	北海道遺産認定記念講演会 周水河地形現地見学会 周水河地形パネル展 NPOによる映像配信 北海道遺産活用連絡会議の設置	稚内市、道（宗谷支庁） 稚内市、道（宗谷支庁） 稚内市、道（宗谷支庁） NPO法人映像コミュニティ・ムーブユー 稚内市	・NPOによる映像制作・配信
	稚内市				
北海道	北海道遺産「留萌のニシン街道（佐賀番屋、旧花田家番屋、岡田家と生活文化）」	ニシン漁は、松前藩の時代から北上するニシンを追い千石場所を変えながら、地域に様々な物語を残した。豊漁、薄漁、凶漁と気まぐれに押し寄せるニシンに翻弄され、いったん群来（「くき」。ニシンが産卵のために大群で押し寄せること）を見ると番屋では数の子や身欠きニシン作りにあけくれたものである。昭和32年ニシンは忽然と姿を消したが、番屋をはじめ、留萌のニシン街道には当時のニシン漁の賑わいや文化が色濃く残っている。	ニシン番屋まつり 重要文化財・旧花田家番屋の保存・修理 歴史を伝えるCD、DVDの制作	小平町 小平町 北海道（留萌支庁）	・CD、DVD - ニシン漁の歴史、当時の暮らし、料理、郷土芸能など写真、動画を編集
	留萌市、小平町、苫前町				
北海道	北海道遺産「増毛の歴史的建物群（駅前の歴史的建物と増毛小学校）」	留萌線の終着「増毛」駅の周りにはニシン漁で栄えたこの地で明治初期から営業を続けてきた「旧商家丸一本間家」を始め、日本海の風雪に耐えた石造りや木造の歴史的な建物が並ぶ。高台にある増毛小学校は1936年に建築された戦前期都市型木造校舎としては、北海道内唯一の現役校舎。今も生徒が元気に学び体育館では市民の手による「ふれあいコンサート」が開かれるなど、多くの人々に親しまれている。	木・音・人～ふれあいコンサート等（増毛小学校） 音のタペ（旧商家丸一本間家） 散策マップの作成 ボランティアガイドの養成 道路改良工事・街路灯など街並み整備	木・音・人～ふれあいコンサート実行委員会 木・音・人～ふれあいコンサート実行委員会 増毛町観光協会	
	増毛町				
北海道	北海道遺産「旭橋」	旭川市を流れる石狩川に架かる橋で、明治25年現在の位置に土橋が架けられたのに始まり、昭和7年、鋼鉄製のアーチ曲線を描く橋が、当時の最新技術をもって竣工した。戦争のために欄干を供出し木製の時代もあり、馬車や戦車、電車なども通るなど様々な旭川の歴史や人々の暮らしを見つめてきた。市民による「旭橋を語る会」や子供たちの学びにも活用されている。旭川市民の誇りでありシンボルとして愛されている。	旭橋を語ルーツどい・フォーラムなど パネル展 旭橋を知る連続講座 北海道遺産選定記念プレートの設置（橋の欄干） 旭橋のポストカード作成 全国子ども橋サミット等への参加	旭橋を語る会 北海道（上川支庁）、旭川市、北海道開発建設部等 北海道教育大学旭川校 北海道開発建設部 北海道開発建設部 北海道教育大学旭川校附属小学校	・豆本「旭橋」（旭橋を語る会）
	旭川市				
北海道	北海道遺産「土の博物館『土の館』」	スガノ農機（株）が開設の「土の博物館」で、北海道開拓が過酷な気象条件の中で進められた経緯や、土と人間の関わりの大切さを今に伝える。特に高さ4mの巨大な土の標本は世界に類を見ず、大正15年に起こった十勝岳噴火による泥流災害の凄さやどん底から見事に立ち直った人々のたくましさやくみ取ることができる。豊かな北海道の大地の裏側には、こうした土づくりの苦労があったことを、同社とともに市民が一緒になって伝えている。	北海道遺産選定記念・現地視察会 土の博物館「土の館」友の会の設立	上富良野町、スガノ農機（株） 企業OB、地域住民など	
	上富良野町				
北海道	北海道遺産「北海幹線用水路」	空知山地の西に沿った延長約80kmにおよぶ用水路で、農業専用では日本でもっとも長い。約1万6000haに灌漑し、北海道の穀倉の一つを支える重要な役割を果たしている。空知川から水を取るために大正13年に着工された北海頭首工（赤平市）を起点に、美唄市に調整池が作られ、さらに岩見沢市などの市街地では親水公園が整備。沿線には市民による植樹なども展開され、豊かな大地を支える影の功労者の存在を地元住民が中心になり人々に伝えている。	小学校の見学会の実施 植栽 子ども向けPR資料の制作 水田総合学習「たんぼの学校」への協力 小学生向け啓発用ソフト「デジタル紙芝居」 看板の整備	各小学校、青少年育成会 町内会など 土地改良区 土地改良区 土地改良区 地域住民	・小学生向け啓発用ソフト「デジタル紙芝居」 ・子ども向け冊子「たんぼをつくった水の道 - 北海幹線用水路物語」
	空知地域（赤平市～南幌町まで）				

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
北海道	北海道遺産「空知の炭鉱関連施設と生活文化」	空知地域は、国内最大の産炭地として最盛期に 100 炭鉱 83 万人の人口を擁し、日本の近代化を支えた。昭和 30 年代に入り I 株政策の転換による合理化、閉山が相次ぎ、空知の炭鉱はすべて姿を消した。地域に残る炭鉱関連施設は生産から生活まで多岐にわたり、まさに「屋根のない博物館」。空知では、歴史や文化を子どもたちに引き継ぐ取組みと、炭鉱遺産の観光資源としての活用など新しい地域づくりの挑戦が始まっている。	資料の収集、マップの作成 炭鉱遺産空間でのコンサート等 国際鉱山歴史フォーラムの開催（H15） 炭鉱サミットなど各種フォーラム、イベント 各種写真展 各種見学会、歩こう会など ボランティアガイドの養成 炭鉱遺産ツアーの誘致	北海道（空知支庁）、市民グループ 市民グループ 国際鉱山歴史フォーラム会議実行委員会 各地の市民グループ 各地の市民グループ、写真家 各地の市民グループ 各地の市民グループ 北海道（空知支庁）、市民グループ	・赤平市民ミュージカル ・三笠発祥「北海盆おどり」 ・「炭鉱の記憶再生事業」（CD、DVD）の作成 ・子ども向け冊子「これなあに？」ほか書籍、HP
	空知地域				
北海道	北海道遺産「江別のレンガ」	開拓使は内陸開発建築資材にレンガを奨励し、道内 8 地区 17 の工場で作られたレンガによって、北海道庁赤レンガ庁舎をはじめ多くの名建築が生まれた。大正以降、全道一の陶土地帯である江別の野幌周辺へとレンガ製造の中心が移り、現在も 3 つの工場が稼働している。江別産のレンガは全国シェアの 20% 以上を誇り、市内には小学校やサイロ、民家、倉庫など 400 棟以上のレンガ建築物が現存している。市民によるレンガのまちづくり活動が展開されるとともに、やきもの市などが開催されている。	えべつやきもの市の開催 フォーラムの開催 旧レンガ工場を使用したアンテナショップ セラミックアートセンター 市内の煉瓦建築物の実態調査	えべつやきもの市実行委員会 実行委員会 江別市、NPO 法人やきもの 21 江別市 江別市、NPO 法人やきもの 21	
	江別市				
北海道	北海道遺産「北海道大学札幌農学校第 2 農場」	第 2 農場に残る模範家畜房および穀物庫は、明治 10 年に建設された北海道大学でも最古の施設群で、1 戸の酪農家をイメージした日本農業近代化のモデルとしてクラーク博士により構想された。内部に展示されている農業機械群は、明治初期の農場開設時の輸入機械をはじめ、近代農業史を語る貴重な資料である。春から秋には一般公開され、北海道の農業の礎を学ぶことができる。	一般公開 パンフレットの作成	北海道大学 北海道大学	
	札幌市				
北海道	北海道遺産「開拓使時代の洋風建築（時計台、豊平館、清華亭など）」	札幌時計台や豊平館は、北海道開拓の初政をにたった開拓使の業績を伝え文明開化の先端をいった北海道の気風をよく表している。時計台は札幌のシンボルであり近年は 2 階ホールが音楽会や講演会など、豊平館も婚礼祝宴の場などとして親しまれている。札幌という都会の中に、開拓期を偲ぶ洋風建築（和洋折衷型も含める）の数々が静かに歴史を伝えている。この他、清華亭、旧永山武四郎邸など。	施設の市民利用（時計台～コンサート）など 施設の市民利用（豊平館～婚礼など） 「旧永山武四郎邸」の改修工事	札幌市 札幌市 札幌市	
	札幌市				
北海道	北海道遺産「札幌苗穂地区の工場・記念館群」	札幌市の創成川以東は、豊平川の豊かな伏流水や貨物輸送の利便性などによって明治期から「産業のまち」として栄え、今も福山醸造をはじめとした大小様々な工場や倉庫がひしめき下町的な雰囲気を残している。苗穂駅近隣にある北海道鉄道技術館、サッポロビール博物館、雪印乳業史料館は北海道の産業史を知る上でも貴重な記念館群である。苗穂地区の住民はこの歴史を伝えるため、マップの作成やガイドの養成などに取り組んでいる。	案内看板の設置 まちづくり情報誌、マップの作成 見学会、市民講座の開催 来館記念スタンプ（北海道遺産）を作成 工場などの公開	福山醸造 苗穂駅周辺まちづくり協議会 サッポロビール博物館など サッポロビール博物館、雪印史料館 JR 苗穂工場	
	札幌市				
北海道	北海道遺産「小樽みなとと防波堤」	「港湾工学の父」広井勇（小樽築港事務所初代所長）により建設された北防波堤は、セイロン（現スリランカ）のコロポ港防波堤を参考にし、独特の傾斜ブロック工法を採用した日本初の長大堤防。第二代所長伊藤長右衛門が考案したケーソン法を取り入れた南防波堤とともに、百年以上を経た今も現役で機能する。これらの防波堤に守られた小樽みなとは北海道への移住者の玄関口であるとともに、北の物流拠点、貿易港として、商都・小樽の繁栄を支えた。市民グループがこの歴史や技術を観光客などに伝える活動を展開中。	ボランティアガイド みなと資料館	小樽観光ガイドクラブ 小樽港湾建設事務所	
	小樽市				
北海道	北海道遺産「ニッカウヰスキー余市蒸溜所」	理想のウイスキーづくりをもとめた竹鶴政孝は、澄んだ空気と夏でもあまり気温の上がない気候に加え、近くに良質なビートに恵まれた余市をその適地として選んだ。昭和 11 年、ポットスチルに火が点じられてモルトウイスキーの製造が開始されて以来、当時と変わらない製法でウイスキーの蒸溜、貯蔵を行っている。スコットランドを偲ばせる社屋は、すべて当時の社員の手作りによって建設され、通りには夫人の名前が付けられるなど市民に親しまれている。	「リタロード」の整備 蒸溜所の見学 パンフレット	地域住民、従業員 ニッカウヰスキー 余市町、ニッカウヰスキー	
	余市町				
北海道	北海道遺産「内浦湾沿岸の縄文文化遺跡群」	内浦湾沿岸は北海道と本州を結ぶ縄文文化の交易路で、函館市南茅部地区には集落規模としては国内最大級の大船遺跡など 89 カ所の遺跡、精巧な漆塗り製品など 400 万点を超える出土品がある。伊達市の北黄金貝塚は、縄文早期（7000 年前）～中期（6000-4000 年前）の遺跡で住居や全国的にほとんど例のない「水場の祭祀場」が発見されており、地域では当時の様子を復元するなど、遺跡を活かしたまちづくりが進められている。住民による発掘作業やボランティアガイドが活発。	史跡北黄金貝塚公園・北黄金貝塚情報センター ボランティアガイド 縄文土器づくり体験など 大船遺跡速報展示室 ボランティアガイド	伊達市 オコシンの会 伊達市、オコシンの会 函館市 北の縄文 CLUB	
	函館市、伊達市など				

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
北海道	北海道遺産「姥神大神宮渡御祭と江差追分」	姥神大神宮渡御祭の起源はおよそ360年前にさかのぼる。その年のニシンの豊漁に感謝を込めて行われた祭りで、現在も毎年8月9日～11日にまちは祭り一色となる。13台の山車(やま)が祇園囃子の調べにのって町内を練り歩きさまは圧巻。江差追分は今から約250年前、中山道の馬子唄をルーツに北国の厳しい風土にもまれながら多くの先達に唄い継がれてきた。日本国内だけでなく、海外にも多くの愛好者を持ち、はるか遠い江差のニシン景気を現代に伝える。町には追分道場が多数ある。	姥神大神宮渡御祭の運営	江差町民全体	・江差追分関連CD、渡御祭の13台の山車・囃子など ・姥神大神宮渡御祭HP、江差追分HP
	江差町		いにしえ街道の整備 江差追分分館 江差追分道場 江差追分全国大会	北海道、江差町 江差町 江差町ほか 江差町、江差追分分	
北海道	北海道遺産「上ノ国の中世の館(たて)」 上ノ国町	北海道の中世には謎の部分も多いが、上ノ国町には「花沢館」「州崎館」「勝山館」の三つの館が存在する。夷王山中腹に広がる「勝山館」跡は、松前藩の祖とされる武田信広が15世紀に築城し、200戸以上の和人とアイヌ民族が一緒に暮らしていたとされる。勝山館や夷王山墳墓群の調査により、歴史のミツクグリクを埋める多くの資料が発掘された。	勝山館跡ガイダンス施設の整備	上ノ国町	
	松前町		福山城(松前城)の保存整備 福山城周辺のさくら保存・育成 松前さくらまつりなど 松前町さくらと城のふるさとづくり基金	松前町 松前町 松前町	・HP
北海道	北海道遺産「五稜郭と箱館戦争の遺構」	箱館戦争は明治元年秋の旧幕府脱走軍の侵襲に始まり、翌年春の新政府軍の反撃により、五稜郭開城で終わった。戦いは道南一帯に及び遺跡や遺構が随所に見られる。榎本武揚率いる旧幕府脱走軍が上陸した鷺ノ木(森町)、蝦夷島臨時政権の根拠となった五稜郭や、急ぎ造成された四稜郭、猛攻を受けた福山城、鷗島沖に座礁、沈没した開陽丸、新政府軍が上陸した乙部海岸、激闘の二股口、土方歳三が戦死した一本木開門跡など、戦いのすさまじさを偲ばせる。	特別史跡五稜郭の保存、修復、復元等 開陽丸の整備、一般公開 開陽丸をもっと知ろう事業、開陽丸入門講座等 箱館戦争をめぐる旅 市民創作野外劇	函館市 江差町 (財)開陽丸青少年センター 旅行者 NPO 法人市民創作「函館野外劇の会」	・市民創作函館野外劇
	函館市など		函館山緑地要塞跡現況測量調査など 旧登山道整備 函館山トレッキングマップ ガイドによる案内、ガイド養成	函館市 函館市 函館市、ボランティアグループ 市民グループ	
北海道	北海道遺産「函館山と砲台跡」	華やかな夜景で有名な函館山にはもう一つの顔がある。津軽海峡を望む函館山は明治中期に北方警備のため要塞化が進められ、多数のレンガ壁・コンクリート洞窟掩蔽壕・砲台座が残る。これほど大規模の旧状を残す軍事土木遺産は全国的にも例が少ない。終戦まで立入りが制限されたため、今も貴重な動植物の宝庫となっており、自然に触れることができる身近な散策コースとして市民に親しまれている。	伝統的建造物の保存、修理 市民グループによる民家の修繕	函館市 ボランティアグループ	
	函館市		函館は安政6年、横浜、長崎とともに最初に開港し、近代日本の幕開けを告げた町であり、西欧文化に開かれた玄関口として栄えてきた。函館西部地区には、埠頭倉庫群、函館どつこのような歴史的港湾施設、旧函館区公会堂やハリストス正教会復活聖堂に代表されるハイカラな洋風建築とともに、和洋をたくみに交えてデザインされた商家や住宅が数多く建ち並んでいる。昨今、その街並みや景観の保全、特に歴史的民家の保存に向け、市民や行政による取組が進められている。	自然歩道の整備 駐車帯、ビュースポットの整備 散策マップ、パンフレット 写真展などの開催 現地ガイド、遠足の実施 写真コンテスト	北海道、上士幌町 上士幌町、北海道開発建設部 上士幌町、NPO ひがし大雪アーチ橋友の会 NPO ひがし大雪アーチ橋友の会 NPO ひがし大雪アーチ橋友の会 NPO ひがし大雪アーチ橋友の会
北海道	北海道遺産「旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群」	昭和初期に十勝内陸の産業開発を目指して建設された第一級の鉄道遺産。市民と産学官が一体となった運動の結果、34橋梁が保存された。中でもタウシュベツのアーチ橋は、糠平湖の水位によりその姿を変える「幻の橋」として年々人気が高まっている。担い手たちの積極的な活動は産業遺産の保全・活用モデルとして全国的に知られている。	防風林の眺望ポイントへの看板設置 ビデオ「格子状防風林ものがたり」制作 遺産サポート倶楽部の設立 シンポジウムの開催など	中標津町 中標津町 遺産サポート倶楽部 遺産サポート倶楽部	・ビデオ「格子状防風林ものがたり」
	中標津町など		中標津町、別海町、標津町、標茶町にまたがる格子状防風林は、スペースシャトルからも撮影されたように、そのスケールは地球規模的で、北海道ならではの雄大なもの。幅180m、総延長643kmの林帯は、防風効果だけではなく野生生物のすみかや移動の通路としての機能も果たしている。開拓時代の殖民地区画を示す歴史的意義も持つ。防風林の重要性や効果を住民が認識していることに加え、ホーストレッキングなどその活用にも積極的な取組が展開されている。	看板の設置 会報の発行 ピアソン夫妻の足跡を訪ねるツアー ピアソン記念館の整備(記念室設置など) パンフレット	NPO ピアソン会、地域住民 NPO ピアソン会 NPO ピアソン会 北見市、NPO ピアソン会 北網圏北見文化センター
北海道	北海道遺産「ピアソン記念館」	アメリカ人宣教師G.P.ピアソン夫妻の私邸として1914年に建てられた。夫妻は道内各地を伝道しその終着に選んだ地がアイヌ語で「地の果て」を意味する野付牛(現在の北見)。廃娯運動や慈善活動など、夫妻の志は今も北見の精神文化のよりどころとして、今でも多くの市民に親しまれている。設計者は近江兄弟社創設者としても知られているW.M.ヴォーリス。NPO法人ピアソン会などを中心に夫妻の意志を守り、伝える取組が地道に展開されている。	防風林の眺望ポイントへの看板設置 ビデオ「格子状防風林ものがたり」制作 遺産サポート倶楽部の設立 シンポジウムの開催など	中標津町 中標津町 遺産サポート倶楽部 遺産サポート倶楽部	・ビデオ「格子状防風林ものがたり」
	北見市		看板の設置 会報の発行 ピアソン夫妻の足跡を訪ねるツアー ピアソン記念館の整備(記念室設置など) パンフレット	NPO ピアソン会、地域住民 NPO ピアソン会 NPO ピアソン会 北見市、NPO ピアソン会 北網圏北見文化センター	

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
北海道	北海道遺産「森林鉄道蒸気機関車『雨宮 21 号』」	森林鉄道蒸気機関車「雨宮 21 号」は東京・雨宮製作所で製造された初の国産 11 t 機関車。昭和 3 年、丸瀬布・武利意森林鉄道に配置され、国有林から伐り出した丸太や生活物資の搬送に携わってきたが、昭和 36 年に廃止。機関車に愛着を抱く地元民の強い要望で、昭和 51 年、北見営林局から町に譲渡され、町は「森林公園いこいの森」を建設し、鉄道を敷設して機関車を走らせた。この動態保存は道内では唯一のもの。市町村合併の日、2001 年を迎える日に住民が集まり雨宮号の記念運行を行うなど、住民にとって大きな存在となっている。	雨宮 21 号の運行	遠軽町（旧丸瀬布町）	
	遠軽町		絵本「走れ！あめみや号」の発行	遠軽町、観光協会	
			子ども自然体験教室での雨宮号の薪入れ体験	遠軽町	
			町民用観光ガイド「まるせつぶの虎の巻」	遠軽町	
			ほっかいどう学出前講座	道民カレッジ、遠軽町	
			木製雨宮号の制作・展示	地域住民	
北海道遺産「オホーツク沿岸の古代遺跡群」網走地域	オホーツク沿岸地域では縄文、続縄文、オホーツク文化、アイヌ文化まで各時代の遺跡が分布し、白滝村など内陸部では旧石器時代の遺跡が多く見られる。オホーツク沿岸の遺跡は樺太・シベリアなど大陸諸文化との関係が強く認められ、竪穴住居が連続と残る常呂遺跡、オホーツク文化遺跡として著名なモヨロ貝塚、縄文後期の斜里町朱円周堤墓などが代表格。	モヨロ貝塚の発掘調査・見学会・展示会	網走市立郷土博物館		
北海道遺産「屯田兵村と兵屋」	屯田兵は明治 8 年の札幌郡琴似村に始まり、開拓と軍備のため、明治 32 年の土別、剣淵まで道内各地に 37 か村に兵村が置かれた。通常 1 中隊 200 戸を単位。上湧別町には当時の区画の北兵村地区と南兵村地区が今も残っており、ふるさと館には兵屋がそっくり保存されている。札幌市琴似、美幌市、土別市、厚岸町太田、根室市和田などに兵屋、札幌市新琴似、江別市野幌に中隊本部の建物が保存され、北見市の信善光寺には珍しい屯田兵人形 75 体が祭られている。最初の入植地である札幌市琴似では入植 130 年を機に屯田兵の歴史を伝えるイベントが住民、小学校、商店街など地域を挙げて行われた。	屯田兵屋の展示、看板設置	上湧別町		
北海道各地		屯田兵屋体験施設の整備	上湧別町		
		屯田祭り・屯田バレー	上湧別町、地域住民		
北海道遺産「アイヌ語地名」	北海道の地名の約 8 割はアイヌ語に由来するとされている。アイヌ語の地名は、知らない場所でも、その名から地形などがわかるものとなり、現在は片仮名や漢字で表記され原音と異なる場合もあるが、本来はアイヌ民族の自然と調和した伝統的生活の中から歴史的に形成された。アイヌ文化の意義を理解する重要な手がかりとなっている。	アイヌ語地名ファンブックなどの作成	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構		
北海道各地		アイヌ語地名に関する講座	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構、民間カルチャーセンターなど		
		看板などへのアイヌ語地名併記	北海道（土木現業所）、平取町		
北海道遺産「アイヌ文様」	世界の各民族には、それぞれ独特の精神的意味合いを含めた「文様」がある。アイヌ文様の基本は「渦巻き（モレウ）」「とげのある形（アイウシ）」、「うろこ（ラムラムノカ）」の 3 つ。これらを組み合わせ連続した線で結んでいく。その形状、図案や色彩は、印象深い美的価値を含んでおり、文化的にも秀逸なものとして近年、特に注目が高まっている。	アイヌ文様データベースの作成	平取町立二風谷アイヌ博物館など		
北海道各地		アイヌ文様の木彫り、刺繍体験	平取町立二風谷アイヌ博物館など		
		ふるさと切手の発行	日本郵政公社		
		アイヌ文様の葉書、コースターなどの作成	平取町立二風谷アイヌ博物館など		
北海道遺産「アイヌ口承文芸」	アイヌ民族が育んできた「口承文芸」は、人から人へ、長い間、途切れることなく語り伝えられてきたもので、英雄叙事詩、神謡、散文説話などがある。サコロベ、ユカラなどと呼ばれる英雄叙事詩は、短いメロディを繰り返しながら長大な物語が語られ、空を飛んだり、海に潜ったりする超人的な行動なども含まれる壮大なストーリー。	アイヌ語弁論大会	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構		
北海道各地		口承文芸伝承者育成	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構、(財)アイヌ民族博物館、平取町など		
		小冊子の作成	北海道		
		解説書、CD などの発行	(財)アイヌ文化振興・研究推進機構、民間出版社		
北海道	北海道開拓の誇り	北海道庁旧本庁舎は北海道開拓の象徴的建物であり、「赤レンガ」の愛称で広く道民に親しまれている。	国指定重要文化財北海道庁旧本庁舎の保存	北海道	・文化財（史跡・建造物）の紹介パンフレット
北海道		国指定史跡開拓使札幌本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎の保存	北海道		
札幌市、江別市、美幌市、厚岸町、根室市	屯田兵開拓地としての誇り	上記の地域では、国、道の文化財に指定された兵屋、中隊本部などが大切に保存されており、屯田兵の暮らしを伝えている。	国指定史跡琴似屯田兵村兵屋跡の保存	北海道、札幌市	・文化財（史跡・建造物）の紹介パンフレット
	札幌市、江別市、美幌市、厚岸町、根室市		道指定有形文化財琴似屯田兵屋の保存	北海道、札幌市、琴似神社	
			道指定有形文化財野幌屯田兵第二中隊本部の保存	北海道、江別市	
			道指定有形文化財美幌屯田兵屋の保存	北海道、美幌市	
			道指定有形文化財太田屯田兵屋の保存	北海道、厚岸町	
			道指定有形文化財和田屯田兵村の被服庫の保存	北海道、根室市	

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	開港の歴史を物語る町並みを守る誇り	函館は下田、長崎とともに最初に開港し、西欧文化に開かれた港町として発展してきた。西部地区には和洋文化が混在、折衷した特色ある町並みが残り、特に元町、末広町、豊川町の一部は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、官民一体となった町並み保全の取り組みが行われている。	函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区の保存	北海道、函館市、函館市伝統的建造物群保存会	・文化財（建造物）の紹介パンフレット
	函館市		保存地区先進地調査研修、文化財等見学会	函館市、函館市伝統的建造物群保存会	
	函館市		保存地区内清掃活動 伝建コンサート	函館市、函館市伝統的建造物群保存会 函館市、函館市伝統的建造物群保存会	
	五稜郭と箱館戦争	五稜星形の平面形状をもつ西洋式の城である五稜郭は、明治元年の箱館戦争の舞台として日本人の記憶に刻み込まれている。五稜郭跡は現在、国の特別史跡として指定されている。五稜郭跡を舞台に、多くの市民ボランティアによる創作野外劇が毎年夏に取り組まれている。	市立函館博物館五稜郭分館	函館市	・創作野外劇 ・五稜郭跡発掘調査 ・文化財の紹介パンフレット、発掘調査報告書
	函館市		函館タワー 函館野外劇	五稜郭タワー（株） 函館野外劇の会	
	函館市		国指定特別史跡五稜郭跡の保存	北海道、函館市	
	城跡（福山城跡）と桜の名所	福山城は我が国最後の日本式築城。明治維新で被害を受け城郭の形態を失った。その後、史跡に指定され整備が図られてきた。城の後背地には寺町地域があり墓所、寺院山門など指定文化財がある。城跡一帯は史跡公園として広く親しまれ、全国でも有数の桜の名所としても知られる。	国指定史跡福山城跡の保存	北海道、松前町	・城跡整備に伴う発掘調査 ・文化財の紹介パンフレット、発掘調査報告書 ・さくら祭り広報物
	松前町		国指定松前藩主松前家墓所の保存	北海道、松前町	
			国指定重要文化財福山城本丸御門の保存	北海道、松前町	
			松前さくら祭り	松前町、松前観光協会、松前町商工会	
			松前城資料館	松前町	
伝統芸能を守り、継承する町としての誇り	上記地域では、道指定無形民俗文化財である5つの芸能の保存伝承活動に熱心に取り組んでおり、中でも「江差追分」は、全国に愛好家があり、毎年、全国大会を開催している。また、平成10年には、「歴史のまち宣言」を行い、個性ある街並み景観を創造し歴史的な建造物や有形民俗文化財の整備にも取り組んでいる。	道指定無形民俗文化財江差追分の保存伝承	北海道、江差町、江差追分保存会	・HPにより紹介、ビデオにより芸能の記録	
		道指定無形民俗文化財江差沖揚げ音頭の保存伝承	北海道、江差町、江差沖揚げ音頭保存会		
		道指定無形民俗文化財五勝手鹿子舞の保存伝承	北海道、江差町、江差町五勝手鹿子舞保存会		
		道指定無形民俗文化財江差三下りの保存伝承	北海道、江差町、江差三下り保存会		
		道指定無形民俗文化財江差餅つき囃子の保存伝承	北海道、江差町、江差餅つき囃子保存会		
北海道鉄道発祥の地としての誇り	旧手宮鉄道施設は、北海道で最初に建設された幌内鉄道の起点である。現存する機関車庫、危険品庫、転車台などは国の重要文化財に指定され、大切に保存されている。また、同一敷地内には交通記念館が整備され、道内に所在する鉄道記念物のほとんどがここに集められている。	国指定重要文化財旧手宮鉄道施設の保存	北海道、小樽市	・文化財（建造物）の紹介パンフレット	
		小樽交通記念館	小樽市、（株）小樽市交通記念館		
町の歴史を見続けた建造物を守る誇り	旧旭川偕行社は、陸軍第7師団の将校クラブ施設として建設された。戦後、進駐軍の将校クラブ施設、仮校舎、市の博物館など用途の変遷をたどり、現在は彫刻美術館として利用されている。白亜の洋館として広く市民に親しまれ、国の重要文化財として大切に保存されている。	国指定重要文化財旧旭川偕行社の保存	北海道、旭川市	・文化財（建造物）の紹介パンフレット	
二シシ漁場の伝統を守る誇り	上記地域には、国、道の文化財に指定された漁場や漁撈用具、番屋や商家などの建造物が大切に保存されており、漁場の繁栄を伝えている。	道指定有形文化財漁場建築佐藤家の保存	北海道、寿都町	・文化財（史跡・建造物等）の紹介パンフレット	
		国指定史跡旧余市福原漁場の保存	北海道、余市町		
		道指定有形文化財二シシ漁場建築の保存	北海道、小樽市		
		国指定重要文化財旧本間家住宅の保存	北海道、増毛町		
		国指定重要有形民俗文化財留萌の二シシ漁撈（旧佐賀家漁場）用具の保存	北海道、留萌市		
		国指定史跡旧留萌佐賀家漁場の保存	北海道、留萌市		
伊達武士団開拓の誇り	伊達市は、仙台藩亙理領伊達邦茂主従が移住し、開拓された町である。同市の開拓記念館には伊達家ゆかりの品々が大切に保存されているほか、仙台地方の建築様式を取り入れて建てられた旧三戸部家住宅が国の重要文化財として大切に保存されている。	国指定重要文化財旧三戸部家住宅の保存	北海道、伊達市	・文化財（建造物）の紹介パンフレット	
		伊達市開拓記念館	伊達市		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	蝦夷三官寺の歴史を守る誇り	上記の地域では、文化元(1804)年に江戸幕府が新建した蝦夷三官寺に関わる史跡や美術工芸品が、道の文化財として大切に保存されている。また、住民参加によるフォーラムなどが行われている。	国指定重要文化財 蝦夷三官寺善光寺関係資料の保存	北海道、伊達市、善光寺	・文化財(史跡、美術工芸品)の紹介パンフレット
	伊達市、様似町、厚岸町		国指定史跡善光寺跡の保存	北海道、伊達市、善光寺	
			道指定有形文化財釈迦如来立像の保存	北海道、伊達市、善光寺	
			伊達市有珠郷土館	伊達市、善光寺	
			国指定重要文化財 蝦夷三官寺等澗院関係資料の保存	北海道、様似町、等澗院	
			国指定重要文化財 蝦夷三官寺国泰寺関係資料の保存	北海道、厚岸町、国泰寺	
	国指定史跡 国泰寺跡の保存	北海道、厚岸町、国泰寺			
	縄文遺跡を守り活用する誇り	国の文化財に指定されている史跡をはじめ重要文化財が大切に保存されている。それらを生かした事業が市民を主体になって展開されている。	国指定史跡大船遺跡の保存	北海道、函館市	・史跡整備に伴う発掘調査 ・文化財(史跡、重要文化財)の紹介パンフレット
	伊達市、虻田町、函館市		国指定史跡北黄金貝塚の保存	北海道、伊達市	
			国指定重要文化財土偶の保存	北海道、函館市	
			国指定史跡入江・高砂貝塚の保存	北海道、虻田町	
			大船遺跡埋蔵文化財展示館	函館市	
北黄金貝塚情報センター			伊達市		
縄文まつり			伊達市		
縄文土器づくり大会	函館市、北の縄文CLUB				
アイヌ民族の歴史を伝える誇り	アイヌの人びとと和人の戦いに関する遺跡が保存されており、戦いに参加したアイヌの人びとを地域住民が認知しており、その人びとを顕彰する祭りや慰霊祭が地域住民によって開催されている。	国指定史跡シベチャリ川流域チャシ跡群およびアップベツチャシ跡の保存	北海道、静内町	・文化財(史跡)の紹介パンフレット及び副読本、HP	
静内町、根室市		国指定史跡根室半島チャシ跡群の保存	北海道、根室市		
		ジャクシャインまつり	ジャクシャイン法要祭実行委員会		
		ノッカマップイチャルバ(慰霊祭)	北海道ウタリ協会 根室支部		
		静内町郷土博物館	静内町		
		根室市歴史と自然の資料館	根室市		
青森県	日本3大踊りとしての誇り	日本三大踊りの一つ。期限は男女の恋の掛け合い唄から発展したと言われており、盛んになったのは約200年前の天明の頃に境形右衛門という名家老が商工政策として農村から城下町へ人を集めるために奨励してからと言われている。廻り踊り、組踊り、流し踊りがあるが、圧巻なのは3,000人近い踊り子達が市内の自抜き通りに繰り広げる流し踊りである。	黒石よされ	黒石市観光協会	・津軽民謡の津軽よされ節 ・三味線、太鼓、鼓(つつみ) ・まつり紹介のパンフレット
黒石市	津軽伝承工芸館		黒石アクアリゾート開発(株)		
先人の勇気と人間愛に対する誇り	チェスボローカップ水泳駅伝		つがる市	・大会紹介のパンフレット	
つがる市(旧車力村)	キリスト祭		新郷村観光協会事務局(同村商工観光課内)	・キリスト伝説 ・盆踊り唄「ナニヤドヤラ」 ・獅子舞、盆踊り	
キリスト伝説の残る地としての誇り	同村には「十来塚」と呼ばれるキリストの墓と「十代塚」と呼ばれる弟イスキリの墓がある。キリストははりつけの刑にされるが、処刑されたのは弟のイスキリで、日本に渡来して同村の戸来に居を構え、106歳の天寿を全うした伝説がある。その伝説に基づき、墓前で神事を行い、盆踊り唄「ナニヤドヤラ」が女性達の踊りとともに奉納される。		津軽三味線全日本金木大会	商工会	
津軽三味線発祥の地としての誇り	金木町で生まれた津軽三味線の始祖仁太坊(にたぼう)、本名「秋元仁太郎」の業績を讃え、発祥の地として津軽三味線全日本金木大会、仁太坊まつりなどが開催される。	仁太坊まつり	金木あすなる商店会		
五所川原市(旧金木町)	津軽三味線会館				
青森県	弘前市ねぶたまつり	弘前ねぶたまつりは、その始まりが諸説あり、はっきりとした経緯は不明である。しかしながら、はるか昔から津軽の人々の生きがいとなっており、時代と共に変化しながら現在まで続いている。 ・重要無形民俗文化財 ・残したい日本の音風景百選認定	弘前ねぶたまつり	弘前市、弘前観光コンベンション協会、弘前商工会議所	・ねぶた囃子 ・ねぶた絵(錦絵) ・各種ねぶた関係の書籍
弘前市	ねぶた囃子講習会		弘前観光コンベンション協会、津軽組		
	ねぶた講習会		弘前観光コンベンション協会、津軽錦絵作家協会		
	ねぶた絵三展		弘前観光コンベンション協会		
	ねぶたの館		津軽藩ねぶた村		
	弘前市立観光館		弘前市		
弘前市	弘前ねぶた速報ガイド	路上社			

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	広泰寺・不識塔 西目屋村（川原平）	川原平地区を開墾した人物「斉藤主」の寺及び墓として住民が認識している。この建造物は現存するレンガ造りの建造物としては珍しく、村文化財として指定しており、数年前まで不識塔の地下には「斉藤主」の遺体はアルコール漬けで埋葬されていた。	村指定文化財	西目屋村教育委員会	・西目屋村誌
	マタギ 西目屋村（砂子瀬・川原平）		白神自然ガイド	白神マタギ舎	
	田舎館村唯一の無形民俗文化財としての誇り 田舎館村（垂柳地区）	田舎館村唯一の無形民俗文化財で、元和時代田舎館組代官の所在地である垂柳に於いて始められ、当時殿様の歓迎に催していたものとされ、地域住民が保存会を設立し大切に継承し守っている。	神明宮奉納	垂柳囃子踊保存会	
	地域に根づいた郷土（祭典）の誇り 佐井村（古佐井・大佐井地区）	遠く江戸時代から途絶えることなく受け継がれてきた京都の祇園の流れをくむ華やかな祭り「箭根森八幡宮例大祭」は、300年以上の歴史をもつ由緒あるお祭りであり、そのまの形で大切に引き継がれている。9月14日から3日間、猿田彦（天狗）を先頭に御神輿行列・神楽・山車の一行は、両地区を練り歩く、村の一大イベントであり、子どもからお年寄りまで心踊らせる。また、就職や勉学のため村を離れている者も駆けつけ祭りを盛り上げるほど、この祭典は、地域住民の誇りと考えられるため。	箭根森八幡宮例大祭 佐井村海峽ミュージアム 観光パンフレット 郷土芸能教室 郷土芸能発表会	箭根森八幡宮、古佐井共済会、大佐井青年会 佐井村、佐井村教育委員会 佐井村、佐井村教育委員会 古佐井共済会、大佐井青年会 佐井村、古佐井共済会、大佐井青年会	・箭根森八幡宮例大祭
	脈々と受け継がれてきた郷土芸能の誇り 佐井村（福浦地区）	明治23年、上方役者から2ケ年に渡り指導を受けて以来、地区住民の娯楽として「福浦の歌舞伎」は今日まで、100年余り継承されている。台本もなく口伝で継承されたことで台詞に方言がつかわれ独自性が強く、世襲制も受け継がれている。最近では、子どもも減り、出稼ぎ者が多くなり地区の過疎化がすすむが、地元に残る住民で構成する保存会などが中心となり、地域ぐるみで子どもから大人まで「福浦の歌舞伎」として、伝統芸能を大切に守り、伝承しているこの歌舞伎は地域住民の誇りと考えられるため。	福浦の歌舞伎 歌舞伎の館 観光パンフレット 郷土芸能教室 郷土芸能発表会	福浦芸能保存会 佐井村、佐井村教育委員会 佐井村、佐井村教育委員会 福浦芸能保存会 佐井村、佐井村教育委員会	・福浦の歌舞伎
	鶏舞 階上町平内地区	武蔵坊弁慶が奥州衣川の戦いで戦死したときの霊を弔うために舞ったものといわれており、地域住民が代々受け継いで今日に至っている。この鶏舞は、昭和34年10月6日青森県無形文化財に指定されている。また、昭和16年5月明治神宮、同32年10月靖国神社、上野音楽学校、同36年9月福島県、平成3年国立劇場など奉納芸能大会に参加している。	鶏舞 平内えんぶり・鶏舞保存館 民俗芸能指導	平内鶏舞組 階上町、平内鶏舞組 平内鶏舞組、登切小学校	・鶏舞 ・鶏舞の由来を伝える紙芝居 ・階上村誌、階上町史、郷土誌はしかみ
	平内えんぶり 階上町平内地区	八戸地方に残る代表的な「ながえんぶり」で、地味ではあるが芸がすずれていないもので、地域住民が代々受け継いで今日に至っている。このえんぶりは、昭和36年10月6日青森県無形文化財に指定されている。また、平成3年鶏舞とともに国立劇場民俗芸能公演に上演している。	平内えんぶり 平内えんぶり・鶏舞保存館 民俗芸能指導	平内えんぶり組 階上町、平内えんぶり組 平内えんぶり組	・平内えんぶり ・階上村誌、階上町史、郷土誌はしかみ
	田代えんぶり 階上町田代地区	苗とり（えんぶりの踊り）として古くからあったが、現在のえんぶりになったのは明治の中頃で、福地の杉沢えんぶりの指導を受けてはじめられたといわれているもので、地域住民が代々受け継いで今日に至っている。「どうさいえんぶり」である。このえんぶりは、昭和41年5月25日青森県無形文化財に指定されている。	田代えんぶり 田代えんぶり保存館 民俗芸能指導	田代えんぶり組 階上町、田代えんぶり組 田代えんぶり組、田代小学校	・田代えんぶり ・階上村誌、階上町史、郷土誌はしかみ
	南部駒踊 階上町赤保内地区	南部藩の牧場に放牧している野馬を捕らえる野馬追いから始められたものといわれ、数頭の馬と笛、太鼓、鈴の拍子にあわせて勇んで踊る姿は勇壮華麗であり、地域住民が代々受け継いで今日に至っている。この南部駒踊は、昭和36年10月6日青森県無形文化財に指定されている。	南部駒踊 赤保内駒踊保存館 民俗芸能指導	赤保内青年駒踊組 階上町、赤保内青年駒踊組 赤保内青年駒踊組、赤保内小学校	・南部駒踊 ・南部駒踊の由来を伝える紙芝居 ・階上村誌、階上町史、郷土誌はしかみ
	鳥屋部えんぶり 階上町鳥屋部地区	藩政時代から苗取りとして継承されてきたが、明治の中頃八戸市松館宇細えんぶりを師匠とし「どうさいえんぶり」が習得され、地域住民が代々受け継いで今日に至っている。	鳥屋部えんぶり 鳥屋部えんぶり保存館 民俗芸能指導	鳥屋部えんぶり組 階上町、鳥屋部えんぶり組 鳥屋部えんぶり組、階上小学校	・鳥屋部えんぶり ・鳥屋部えんぶりの由来を伝える紙芝居 ・階上村誌、階上町史、郷土誌はしかみ
	道仏神楽 階上町道仏地区	道仏の神楽は白龍大権現といって、およそ300年前から山伏であった赤松家に代々継承されてきたもので、「中山」の系統に属しリズムは5拍子である。神楽の舞は12種類の舞曲からなり、山の神、荒神など特徴のある面をつけて舞う姿は魅力的で変化に富んでおり、優雅、神聖の中にもしゃべりがあり、古くから民衆の心をとらえ、娯楽と信仰のよりどころとなっている。	道仏神楽 道仏神楽保存館 民俗芸能指導	道仏神楽組 階上町、道仏神楽組 道仏神楽組、道仏小学校	・道仏神楽 ・道仏神楽の由来を伝える紙芝居 ・階上村誌、階上町史、郷土誌はしかみ
	八皿 階上町平内地区	根城南部と秋田安藤氏との戦いの時、南部藩主が戦勝祈願したところ2羽の鶴が飛来し戦陣の上で舞い、九つ星が降ってきた懐の中に入った夢を見た。これが戦勝に結びつき南部家では向鶴と九曜紋を用いるようになった。八皿は、お酒の入った飯汁の椀をその九曜紋の形になぞらえ一年の無病息災を祈る行事として行われるようになった。平内地区は南部藩の地域として、その伝統行事を現在に伝承している。	八皿	平内地区住民	・階上村誌、階上町史、郷土誌はしかみ ・年中行事（旧正月）
	キリストの墓 新郷村	「キリスト伝説」、神秘的な村として人々の注目をあびている。既に70年以上たった今でも、神秘・ロマンとしてこの「湧説」を取上げています。村民たりは純粋な気持ちでそれを信じ、言い伝えて今日に至っています。毎年6月の第1日曜日にキリスト祭りを開催し、ナニャドラの唄と踊りを奉納していることから、地域住民には十分熟知されていると考えられる。	キリスト祭り	新郷村観光協会	・ロマン溢れる神秘的な里（キリストの墓）

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	金ケ沢鶏舞	金ケ沢に数百年の伝統を保ち続ける「金ケ沢鶏舞」は、昭和51年6月に県無形民俗文化財に指定されています。この地区の住民は、小・中・高校生を対象に、この伝統を伝授し後生に受け継がれている。	金ケ沢鶏舞	金ケ沢鶏舞保存会	・金ケ沢鶏舞
	新郷村金ケ沢地区				
	天間のみよこ	みよこさんは天間林村に実在した人物で、15歳で当時の馬の産地で有名な軍馬補充部で働いていた。つらい仕事であったが人一倍の働き者で、気立てもよく健康で誰にでも好かれる人気者であり若者達の憧れの的であった。後に盆踊り「虎じよ様」の歌にまで歌われるようになり、南部地方でも「天間のみよこ」と言えば知らない人がいないくらい有名になり、地域住民にも浸透している。	みよこまつり	七戸町	・民謡「とらじよ様」(みよこが歌詞にでてる)
	七戸町(旧天間林村)				
	剣舞踊	約1200年前、ツボ族とニッサタイ族という一族がいて、戦いによりツボ族が滅びニッサタイ族が勝利を祝し官軍が一体となって夜が更けるのも忘れ踊ったとゆう伝説があり、現在も古代ゆかしい剣舞踊として受け継がれ地域住民にも浸透している。	剣舞踊	上原子剣舞踊保存会	
	七戸町(旧天間林村)				
	七戸秋まつり	七戸秋まつりは、農産物の豊稔を地域全体で祝す連帯感をもった伝統的なまつりで、地域住民にも浸透している。	七戸秋まつり	七戸町秋祭り実行委員会	・「七戸町史」、七戸の文化財」、HP
	七戸町(旧七戸町)				
	旧正月まける日	江戸時代の中頃、商人が一年のお礼の気持ちを込めて、旧暦の1月16日の夜中に開催されたのが始まりで、現在も商店街を中心とし観光イベントの一つとして盛大に開催されている。	旧正月まける日	七戸町商工会、七戸町商店会	・「七戸町史」、七戸の文化財」、HP
	七戸町(旧七戸町)				
	親孝行踊り	七戸町だけに残る伝統芸能で、南部藩第36代利敬が領民教化のために作られた数え歌式の親孝行動の歌と踊りが中心となり、第29代重信の作られた天下泰平の歌及び四方さんば、千秋楽などの踊りが付随されている。	郷土芸能発表会	七戸町郷土芸能保存協議会	・七戸忠孝会 ・「七戸町史」、七戸の文化財」、HP
	七戸町(旧七戸町)		七戸秋祭り中日奉納		
	地域伝承文化としての誇り	松明流し(岩館地区)・ポーノ神送り(平田森地区)・荒駒踊(柏木町地区)・獅子踊(尾崎地区・広船地区・大光寺地区・石郷地区・新屋地区・沖館地区・町居地区)があり、地域の人々が大切に守ってきた伝承文化であるため。	松明流し	岩館町会	・既記伝承芸能および伝統行事の写真 ・獅子踊(尾崎・広船・大光寺・石郷・新屋・沖館・町居地区) ・既記伝承芸能および伝統行事の記録ビデオ
	平賀町		荒駒踊	柏木町荒駒踊保存会	
	徐福渡来伝説の地としての誇り	約2200年ほど前、秦の始皇帝の命を受けて日本へ不老長寿の仙薬を求めに来た徐福が権現崎(小泊岬)に漂着し、地域に農耕・漁業の技術を広めたという伝説に基づき、中国福建省の朱炳聡が中国産の白御影石を使用して制作した「徐福像」及び周辺を公園化整備した「徐福の里」	徐福石像建立	中泊町	・徐福の石像 ・徐福渡来伝説の紙芝居 ・アイヌネギを使用した清涼飲料水「徐福伝説」
	小泊地域		徐福の里整備 清涼飲料水「徐福伝説」発売	中泊町 中泊町商工会	
	作家太宰治の子守「越野たけ」在住の地としての誇り	太宰治の小説「津軽」のクライマックスは、子守をしていた越野たけと小泊で再会する場面である。その場面をブロンズ像で表現するため全国から寄付を募り、小説「津軽」の像として建立した。周辺を再会公園として整備し、記念館を建設して太宰とたけに関する資料等を展示しており、生前のたけの映像等もビデオで鑑賞できる。	小説「津軽」の像建立	中泊町	・太宰治著「津軽」 ・太宰とたけのブロンズ像 ・たけへのインタビュー映像(ビデオ) ・記念館のパンフレット
	小泊地域		小説「津軽」の像記念館建設 太宰治歴訪ルート石碑建立	中泊町 小泊歴史を語る会	
	吉田松陰遊賞の地としての誇り	吉田松陰遊賞碑建立やみちのく松陰道整備等	吉田松陰遊賞碑	中泊町	・「吉田松陰津軽の旅」
	中里・小泊地域		みちのく松陰道整備	青森県、中泊町	
中里・小泊地域	中里の中心部に位置する中里城遺跡は、古くから「館ッコ」「お城ッコ」等と呼ばれ、中里地域の象徴としてみなされてきた。現在では、中里城跡史跡公園として整備されているほか、地域住民有志によって「中里城址古代ロマンコンサート」が数回に亘って開催された。	企画展「吉田松陰と中里」開催	中泊町博物館	・中里城址古代ロマンコンサート ・中里城跡発掘調査 ・中里城跡発掘調査報告書	
		博物館講座「わたしがみた岩木川」	中泊町博物館		
中里地域	中里の中心部に位置する中里城遺跡は、古くから「館ッコ」「お城ッコ」等と呼ばれ、中里地域の象徴としてみなされてきた。現在では、中里城跡史跡公園として整備されているほか、地域住民有志によって「中里城址古代ロマンコンサート」が数回に亘って開催された。	みちのく松陰道説明石板、道標設置	青森県歴史の道整備促進協議会		
		中学生律詩式で陸奥松影等は	小泊中学校		
水郷集落	岩木川下流域に位置する武田地区には、かつての水郷集落としての遺産が随所に残されている。猿賀神社船絵馬群や川舟に代表される文化財、河川敷に自生するものを活用したアシガヤ産業等、独特の生活文化が根付いている。	史跡公園整備	中泊町	・中里城址古代ロマンコンサート ・中里城跡発掘調査 ・中里城跡発掘調査報告書	
岩木川流域		古代ロマンコンサート実施	なかさとものがたり研究会、「のれ！それ！中里」実行委員会		
中里・小泊地域	源義経の家田大導寺力の奥方札を祀る五林神社五輪塔や、義経(一説には頼朝ともいう)を祭神とする白旗神社、義経の足跡等の史跡や、それらにまつわる伝承が残されている。	中里城址のテーマソング・歌詞碑製作	「のれ！それ！中里」実行委員会		
		発掘調査	中泊町教育委員会		
義経伝説	源義経の家田大導寺力の奥方札を祀る五林神社五輪塔や、義経(一説には頼朝ともいう)を祭神とする白旗神社、義経の足跡等の史跡や、それらにまつわる伝承が残されている。	猿賀神社例大祭	地域住民	・豊岡水郷集落復元模型	
中里・小泊地域		川舟等民俗資料の保全・展示	中泊町博物館		
中里・小泊地域	源義経の家田大導寺力の奥方札を祀る五林神社五輪塔や、義経(一説には頼朝ともいう)を祭神とする白旗神社、義経の足跡等の史跡や、それらにまつわる伝承が残されている。	「岩木川のくらし」企画展開催	中泊町博物館		
		博物館講座「吉田松陰がみた奥津軽」	中泊町博物館		
		解説板設置 例大祭 こども教室「石碑探検」	中泊町教育委員会 地域住民 中泊町博物館		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
青森県	世界的版画家棟方志功 出生の地	世界的に評価の高い版画家であり、その棟方志功の生涯がTVなどでドラマ化されたほか、ミュージカルの題材として取り上げられ、全国的な知名度がある。本県初の文化勲章受章者となるなど青森市民にも広く親しみをもたれ、作品は棟方志功記念館で展示されているほか、来年7月開館予定の県立美術館での常設展示が予定されている。	棟方志功記念館	(財)棟方志功記念館	・棟方志功版画大綱、わだばゴッホになる ・釈迦十大弟子、柳緑花紅頰 ・ミュージカル「棟方志功炎じゃわめく」(わらび座) ・棟方志功記念館HP	
	青森市		棟方志功賞版画展	青森市教育委員会		
	太宰治出生の地	太宰治は、戦前から戦後にかけて活躍した小説家であり、現在も多く読者に愛されている。太宰治の生まれ育った生家が、太宰治記念館「斜陽館」として国の重要文化財に指定され、全国の多くの太宰ファンが同館を訪れるほか、毎年、五所川原市金木において生誕祭を開催している。	太宰治記念館「斜陽館」	五所川原市	・「津軽」「人間失格」「走れメロス」他多数 ・五所川原市HP	
	五所川原市		太宰治生誕祭	五所川原市教育委員会		
	こざん刺し	江戸時代、津軽の農村の女性たちが、麻地の着物の保温と補強のために、布地の要所要所に木綿で刺子を施して生み出された。こざん刺しの特徴は、藍染の麻地に白い木綿糸で織目に沿って手刺しするところにあり、その素朴で美しい幾何学模様は、一針一針丹念に刺し続ける北国の女性の繊細さと力強さを象徴し、津軽地方において、伝統工芸品として受け継がれている。	民芸製作体験	津軽藩ねぶた村	・「津軽こざん」と南部菱刺し - 工芸美の発見と復興のみちすじ - (青森県史研究7号)「刺しこざんと菱刺し」(青森県立郷土館)、「こざん刺し」、「新こざん刺し入門」 ・青森県庁HP(青森県の伝統工芸品)	
	弘前市をはじめとする津軽地方		こざん刺し体験	前田セツこざん研究会		
			こざん刺し授業(家庭科)	弘前工業高校		
	津軽こざん刺し体験	(有)弘前こざん研究所				
	南部菱刺し	江戸時代、南部の農村の女性たちが、麻地の着物の補強と保温のために、布地の偶数目に木綿で刺子を施して生み出された。偶数目を拾って織りなされる多様な幾何学模様は、ネクタイやタペストリーなど新たな製品にもその技術は応用されている。	南部菱刺し体験	(財)八戸地域地場産業振興センター	・「津軽こざん」と南部菱刺し - 工芸美の発見と復興のみちすじ - (青森県史研究7号)「刺しこざんと菱刺し」(青森県立郷土館) ・青森県庁HP(青森県の伝統工芸品)	
	八戸市を中心とする南部地方					
津軽弁	津軽の風土から生まれた津軽弁は、代々受け継がれてきたものであり、全国的な方言として津軽弁が知られているように、現在においても地域住民の生活の言葉として使われている。	津軽弁講座	黒石アクアリゾート開発(株)(津軽伝承工芸館)	・「日本語と津軽弁」 ・「津軽弁の日」TV・ラジオ放送、「津軽弁の日」カセットテープ		
青森市、弘前市を一円とする津軽地方		津軽弁講座	津軽藩ねぶた村			
津軽塗	江戸時代津軽藩の保護・育成の下、主に藩の調度品として用いられ、明治初期に産業として確立した後は、地域住民に親しまれ、愛玩品として幅広く使われるようになり、今日に至っている。	津軽塗フェア	青森県漆器協同組合連合会	・「津軽塗」、青森県庁HP、津軽塗HP(青森デジタルアーカイブ推進協議会)		
弘前市						
青森県	青森のねぶた	青森ねぶたは、戦災や災害などにおいて市民の心を団結させ、復興と発展の象徴として多くの先人の情熱により引き継がれてきた。昭和55年には国の貴重な文化財として重要無形民俗文化財の指定を受けた他、日本を代表する祭りとして海外運行も行っている。	ねぶた祭り	青森ねぶた祭保存会、青森ねぶた祭実行委員会(青森市、青森商工会議所、青森観光協会)、青森ねぶた運行団体協議会	・青森ねぶたビデオ ・青森ねぶた公式ガイドブック、公式HP	
	青森市		ねぶた囃子講習会	青森ねぶた正調囃子保存会		
	北のまほろば三内丸山遺跡	三内丸山遺跡は、県営野球場建設に先立つ発掘調査で、前例のない巨大な集落跡、膨大な量の遺物が出土したことから、遺跡の保存を求める声が高まりました。その声に押され、青森県は途中まで進めていた野球場の建設工事を中止し、遺跡の永久保存と活用を決定し、遺跡を具体的に理解していただくための整備を行い、公開している。	青森ねぶた公式ガイドブック、HPの作成	(社)青森観光コンベンション協会	・縄文の都(CD) ・公式HP、リーフレット	
			大型ねぶた紙張体験	私たちのねぶた自主製作実行委員会		
			ボランティアガイド	三内丸山応援隊		
	虫送り	約350年前、田植えの後に、村にいる虫を太刀を盛んにうち振りながら村の外に追い払い、豊作を祈って行われるようになったとされ、現在も子ども会や青年会によって続けられている。	情報発信	三内丸山縄文発信の会	・青森県県土整備部 青森県土整備事務所都市公園事務所 青森県教育庁文化財保護課	
			縄文の丘 三内まほろばパークの整備			
	山観の宵宮	毎年、旧暦の4月17日に開かれ、弘前市に初夏の訪れを告げる風物詩として市民に親しまれている。	三内丸山遺跡展示室	虫送り	町内会、青年会、子供会	・公式HP、パンフレット
	八戸のえんぶり	毎年2月17日から4日間、市内中心街で行われる、豊年祈願のお祭りである。子どもからお年寄りまで参加し、春を呼ぶ祭りとしても親しまれている。	山観の宵宮	八戸えんぶり	八戸市、社団法人八戸観光協会、八戸地方えんぶり保存振興会、八戸地方えんぶり連合協議会、かがり火えんぶり運営委員会、参加小中学校	
	八戸市、三戸郡		部活動	各地区えんぶり組、取組小中学校	八戸市	
		三ノ鳥帽子作り体験				

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
岩手県	伝統芸能 県内全域	平成7年の民俗芸能に係る実態調査では県内には1千を超える民俗芸能保存団体が活動を行っており、地域ごとに伝えられてきた民俗芸能を継承されてきていることから、岩手が「民俗芸能の宝庫」といわれる所以と認めていること。県が主催する民俗芸能フェスティバルを始め、色々な形で民俗芸能祭が開催されるなど県民が民俗芸能に親しんでいる。	岩手県民俗芸能フェスティバル	岩手県教育委員会、(社)岩手県文化財愛護協会	・岩手県民俗芸能緊急調査
	平泉文化 平泉町及び周辺市町村を中心に県内全域	11世紀末から12世紀にかけての100年間、奥州藤原氏が海外との交易を背景に、京都の文化の影響を受けながら独自に発展させた文化と仏教理念に基づいて都市平泉を築きました。特に、金色堂に代表される建築物や浄土庭園群など、平安時代後期の日本的仏教文化を代表するものである。藤原氏の滅亡により、平泉文化は少しずつ衰退してきましたが、平泉の人々は、誇りを持ち続け、遺跡を良好な状態で現在まで守ってきた。また、宗教的な儀式や祭礼も多くの人々の信仰心と努力により今日まで伝えられている。このすばらしい平泉文化を人類共通の宝物として引き継いでいくため、平成20年の世界遺産登録に向けて活動を行っています。	世界遺産登録事業 柳之御所調査事業	平泉町、岩手県 岩手県	・中尊寺、毛越寺等所蔵の諸仏、金色堂、中尊寺経など ・古実舞、神事能、延年の舞、達谷窟毘沙門神楽、川西念仏剣舞 ・「平泉の文化遺産」紹介用ビデオ ・遺跡の発掘調査 ・平泉文化、世界遺産の紹介パンフレット、HP
岩手県	アテルイに見る東北人としての誇り 岩手県をはじめ北上川流域の地域	岩手県をはじめ東北地方が近代を迎えるまでの大まかな過程を振り返ると、自分達の生活を守るために、外からの権力に対して抵抗してきた歴史であるといえる。その由来の出来事として、奈良時代から平安時代の初期に見られたエミシの戦い、特に、アテルイ・モレと坂上田村麻呂との戦い(東北大戦争)を挙げる事ができ、命をかけて祖国を守ろうとしたアテルイは、郷土の英雄として語り継がれている。アテルイ没後1200年を経過した現代において、その生き方を地域の人々に広めることは東北人のアイデンティティの発露につながると、様々な運動が行われており、アニメーションの作成やミュージカル、新作神楽などの実演等によって、地域の人々へ発信されている。	観光パンフレット	岩手県、水沢市ほか	・小説「火怨 北の耀星アテルイ」(高橋克彦著) ・ミュージカル「アテルイ」(わらび座) ・長編アニメーション「アテルイ」(シネマとうほく) ・伝説・史跡・建造物等の紹介(観光)パンフレット
	世界文化遺産登録を目指す「平泉の文化遺産」 平泉周辺を始めとする県内全域	中尊寺、毛越寺、無量光院跡、柳之御所跡を中心とする周辺一帯の史跡は、奥州藤原氏3代が平和を願い、極楽浄土をこの世に現そうと約300年にわたり築き上げた独自の文化遺産であり、地方文化が傑出した好例として平成13年に世界文化遺産の暫定リストに登録され、平成20年の本登録を目指して、官民一丸となった様々な取り組みが行われている。	祭りやイベント 観光パンフレット	岩手県、平泉町、江刺市、実行委員会ほか 岩手県、平泉町、江刺市ほか	・小説「炎立つ」(高橋克彦著) ・毛越寺の延年 ・調査研究事例多数 ・関係書籍多数、伝説・史跡・建造物等の紹介(観光)パンフレット
	義経北行伝説 平泉周辺の県南地域-岩手県沿岸地域	名将とうたわれた源九郎判官義経は、兄の頼朝に追われ、文治5年、平泉の高館で自刃したが、後世の人々は、その悲運の最期を哀れみ、義経の英雄ぶりを思い起こして「義経はひそかに平泉を脱出して、北を目指して旅に出た」という伝説を作り上げた。義経北行の伝説は現在も平泉周辺の県南地域-岩手県沿岸地域に数多く残されている。	観光パンフレット	岩手県、平泉町、江刺市ほか	・関係小説多数 ・ミュージカル「義経」(わらび座) ・調査研究事例多数 ・関係書籍多数、伝説・史跡・建造物等の紹介(観光)パンフレット
	宮沢賢治に見る岩手の風土、いわて人の精神 花巻市、盛岡市を始めとする県下全域	「雨ニモマケズ」「風の又三郎」「銀河鉄道の夜」などたくさん名作を残した宮沢賢治は、明治29年、岩手県花巻市で誕生。盛岡高等農林学校卒業後、花巻農学校の教師として農村子弟の教育にあたり、多くの詩や童話の創作を続け、30歳の時に農学校を退職、独居生活に入る。ここで雑居地人協会を開き、農民講座を開講し、青年たちに農業を指導。その後、2度病に倒れ、昭和8年、37歳の若さで永眠。	観光パンフレット 施設整備	岩手県、花巻市、盛岡市ほか 花巻市、盛岡市	・本人の作品多数 ・詩碑、銅像など ・ミュージカル「銀河鉄道の夜」(わらび座)ほか多数 ・関係映画・アニメ多数 ・関係作品多数 ・調査研究事例多数 ・関係書籍多数、紹介(観光)パンフレットなど ・記念館
	石川啄木に見る岩手の風土、いわて人の精神 玉山村、盛岡市を始めとする県下全域	岩手を代表する国民的詩人。生前刊行された著作は詩集「あこがれ」と歌集「一握の砂」だけだが、詩、短歌、小説、評論、日記、書簡など多くの種類の作品がある。旧来の短歌にながった三行書きで日常的な感情や郷愁を結晶させた名歌は多くの国民に愛されている。	観光パンフレット 施設整備	岩手県、盛岡市 盛岡市	・本人の作品多数 ・歌碑、銅像など ・調査研究事例多数 ・関係書籍多数、紹介(観光)パンフレットなど ・記念館
	新渡戸稲造に見る岩手の風土、いわて人の精神 盛岡市を始めとする県下全域	盛岡市出身の思想家、国際人、農学・法学博士。札幌農学校や東京大学で学んだ後欧米に留学。その後国際連盟事務次長などを務め、各国の政治家、思想家、学者らと交流、「われ太平洋の橋とならん」という自己の理念に基づいて、諸外国の日本理解のために努力した。日本人の思想に関する英文論「BUSIDO-THE SOUL OF JAPAN」はその代表である。	観光パンフレット 施設整備	岩手県、盛岡市、花巻市 盛岡市、花巻市	・銅像など ・調査研究事例多数 ・関係書籍多数、紹介(観光)パンフレットなど ・記念館
	原敬に見る岩手の風土、いわて人の精神 盛岡市を始めとする県下全域	政党政治の基礎を作った総理大臣。盛岡市出身。井上馨の世話で外務省に入り、40歳で外務次官、42歳で朝鮮公使となる。その後伊藤博文らとともに立憲政友会を創立し、大正3年に政友会総裁となった。大正7年、我が国で初めて爵位のない総理大臣となったが、これにて明治以来の藩閥政治は政党政治へと転換し、原は「平民宰相」と呼ばれた。対象10年、東京駅で一青年の凶刃に倒れた。	観光パンフレット 施設整備	岩手県、盛岡市 盛岡市	・銅像など ・調査研究事例多数 ・関係書籍多数、紹介(観光)パンフレットなど ・記念館

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
宮城県	春の藤原まつり	奥州藤原氏四代の供養や延年の舞（重要無形民俗文化財）源義経主従にまつわる行事が行われる。3日に「源義経公東下り行列」、5日には「弁慶力餅競技大会」（三方にのせた米1俵分の餅を持って歩く距離を競う）が行われる。「源義経公東下り行列」は、義経が兄頼朝から逃れてやっと平泉についた時、藤原秀衡が自ら馬に乗って出迎え、民衆も歓喜して迎えた情景を再現したもの。	祭りやイベント	実行委員会	・紹介（観光）パンフレットなど
	平泉町		観光パンフレット	岩手県、平泉町	
	チャグチャグ馬コ	農耕馬に感謝する伝統行事。色鮮やかな装束で着飾った馬と馬主は、早朝、奮前神社に参拝し、盛岡八幡宮まで約5時間かけて行進する。前日はチャグチャグ馬コ祭りである。1978年（昭和53年）国の無形民俗文化財に選定。また、平成8年には環境庁（現在：環境省）の「残したい日本の音風景百選」に選ばれた、歴史が今に息づいている行事である。	祭りやイベント	滝沢村	・紹介（観光）パンフレットなど
	滝沢村、盛岡市		観光パンフレット	岩手県、滝沢村、盛岡市	
	さんさ踊り	盛岡を中心に県内陸部に広く見られる盆踊りの一種。羅刹鬼という鬼の悪行をこらしめた三ツ石神社の「岩手」伝説や、掛け声の「サンサヨー」にちなむなど諸説あり。輪踊りが基本。締め太鼓を持った男性が踊り手の先頭に立って一緒に踊るのが特徴。盛岡の夏の風物詩「盛岡さんさ踊り」で踊られるのは祭りのために統一化された踊りで、本来は各地に振りの異なる様々な踊りが伝わっている。	祭りやイベント	実行委員会	・紹介（観光）パンフレットなど
	盛岡市を中心とした県内陸部		観光パンフレット	岩手県、盛岡市	
	北上・みちのく芸能祭り	東北六大祭りの一つの民俗芸能の祭典。芸能の伝承と鑑賞を目的として始まったもので、「鬼剣舞」「鹿踊り」を始め、「神楽」「田植踊り」「念仏踊り」など、県内外から100余りの団体が一堂に会し、それぞれの郷土芸能を披露する。	祭りやイベント	北上市	・紹介（観光）パンフレットなど
	北上市		観光パンフレット	岩手県、北上市	
	毛越寺の延年	毛越寺の二十日夜祭（1月20日）における常行三昧の修行の後、修正結願の法楽として行われてきたもので、大法会や春神事などともいわれている。延年は、舞楽から能に至る中世芸能を知る上で、我が国の芸能史上重要なものであるが、この「毛越寺の延年」ほど整った形で伝え残されているものは他に例がなく、極めて高い価値を有するものである。	祭りやイベント	毛越寺	・紹介（観光）パンフレットなど
	平泉町		観光パンフレット	岩手県、平泉町	
	毛越寺曲水の宴	平安時代の優雅な遊びを現代に再現する。毛越寺の春の行事。平安貴族の装束、龍頭鶴首の画船など、王朝絵巻さながらの光景が再現され、古式ゆかしい催物楽に合わせて毛越寺の僧侶が延年の舞「若女」を厳かに奉納披露する。浄土庭園に注ぐ進水二杯を載せた羽觴を流し、水辺の歌人たちが歌題に従って和歌を読み、短冊にしたためながら、流れてくる杯を傾ける宴の幕も必見。	祭りやイベント	毛越寺	・紹介（観光）パンフレットなど
	平泉町		観光パンフレット	岩手県、平泉町	
	早池峰神楽	早池峰山麓の岩手県大迫町（おおはさままち）には、岳（たけ）集落に「岳神楽」、大償（おおつくない）集落に「大償神楽」が伝承され、両神楽を総称して「早池峰神楽」と呼んでいます。早池峰山を霊場とする修験山伏によって始められたといわれています。早池峰神楽は、昭和51年に国の重要無形民俗文化財第1号に指定されました。	祭りやイベント		・紹介（観光）パンフレットなど
	大迫町		観光パンフレット	岩手県、花巻市	
	鬼剣舞	剣舞と呼ばれる芸能の中でも、忿怒の形相の仮面をつけて踊る剣舞は、鬼剣舞の名称がよく知られ、岩手県中・南部に伝承されている。主に新仏の家や墓、寺などで踊られてきたもので、念仏歌とともに踊られる亡魂鎮送を目的とした念仏踊りの一種。極めて勇壮で力強い芸能であり、その手の込んだ巧みな踊り振り、ダイナミックな動作の群舞は、我が国の代表的な民俗芸能の一つとして評価を得ている。	観光パンフレット	岩手県、花巻市ほか	・紹介（観光）パンフレットなど
岩手県中・南部					
オシラサマ	東北地方に古くから伝わるオシラサマ信仰は、柳田國男の「遠野物語」のオシラサマ伝説（馬と娘の悲恋の話）によって広く世に知られるようになった。養蚕の神様であるとされているが、家によっては農作業全般、眼病、女性の病氣、良いことを知らせてくれる神様など、さまざまなご利益があるとされている。遠野・伝承圏の御蚕神堂に約1,000体のオシラサマが安置され、圧巻の迫力である。	観光パンフレット	岩手県、遠野市	・紹介（観光）パンフレットなど	
宮城県	「秋保の田植踊（湯元・長袋・馬場の田植踊）」の保存継承の誇り	湯元では、温泉に祀られている薬師堂で五穀豊穰を祈願し、田の神に奉納した手踊りがはじまりであるといわれる。また、みちのく三古湯の一つにぞえられ、付近に慈覚大師によって開かれたとされる修験の行場があり、全国から集まった法印山伏、東下りの芸人達により、今日の12種類の踊りが工夫されたといわれる。本踊は座敷田植踊であり、5月5日薬師様の祭典に踊られる。長袋では、平家の落人が扇の舞を演じさせ喜びに興じたといういい伝えがある。記録によれば文化年間（1804～1817）秋保定盛の代に、仙台藩における家格が御一家左上座に昇進したのを祝い、仏参を兼ねて先祖の霊前で上演されたのがはじまりといわれる。馬場では、春田植とよばれ、小正月（旧正15日）を中心に舞われ、農事の予祝とされたとみられる。花笠をとり右結びの鉢巻で右肌抜という伊達な姿の古風な美しい踊りで、手踊も付く。国の重要無形民俗文化財に指定されている。	秋保大滝不動尊祭り	仙台市、湯元の田植踊保存会、長袋の田植踊保存会、馬場の田植踊保存会	・宮城県の文化財、宮城県HP、仙台市教育委員会HP
仙台市太白区					
	「小迫の延年」の保存継承の誇り	古くは3月3日白山神社の祭りに行われる延年舞で田楽その他さまざまな古風な芸能を遺しており、地方的特色の著しいものである。芸能は、神社で獅子舞、献膳等7番まで踊るが、演劇的要素の濃いものである。また、踊りによっては実際に甲冑や馬を用いているなど古風である。昭和60年からは、4月の第1日曜日に行われるようになった。国の重要無形民俗文化財に指定されている。	小迫祭り	栗原市、小迫の延年保存会	・宮城県の文化財、宮城県HP、栗原市HP
	栗原市（旧栗原郡金成町）				

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
	「雄勝法印神楽」の保存継承の誇り	石巻市（旧桃生郡雄勝町）	羽根派系と言われており、舞は古典の神話から取材している。所伝は36番であるが、現在は26番が舞われている。音調は太鼓2個に笛1本の構成で行なわれて、調子の強弱の変化があり、したがって、しっとりとうるやうな場面と豪壮に舞う場面とがある。発生年代は不明であるが、町内大浜の千葉家に元文4年(1739)の『御神楽之大事』というこの神楽について記述した古文書があり貴重な資料である。また公演は町内各浜の3、4月の春祭と9月の秋祭に行われる。国の重要無形民族文化財に指定されている。	雄勝町の各神社祭典	石巻市、雄勝法印神楽保存会	宮城県文化財、宮城県HP、雄勝町HP
	「米川の水かぶり」の保存継承の誇り			旧東和町米川の五日町に伝わる行事で、毎年初午の日に行われる。行事に参加する者は五日町に進む男性に限られる。祭の朝宿元を集まり、藁装束を製作し、顔や手足にすずを塗り、装束をつけ宿元を出発する。まず秋葉神社でお祓いを受け、その後町に繰り出して行く。家々の表に用意してある桶の水を屋根に掛け、奇声を発しながら町内を駆け抜けて行く。厳寒の荒行である。元来は、若者に水を浴びせる成人儀礼であったものが、意味がやや変化し、火伏せに関する信仰となったものと推定される。県の民族文化財に指定されている。	火伏せまつり	
	「月浜のえんずのわり」の保存継承の誇り	東松島市（旧桃生郡鳴瀬町）	旧鳴瀬町宮戸の月浜地区に古くから伝わる小正月の鳥追行事である。1月11日から16日までの6日間月浜地区に在住する小学2年生から中学2年生までの男子が五十鈴神社の参道わきに造られている岩屋に集まり、お籠りをして寝食を共にし、精進料理を食べながら鳥追いの行事を行う。一同は、毎朝起床とともに社の内外を掃き清め恭しく礼拝、その後食事をする。14日の晩には、神木（松の木）を持ち、月浜地区の各戸を「えんずのわり」とりょうばかざらわってすをつけてたあどうかあみさあただみーいれーでえんずがすまさながせえんずと3回唱えながら家の前で神木を地面につき、鳥追いの厄払いをして歩く。県の民族文化財に指定されている。	えんずのわり	月浜地区	宮城県文化財、宮城県HP、石巻地区広域行政事務組合HP
	「名振のおめつき」の保存継承の誇り			旧雄勝町名振地区に、天明3年(1783)から続いていると言われていた火伏せ祭りで、毎年1月24日(新暦)に行われる名振秋葉神社氏子会の祭礼行事である。この祭は、「丁印し」と呼ばれる飾りものを先頭に「山車」が町中を勇壮に練り歩き火伏せ、大漁、家内安全などを祈願するところに特徴をもつが、祭りの一環として集落の4ヶ所で各契約講中が演ずる「演芸」すなわち「おめつき」は、時の社会問題を題材にし、男形、女形等の道具を用いた劇などをおもしろ、おかしく演ずる、にわか(俄)に似た地狂言の即興劇で、現在では全国的にも数少ない貴重な行事である。県の民族文化財に指定されている。	秋葉神社おめつき	石巻市、名振秋葉神社氏子会
	「中新田の虎舞」の保存継承の誇り	加美郡加美町（旧加美郡中新田町）	当町は春になると風が強く、昔からたびたび大火に見舞われた。約600年前、大崎氏が「雲は龍に従い風は虎に従う」の故事にならって、明神の初午祭に奉納したのが始まりと伝えられる。虎の威をかりて風を鎮め、火伏せの祈願をし、山車と共に火消組の手によって火伏せの虎舞を舞わせ、城下をねり歩き、商人たちの繁昌と風禍火難防止の思想の高揚に役立たせた。現在は無火災祈願のため4月29日、多くの虎舞組が出て舞っている。県の民族文化財に指定されている。	初午まつり火伏せの虎舞	加美町、中新田町火伏せの虎舞保存会	宮城県文化財、宮城県HP、加美町HP
宮城県	地域の海外交流の先駆けとなるサンファンパウティスタ号の再現・資料展示			サンファン祭	(財)慶長遣欧使節船協会	サンファンパウティスタ号写真 オペラ支倉常長「遠い帆」 支倉常長、伊達政宗の伝記
宮城県石巻市		サンファン・ミュージアム	(財)慶長遣欧使節船協会			
		慶長使節船写真コンクール表彰式&展示	(財)慶長遣欧使節船協会			
		サンファン感謝デー「ケーキフェスタ」	(財)慶長遣欧使節船協会			
		展覧ボランティア養成講習会	(財)慶長遣欧使節船協会			
		復元船サンファンパウティスタ「展覧」	(財)慶長遣欧使節船協会			
		海・航海に関する企画展	(財)慶長遣欧使節船協会			
宮城県	地域を災害から救った偉人(鎌田三之助翁)の郷土を開いた人としての誇り	志田郡鹿島台町	わらじ祭	鹿島台町産業振興課、夏祭りDONDONかしまだい運営委員会	小説、伝えたいふるさとの100話 わらじ村長像、鎌田三之助翁顕彰碑 鹿島台町HP、鎌田記念ホール内展示室にて20分の映画 鎌田記念ホール内展示室	
	・町民が、鎌田記念館を設立し、その偉業をたたえている。 ・現在も、水害から町を守る施策として、その開拓の意思が受け継がれている。 ・4年生の教材である「私たちの宮城県」に掲載され、県内の郷土を開いた人として、全県的に学んでいる。 ・品井沼の干拓のために力をつき、明治排水路の工事をおし進めた鎌田三之助は、1909年(明治42年)、村人たちの強い願いで鹿島台村の村長になりました。三之助は、村長としての給料をもらわず、38年間無給で村のためにつくしました。それだけでなく、講演をして謝礼が出れば小学校の教材費にあてさせました。これは、「せいたくをしないうちに」という考えを村の人に広めるために、自分がすべてのお手本となり、貧しかった村をすくおうとした三之助の努力のあらわれです。		鎌田記念ホール内「鎌田三之助展示室」	鹿島台町教育委員会生涯学習課		
			「私たちの宮城県」	宮城県教育庁義務教育課		
			わらじ祭村長像	鹿島台町		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	地域が生んだ近代歌人であり、明治のロマン主義文学の香りを残す地としての誇り 黒川郡大和町	原阿佐緒記念館として、その生家を保存・開放している。郡内各所に原阿佐緒の人生に関わる記念碑を建て、その出来事を記録している。隣の富谷町の夏休みのイベントとして、原阿佐緒の記念碑を取り入れたオリエンテーリングが開催されており、芸術に触れる機会となっている。	原阿佐緒記念館	大和町	・小説 ・記念碑（歌碑）3ヶ所 ・TVドラマ化 ・原阿佐緒記念館展示、仙台文学館常設展示 ・歌集
			原阿佐緒賞短歌募集	大和町教育委員会	
			仙台市大年寺山に第一・二歌碑建立	大和町民など有志	
			仙台文学館常設展の一部に展示	仙台市	
宮城県	登米みやぎの明治村 登米市（旧登米町）	国指定有形文化財旧登米高等尋常小学校校舎、県指定有形文化財旧登米警察署庁舎、市指定有形文化財旧水沢県庁舎などがあり、誇りうる文化財を中心とした町づくりを進めている。	旧登米高等尋常小学校校舎	登米市	・町製作ビデオ ・産金遺跡の調査報告書 ・学校教材副読本
			旧登米警察署庁舎	登米市	
			旧水沢県庁舎	登米市	
			とよま明治村まつり	みやぎ北上商工会（実行委員会事務局）	
	涌谷万葉の里 涌谷町	日本初の産金地であり、奈良東大寺の大仏荘厳に使用された。大伴家持が万葉集に産金のことを詠っており、万葉史跡の北限である。町では涌谷万葉の里条例を設置したり、展示施設や関係遺跡の整備等を行っている。産金地は史跡黄金山産金遺跡として保護されている。	万葉の里－天平ロマン館	涌谷町	・復元模型 ・ビデオ ・調査報告書 ・学校教材副読本
			万葉の里－遺跡広場	涌谷町	
			砂金採取体験施設	涌谷町	
			奥州涌谷俳句全国大会 観光ガイド	涌谷町教育委員会 涌谷町観光物産協会観光ガイド	
	史都多賀城 多賀城市	古代陸奥国の国府、鎮守府であった多賀城跡は特別史跡に指定されている。日本最古の歌集、万葉集の編者である大伴家持は陸奥按察使・持節征東大將軍、鎮守府將軍であり、多賀城との縁が深い。また、壺の碑とも言われていたとされる「多賀城碑」は重要文化財に指定されている。多賀城に関連する催事として、多賀城跡あやめ祭り、「壺の碑」全国俳句大会、史都多賀城・万葉まつり等を行っている。	東北歴史博物館	宮城県	・復元模型 ・ビデオ ・調査報告書 ・学校教材副読本
			多賀城市文化センター	多賀城市	
多賀城市あやめまつり			多賀城市商工観光課内あやめまつり実行委員会		
「壺の碑」全国俳句大会			多賀城市観光協会		
史都多賀城・万葉まつり			多賀城市観光協会		
宮城県	長い歴史と伝統がある全国に誇れるまつり 仙台市	仙台藩祖伊達政宗の時代から七夕行事があり、今では宮城県（仙台市）の夏の風物詩として、全国的にも有名となっている。	宮城県庁正面玄関に七夕飾り設置	宮城県	・七夕音頭 ・仙台七夕まつり協賛会HP （ http://www.sendaitanabata.com/ ）
			県発行観光パンフレットに掲載	宮城県	
			七夕花火祭	（社）青年会議所	
			星の宵まつり	仙台七夕まつり協賛会	
秋田県	千年の時を超えて蘇る古代の舞を継承する誇り 鹿角市	鎌倉～室町時代に地方の大寺院で盛んに行われた芸能づくしの催しを色濃く伝えている地域。五大尊舞を含む諸々の踊りは大日堂舞楽と呼ばれ、千年の歴史をもち東で初めて国の重要無形民俗文化財に指定された。黄金の面は全国的にも有名であり、住民は今も「神様」と呼んであがめているため。	大日堂舞楽		・五大堂舞
			巨大な綱を引き合う勇壮な祭りで冬を過ごす誇り 大仙市	刈和野の大綱引きの伝承	
	国指定史跡弘田の柵跡を活かした地域作り 大仙市	町中心部を上町・下町に分け、長さ64mの雄綱、50mの雌綱にそれぞれ30mの尻綱を足して結び合わせ、町中の人引き合う。上町が勝つと米の値段が上がリ、下町が勝つと豊作という占いがつく小正月行事。「刈和野の大綱引き」として全国に知られ、綱引きの規模としては全国有数であり、綱引きチームの先駆けともなっている。昭和59年国の無形民俗文化財に指定。	大綱の展示		
			観光施設等での資料展示		
			大綱引きをとおした韓国との国際交流	保存会	
酒造の町としての誇り 湯沢市	米の秋田は酒の国、といわれるが、昔から良質の日本酒を生産している地域。酒屋唄は全国的に有名。	全国酒屋唄競演会	湯沢市、湯沢商工会議所、湯沢市観光協会、湯沢酒造協会	・CD「湯沢のうた」から湯沢酒屋唄収録 ・VTR「全国酒屋唄競演会」	
		酒造会館	湯沢酒造会館		
小野小町生誕の地としての誇り 湯沢市	平安時代の歌人、絶世の美女として小野小町の名を知らない人はいないが、同市雄勝町はその出生の地として、小町堂、小町塚をはじめとして多くの遺跡、施設を保有している。6月には、小町祭りが行われ、7人の女性が盛装して祭りをおこなう。小町が好きだったという芍薬の花が町中にかおる。秋田米や秋田新幹線の愛称にも使われる「こまち」は秋田の代名詞として町の誇りとなっている。	小町まつり	雄勝観光協会、小町祭り実行委員会	・歌舞伎「白夜小町」（中村京蔵） ・小町伝説の語り部、紙芝居 ・小野小町ものがたり他多数	
		小町伝説パンフレット	雄勝観光協会		
		小町堂、小町塚	雄勝観光協会、湯沢市、小町遺跡保存会		
		小町娘	雄勝観光協会		
		道の駅こまちの郷 小町の郷観光ガイド	小町の郷 おがち観光お楽しみマスター運営協議会		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
東京都	東洋一の産銀量、院内銀山の誇り 湯沢市	たぐさんの銀が採れ、「山小屋千軒、下町千軒、計二千軒」といわれ、久保田城下をしのぐほどのにぎわいを見せた。江戸時代の日本を代表する銀山跡。	院内銀山跡地 院内銀山異人館 院内銀山祭り	湯沢市、院内銀山顕彰会 湯沢市 院内銀山顕彰会	・鬼首殺人事件、他 ・ミュージカル「門屋長安」（わらび座） ・銀山調査多数 ・門屋長安日記
	伝統的建造物群の歴史的街並の保存 仙北市	角館地区は、北の小京都と呼ばれ、武家屋敷を中心に町並みが整備され桜の名所としても、多くの観光客が訪れる。歴史の保存だけでなく、9月には江戸時代から伝わるヤマぶっつけの迫力に満ちた祭りがおこなわれる。ヤマは高さ4m、重さ3tで、町中がわきたつ。平成3年国の無形民俗文化財に指定。	保存会 重要伝統的建造物群保存地区 武家屋敷の公開 戸沢氏祭 白岩城下祭り 角館のおまつり おやまばやしコンクール おやまばやし芸能発表会	角館伝統的建造物群保存地区街並を守る会 仙北市 仙北市教育委員会文化財課 戸沢氏祭実行委員会 白岩城下祭り実行委員会 角館のお祭り実行委員会 角館のお祭り実行委員会 角館のお祭り実行委員会	・おやま騷子と牛踊り ・角館祭りのやま行事 ・図録角館の武家屋敷、他 ・角館町割絵図
	伝統と科学が共生する地 にかほ市	県南部にある鳥海山には、修験者によって伝えられた多くの番楽があるが、同市小滝地区では鳥海山小滝番楽や、チョウクライ口舞など多くの演目を継承している。特に延年チョウクライ口舞は857年の慈覚大師にまで、その起源をさかのぼり、平成16年2月、国の無形民俗文化財に指定された。地域には最先端の工場があり、先取の精神も息づいており、伝統と科学が共生している。	小滝のチョウクライ口舞 冬師番楽 金浦番楽 フェライト子ども科学館 白瀬南極探検隊記念館 にかほ市象潟郷土資料館 奥の細道象潟全国俳句大会 番楽共演会	小滝舞楽保存会 冬師番楽保存会 金浦番楽保存会 にかほ市 にかほ市 にかほ市 にかほ市	・「斎藤憲三ものがたり」の漫画と映画 ・伝統芸能パンフレット、地域の歴史調査の書籍発行
	大太鼓の里として全国にアピールする地域 北秋田市	太鼓ブームであるが、北秋田市鷹巣織子の太鼓はその大きさと全国に誇っている。直径は約4m、重さは3.5tあり、上町と下町が、その大きさを誇ってきた。「大太鼓の館」では、その実物に触れ、実際に鳴らすことができる。世界最大級の大太鼓が登場する「織子の太鼓祭り」では太鼓の上の6人、下の6人が打ち鳴らしながら練り歩き、雷鳴のような音が一里四方に響き渡る。	織子の太鼓 資料館（大太鼓の館） 八幡宮織子神社例祭	鷹巣町商工会 大太鼓保存会 八幡宮織子神社	・太鼓教室の開催 ・ドラムサークルとの共演 ・祭りへの参加
	東北三大祭りのひとつ、「竿燈」をさらに世界へと紹介する誇り 秋田市	長さ10mの太い竿に横竹9本を結わえ、46個の大提灯を下げて灯をともしてさらに継ぎ竹を足して竿芸を演ずる竿燈は東北三大祭りのひとつとして、県民は夏の一時を楽しむ。祭りは四日間であるが、「ねぶり流し館」では常時展示され、演技鑑賞も出来、観光客に好評である。さらに各種イベント、スポーツ大会での演技、韓国、欧州での公演など、秋田の誇る伝統行事としてその紹介に努めている。			
	亡者踊りともいわれる独自のかつ幻想的な盆踊りを継承する落人の里 羽後町	四百年まえから伝わる他に類を見ない独特の盆踊り。かぶり物は編笠と、顔を黒い布ですっぽりと覆って目だけ出す彦彦頭巾があり、亡くなった人を象徴するものという。女性は踊りに参加することを誇りとし、母は娘に踊りと着物を伝える。男性はガンケとよばれる騷子に参加する。県外の町出身者も、祭りの時期には集まり町をあげて祭りを司る。昭和56年国の無形民俗文化財に指定。	西馬音内盆踊り 歴史民俗資料館 民話伝承館 鈴木家住宅 三輪神社	西馬音内盆踊り保存会、西馬音内盆踊り実行委員会 羽後町 羽後町 個人 法人	・お騷子 ・踊衣装 ・西馬音内盆踊り
	北東北の短い夏を彩る最も優美な盆踊りを伝える地域 鹿角市	3～400年の歴史を持つ踊り。この地域は古くは南部藩に属し、戦乱の場になったりしているが、ここに伝わる「毛馬内の盆踊り」は県内三大盆踊りに数えられ、念仏踊りの流れを汲む最も優雅な舞は、国の無形民俗文化財に指定されている。子どものため時間帯や、「毛馬内北の盆」と称しての県内外の盆踊りを招いての競演会開催など、その継承発展に町をあげて取り組んでいる。			
	仮面伝承のルーツを誇る男鹿のナマハゲ 男鹿市	男鹿半島の約60集落で実施されている大晦日の伝統行事。ナマハゲは、怠け者を罰する意味をもち、「泣く子はいねが」と懲らしめの文句を叫びながら各屋を訪れた後、祝言を述べ、酒や餅で迎えられる。太鼓と組み合わせるエンタテインメント化し観光客誘致に貢献する他、仮面のイベント、シンポジウムには欠かせない文化として国際交流にも参画している。			
	小さな集落で伝えられる国の無形民俗文化財 北秋田市阿仁町根子	阿仁町はマタギの里として知られる山間の地域である。そこからさらに奥まった小さな集落が根子地区で、落人が住み着き番楽を伝えたとされる。これは一族の長男だけが受け継ぐ秘伝の番楽であったが、根子番楽保存会、さらに根子番楽子供会によって現在も伝えられている。勇壮な武士舞でのレビューやジャズ風な激しいテンポは他に類を見ない。勇壮なマタギと、武士の血の面影を現代に伝えている。			

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
秋田県	鉱山で栄えた明治期の産業近代化遺産	明治43年に建てられた日本最古の木造芝居小屋「康楽館」をはじめ、鉱山事務所の移築復元など、明治期の歴史遺産を活用したまちづくりを通して、鉱山の町から観光の町へと変貌を遂げている。また、鉱業の先端技術力を資源循環型社会形成に活かしながら地域活性化策に結びつける「イコノ構想」についても着実に推進している。	アカシアまつり	小坂町	・康楽館における芝居の定期公演 ・映画「アカシアの町」
	小坂町		小坂鉱山事務所の移築・復元	小坂町	
			明治百年通りの整備	小坂町ほか	
			康楽館における芝居の常設公演	小坂町	
	詩情豊かな民俗行事「かまくら」の里	「横手のかまくら」といえば、四百年の歴史を持つ民俗行事(小正月行事)であり、秋田県の豊富な民俗行事の中でも抜群の知名度を誇る祭りとして、全国的にも有名である。市内には、一年中雪のかまくらを体感できる「かまくら館」もあり、祭りのPRのために他県に出かけていってかまくらづくりを行う「出前かまくら」などにも積極的に取り組んでいる。	出前かまくら	横手市	・出前かまくら
	横手市		ミニかまくらづくり	市民	
	国の重要無形民俗文化財「ナマハゲ行事」	男鹿市の広い範囲で大晦日の晩行われる「ナマハゲ行事」は全国的にその名を知られている。このナマハゲ行事に一年を通して触れることができる施設として「ナマハゲ館」と「男鹿真山伝承館」があり、「真山神社」や「五社堂」などのナマハゲ伝説由来の文化財も多い。また、ナマハゲ行事を観光的に再現した「ナマハゲ柴灯まつり」は、みちのく大雪まつりの一つとして知られている。	ナマハゲ柴灯まつり	男鹿市、男鹿市観光協会ほか	・ナマハゲ太鼓(ナマハゲ郷神楽ほか) ・ナマハゲ伝導士認定制度
	男鹿市		男鹿真山伝承館	真山ナマハゲ伝承会、真山神社ほか 男鹿市観光協会	
			ナマハゲ伝導士認定制度		
	五百年の伝統を誇る「五城目の朝市」	西暦1495年が起源と伝えられる「五城目の朝市」は、豊かな自然の恵みから、包丁や桶、ザル、衣類などの生活用品までが揃い、暮らしに密着した市の伝統をそのまま現代に伝えている。市が置かれ、座が集まり、江戸時代には工業団地ともいわれる職人町が形成された五城目町には、家具・桶樽・鍛冶・弓矢など、当時から伝統を受け継ぐ産業が多い。			
五城目町					
枝垂れ桜に彩られた黒板塀が立ち並ぶ武家屋敷通り	西暦1620年、芦名氏によって城下町として拓かれた角館は、当時の町割りは今もそのままの姿で残され、黒板塀が続く武家屋敷通りには国の重要伝統的建造物群保存地区となっている。武家屋敷通りには「武家屋敷資料館」「平福記念美術館」「榊川工伝承館」など文化と歴史を物語る多くの施設があり、国の天然記念物にも指定されている枝垂れ桜が四季を彩っている。	観光案内人制度	かくのたて歴史案内人組合	・映画「たそがれ清兵衛」「隠し剣鬼の爪」ほか	
角館町		フォルムコミッション	かくのたてフォルムコミッション		
小町の里	旧雄勝町は、小野小町生誕の地といわれ、小町伝説にまつわる旧跡が多く、古式ゆかしい「小町まつり」が行われる「小町堂」には、才色兼備な小町にあやかろうとする参拝者が絶えない。また、県内で最も古い歴史を持つ温泉として知られる「秋の宮温泉郷」では、小町をイメージさせる「十二秘湯めぐり」という湯めぐりのサービスを実施するなど、小町の隠れ里的なイメージPRに努めている。	小町まつり	湯沢市、湯沢雄勝観光協会		
湯沢市(旧雄勝町)		道の駅おがち「小町の郷」	湯沢市ほか		
国指定重要無形民俗文化財「西馬音内盆踊り」 羽後町	約700年の歴史を受け継ぐ伝統行事「西馬音内盆踊り」は、あでやかな端縫い衣装をまとった踊り子たちの流れるようにゆるやかに優雅な踊りと、にぎやかに勇ましい囃子との不思議な調和により、幻想的な美しさを醸し出す。平成17年8月には「西馬音内盆踊り会館」がオープンし、盆踊りに関する展示・会合・練習・披露などを中心に、盆踊り本番にはお囃子の樽・実行組織の本部として活用されている。	西馬音内盆踊り会館 西馬音内市	羽後町ほか 西馬音内市実行委員会		
山形県	藩校里仁館の里仁の心酒田市(旧松山町)	松山藩校時代より130年の歴史と「仁に里を美と為す」建学精神が、地域住民に受け継がれていると考えられるため。	里仁講座	地元有識者が主体となって運営	・HP
山形県	最上川舟運がもたらした地域文化が現代に引き継がれている地域 最上川流域(舟番所跡、最上川三難所など)	最上川舟運が重要な流通経路だった時代(17世紀後半から18世紀初頭)、その流域地域は、西回り航路で大阪・京都と直結していた。これにより内陸の地にありながら上方文化の強い影響を受けている。また、紅花など最上川舟運がもたらす富は芭蕉を始めとする多くの文人・墨客を流域の地に招くこととなり、最上川は文化をもちたらず水路として全国的にも際立った役割を果たしてきた。さらに、紅花商人によって、離人形・蔵座敷等がもたらされているが、その他にも、仏壇、瀬戸物、京都の祇園祭りの流れをくむ新庄・大石田・谷地の祭りの山車と囃し、また京風のことばづかいなど、物心両面にわたる文化の流入がみられる。	美しい山形・最上川100年プラン	美しい山形・最上川フォーラム	・山寺芭蕉記念館
			雛祭り	各所有者	
	おくのほそ道のハイライトとしての誇り 山形市山寺地区(立石寺)	松尾芭蕉「おくのほそ道」の名句の1つとされる『閑さや岩に染みいる蟬の声』。日本人特有の感性を示すといわれるこの名句の舞台が、山寺の名で親しまれている比叡山立石寺である。慈覚大師によって開かれた比叡山延暦寺の別院で、東北の霊場として厚い信仰を集めている。平成8年(1996年)、環境庁は将来に残したい音風景として「日本の音風景100選」の1つに選ばれている。	中学生による観光ボランティアガイド	山形市立山寺中学校	
日本一の山車パレード 新庄まつり	250年前の江戸中期を起源とする豪華絢爛を競う「日本一の山車パレード」として県内外の観光客の注目を浴びる夏祭りである。また、山車の製作を町衆が、囃子を周辺の農村部が担い、山車の引き手は子どもたちが行うという、地域が一体となった運営で、祭りが生活の一部となっていると考えられるため	新庄まつり	新庄まつり委員会	・神輿渡御行列、山車行列、鹿子踊 ・ビデオ ・パンフレット、HP	
上杉の城下町としての誇り 米沢市	旧米沢藩上杉家が治めた城下町としての誇りは、市民の誰もが共有する一つのアイデンティティとなっている。特に、上杉鷹山公が進めた藩政改革の精神は、産業、教育、生活等あらゆる面で現在も色濃く残っている。	伝国の杜	山形県、米沢市	・上杉博物館 ・洛中洛外園(国宝) ・鷹山公の漫画 ・漆の実る国(藤沢周平)	

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域を活性化させた 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
山形県	熊野大社門前町としての誇り 南陽市宮内地区	1200年の歴史を誇る熊野大社は、日本三熊野として有名であり、門前町としての同地区の市民が大切に守り続けている。	熊野大社再建 1200年祭	氏子会	
	縄文時代からの歴史の町としての誇り 高畠町	縄文時代の遺跡から多くの資料が発掘されており、地域住民の誇りとなっている。また、それらを収蔵する「うきたむ風土記の丘資料館」をはじめ、亀岡文殊堂など歴史の町として有名である。	うきたむ風土記の丘考古資料館	山形県	・彩文土器
	文化交流拠点としてのほごり 川西町	作家井上ひさし氏の出身地として、氏所蔵の本全てを受け入れている「遼筆堂文庫」やホールが一体となった「フレンドリープラザ」は県内外の交流拠点として地域住民の誇りとなっている。	川西町フレンドリープラザ	川西町	・井上ひさし氏の作品
	日本一美しい村としての誇り 飯豊町	町内に残る散居集落を中心とした農村景観は、第一回「美しい日本の村景観コンテスト」（農林水産省主催）で最高賞を受けている。	田園散居集落	飯豊町	
	マタギの里 小国町	山とともにくらす「マタギ」の里として有名であり、「熊まつり」など地域の行事や食生活にも「マタギ」文化の影響は大きい。最近では「マタギ」を題材にした小説が直木賞を受賞するなど、地域の文化を見直すきっかけとなっている。	熊まつり	小国町	・「邂逅の森」（熊谷達也）
	蔵の街 長井市	昔から「商都」として栄えた影響で、市内には昔の町並みの面影を残す蔵が点在しており、一部は改修されギャラリーや博物館、資料館などの文化施設として利用されている。			
	庄内藩校致道館における教育の伝統 鶴岡市	庄内藩校致道館は、文化2年（1805年）、庄内藩主酒井家の第九代忠徳（ただあり）によって設立され、明治6年の閉校まで地域の人材の育成に貢献してきた。致道館によって培われた教育の伝統は、人づくりの環境、教育を重んずる風土となって明治以後も鶴岡に受け継がれ、多くの人材を生み出してきた。	少年少女古典素読教室 中国古典講座	(財)致道博物館、致道館文化振興会議、鶴岡市中央公民館 (財)致道博物館	・(社)荘内文化財保存会発行の書籍類、市のHP
	本間光丘などの先覚者によるクリマツ砂丘植林の伝統 鶴岡市、酒田市、遊佐町	植林事業に長い年月と莫大な私財を投じた日本一の大地主本間光丘をはじめ、佐藤太郎右衛門、佐藤藤左衛門、藤蔵親子などの先覚者によって植林されたクリマツ林は、子孫代々事業が引き継がれ、庄内地域の海岸砂防林の基礎を築いた。その意志は現在も引き継がれ、学校児童による砂防林づくりや、住民、NPO、ボランティア、行政の連携による取り組みによって保全が図られている。	学習林の整備 砂丘林ボランティア活動 ボランティアリーダーの育成 出羽庄内公益の森づくりを考える会の開催	山形県庄内総合支庁森林整備課、酒田市立十坂小学校、遊佐町立西遊佐小学校 山形県庄内総合支庁森林整備課 山形県庄内総合支庁森林整備課（事務局）	・学習漫画『酒田に本間光丘あり』（酒田JC発行） ・『本間さま』の「経済再生の法則」（重門冬二著） ・パンフレット『みんなで考えよう庄内砂丘のクリマツ林』（国交省酒田河川国道事務所発行） ・本間家旧本邸、本間美術館、酒田市立光丘文庫
	黒川能の継承 鶴岡市黒川		王祇祭	黒川能保存会	
	杉沢比山の伝承 遊佐町杉沢		水焔の能 仕組・本舞・神送り	黒川能保存会 杉沢比山保存会	
	羽黒山と修験道 鶴岡市羽黒町	「羽黒派古修験道」は、出羽三山の神々を合祀するお山でもある羽黒山を本拠地として、1400有余年という長い歴史を乗り越え、綿々と守り伝えられてきた。「人は、死んで山に入り、山を胎内として再生する」とする羽黒修験は、御開祖・蜂子皇子の「仁愛」や「敬神仏尊」の精神を基づく他に例をみないものであり、現在も秋の峰入を始め、花祭りや松例祭などの神事が行われている。	秋の峰入り 花祭り 松例祭 文化財・写真等展示 南谷（別院跡）の清掃活動 南谷（別院跡）等の復元活動 被川普請 ボランティアガイド	出羽三山神社 出羽三山神社 出羽三山神社 いでは文化記念館 羽黒第一小学校 NPO法人蜂鼓山社中 手向地区住民 いではボランティアガイド	・羽黒修験を始めとする出羽三山関連の写真 ・「秋の峰」のドキュメント映像 ・神事、祭事の映像 ・出羽三山関連の人物、歴史等の書物、出羽三山神社HP ・神事、祭事等の衣装や道具等
	北前船と最上川舟運文化 酒田市、鶴岡市、庄内町	河村瑞賢により北前船の西廻り航路が開かれ、「西の堺、東の酒田」と称された湊町酒田は、最上川舟運により内陸からの米や紅花が上方に運ばれ、逆に難人形を始めとする上方文化がもたらされた。当時の米の保管倉庫であった山居倉庫は現在も農業倉庫として使用されている。また酒田は三十六人衆を頂点とした商人の町として栄え、酒田商人の経済力と神仏に対する熱い信仰心は、約400年の長きに渡り、酒田市の産土神を祀る日枝神社の大祭である山王まつりを支えてきた	山王まつり（酒田まつり） 庄内ひな街道	酒田観光物産協会 庄内観光コンベンション協会	・山居倉庫周辺や山王まつりの様子を収めた写真 ・北前船等に係る記述書籍多数
	おいしい米のルーツを育んだ米どころ庄内としての誇り 庄内地域全域	庄内地域は古くから米どころとして知られ、江戸時代には北前船の西廻り航路の中心として大いに栄えた。新開因幡守久正、北橋大学利長らによる堰の開削は庄内の美田を潤し、本間光丘らによるクロマツの植林は美田を風や砂から守り、阿部亀治により明治26年に発見された「亀の尾」は、「コシヒカリ」や「ササニシキ」などおいしい米のルーツとなっている。現在は、パイプかんがい方式の圃場整備など先進的な取り組みにより、日本有数の穀倉地帯としての地位を確立している。	池神社例祭（古郡神楽）の開催 北橋神社例祭の開催 全国亀の尾サミットの開催 亀の尾の栽培 亀の尾・夢ファンダの造成 庄内米歴史資料館の開設	古郡神楽保存会 北橋神社 創造ネットワーク研究所 創造ネットワーク研究所 創造ネットワーク研究所 JA全農庄内	・亀の尾サミット公式テーマソング ・亀の尾ミュージカル「ひとつぶの煌めき 古郡神楽 お米キョウリー 庄内（シアター、ピテライブラリー）」 ・漫画（美味しんぼ、親子の酒） ・小学5年生社会科教科書（東京書籍、光村図書、日本文教他）HP（JA全農庄内他）、書籍（浪漫／亀の尾列島）

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ		
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体			
	対象地域						
	歴史と文化の道、六十里越街道	かつて街道は、日本二大修験道場・出羽三山への参詣道として、また内陸と庄内を結ぶ物流の道として大きな役割を担ってきた。近年、NPO やボランティア団体、行政等により、歴史の道としての街道の復興、復元活動が行われており、また、街道を中心とした里山の食文化や伝統、人々の生きる知恵を守り伝えていこうとする活動が展開されている	街道の整備、復元活動 六十里越街道トレッキング 六十里越街道観光フォーラム	鶴岡市、西川町、NPO アルゴディア研究会 NPO アルゴディア研究会、民間ホテル、出羽三山世界遺産育成シンポジウム実行委員会 NPO アルゴディア研究会、朝日村観光協会、「六十里越街道」村山・庄内連携事業実行委員会	・田植え踊り ・六十里越街道ウォーキングマップ、ガイドマップ		
	鶴岡市（旧櫛引町・旧朝日村）・西川町		奥の細道・六十里越街道俳句大会 六十里越街道ウォーキングマップ、ガイドマップ 街道沿い郷土食「ふどっ葉餅」の特産品化 笹小屋豆腐料理の復活活動 田植え踊り等の地域伝統芸能の上演	NPO アルゴディア研究会 朝日村観光協会、NPO アルゴディア研究会 NPO アルゴディア研究会、朝日村商工会 NPO アルゴディア研究会、朝日村商工会 地域住民			
	福島県	会津藩の歴史、教育、産業など 会津若松市周辺 会津の仏教文化 会津地方 松平定信の治世 白河市周辺 安積地方開拓の歴史 郡山市周辺 二本松藩の治世 二本松市周辺 佐藤一族の歴史（佐藤継信、忠信） 福島市（飯坂町）周辺 相馬藩の歴史 相馬市、原町市周辺 白水阿弥陀堂の歴史と景観 いわき市	会津若松城（鶴が城）ほか 勝常寺（国宝薬師如来坐像）、恵日寺跡、宇内薬師ほか 南湖（日本最初の公園といわれる）、小峰城跡ほか 安積疎水、安積開拓館ほか 二本松城跡、旧二本松藩戒石碑ほか 医王寺、大鳥城跡ほか 相馬野馬追祭、相馬中村城ほか 白水阿弥陀堂（国宝）ほか				
	茨城県	郷土の歴史に対する誇り 茨城県高萩市（松岡地区）	松岡地区は、遠く万葉の時代から歴史と伝統の由緒あるまちで、天保3年（1846年）水戸藩附家老中山信吉が封されて以来、明治に至るまで中山氏の城下町として発展してきた。住民は、公民館を中心として松岡地区の史跡文化財について学び、地域愛を育んでいる。史跡顕彰のための街並み環境整備をきっかけとして、地域の子もたちも参加する地域全体の清掃活動を行うなど、文化財保護活動が生活の一部となっている。	街並み整備事業 高萩100年の歩み歴史講座 史跡文化財案内人養成講座 地域全体の清掃活動		高萩市 高萩市 高萩市 松岡地区の住民	・高萩市教育委員会発行「高萩市の歴史文化財」
	茨城県	徳川光圀と水戸学 茨城県水戸市、常陸太田市	TVドラマ『水戸黄門』のモデルとして知られる水戸藩第2代藩主徳川光圀は、『大日本史』の編纂を開始し、水戸学の創始者として知られる。光圀が隠居した「西山荘」は県の史跡に指定され保存が図られているとともに、毎年水戸市では「黄門まつり」が開かれている。	黄門まつり 県指定史跡、西山荘 影考館、徳川博物館		水戸市 (財)水府明徳会 (財)水府明徳会	・「水戸黄門漫遊記」 ・「黄門音頭」 ・「水戸光圀画像」茨城県立歴史館蔵 ・『20世紀の茨城の群像』茨城新聞社
		水府流水術 茨城県水戸市	水府流水術は、水戸藩藩祖徳川頼房以来水戸に伝えられてきたとされる。武術として発達し、実用必修の泳ぎとして伝えられ、最近では、スポーツの要素も加えられ水府流水術協会が中心となって伝統が守られている。水戸市無形文化財。	水戸市郷土民俗芸能のつどい 水戸市無形文化財の指定 水術の練習		水戸市郷土民俗芸能協議会 水戸市 水府流水術協会	・「水戸市郷土民俗芸能のつどい」での発表
		泉ヶ森 茨城県日立市	『常陸国風土記』にある「密筑の里の大井」の地が、地名・景観から、この泉ヶ森とされており、茨城県指定史跡として大切に保存されている。また、泉神社では、毎年5月3日の例大祭で水木散々楽が奉納され、伝統文化が引き継がれている。	水木散々楽 茨城県指定史跡「泉ヶ森」		泉神社日立郷土芸能保存会 泉神社	・「常陸国風土記」 ・水木散々楽 ・常陸国風土記に関する諸研究
	久原房之助の業績 茨城県日立市	日立鉱山の創業者である久原の業績により、茨城県の近代化が急速に進められた。また、煙害対策として1914年に完成させた高さ150mを超える大煙突の建設は、新田次郎の小説『ある町の高い煙突』のモデルとなっている。久原の業績は、日鉱記念館等で広く市民に伝えられ、久原が建設した久原本部は県指定史跡となっている。	日鉱記念館 旧久原本部	日鉱記念館 日鉱記念館	・新田次郎作「ある町の高い煙突」 ・『20世紀の茨城の群像』茨城新聞社		
	水郡線開通に尽力した根本正の業績 茨城県那珂市	19世紀末から代議士として活躍した根本は、義務教育授業料の全廃や未成年の飲酒禁止法の制定など教育問題に取り組んだほか、茨城県北部を通る水郡線施設に尽力した。水郡線は、山間地域の足として現在も利用されている。1997年には地元で根本正の顕彰会が発足した。	顕彰会の活動	顕彰会	・『20世紀の茨城の群像』茨城新聞社		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
茨城県	吉田正の音楽 茨城県日立市	「いつでも夢を」「有楽町で逢いましょう」等数々のヒット曲を作曲し、戦後の歌謡界をリードしてきた吉田正は、茨城県日立市出身である。吉田正の曲は、今も多くの人に愛され、地元ではそれを地域の誇りとして、吉田正は日立市名誉市民に選ばれ、また、2004年には吉田正音楽記念館がオープンした。	吉田正音楽記念館	日立市	・作曲した数々の歌謡曲 ・『20世紀の茨城の群像』茨城新聞社
	霞ヶ浦の帆引き船と折本良平 茨城県かすみがうら市	現かすみがうら市出身の漁師であった折本良平は、1880年に風の力を利用した帆引き漁を考案し、霞ヶ浦の漁業を一変させた。現在は帆引きによる漁は行われていないが、帆引き船は観光船として活躍しており、また、小学校では社会科の授業で折本の功績が伝えられている。市の郷土資料館でも目玉展示品として帆引き船が大きなスペースを占めている。	観光帆引き船の運行 フォトコンテスト かすみがうら市郷土資料館 学校の授業	かすみがうら市商工観光課 かすみがうら市商工観光課 かすみがうら市 かすみがうら市	・HP (http://www.city.kasumigaura.ibaraki.jp/)
栃木県	世界的なサクソ奏者(渡辺貞夫氏)出身地としての誇り 栃木県内及び宇都宮市	宇都宮市出身のサクソ奏者渡辺貞夫氏は、とちぎ特使として栃木県を内外にPRしていただいているとともに、栃木県教育委員会が主催する「スクールアート推進事業」において、本県の中学生を中心とした地域の青少年にブラジル太鼓とコーラスによるリズムスクールの指導を行っている。また、その成果を「愛・地球博」など様々なイベント等で子どもたちとともに発表しており、その活動が広く県民に認知されている。	スクールアート推進事業	栃木県教育委員会、 栃木県中学校文化連盟	・ブラジル太鼓とコーラス
栃木県	天台宗大成の立役者としての誇り 栃木県下都賀郡岩舟町	下野国都賀郡の出身。最後の遣唐使とともに唐に渡り日本の天台宗を大成させた人物。円仁は最初に朝廷から「大師号」を授けられた高僧でもある。また、唐の国や仏教中心地の様子を記した「入唐求法巡礼行記」は、マルコ・ポーロの「東方見聞録」・玄奘の「大唐西域記」とともに三大旅行記の一つとされている。岩舟町では、慈悲の心が深く、努力の人である円仁の功績を讃え、円仁祭りを開催したり、住民参加型音楽劇や合唱団を形成することにより、円仁の活躍を語り継ぎ、精神を受け継いでいる。	円仁祭り 円仁合唱団 中国浙江省天台県の文化交流	円仁祭り実行委員会・大慈寺 地域住民 岩舟町	・合唱団 ・音楽劇「円仁」 ・栃木県立博物館企画展
栃木県	烏山の山あげ行事 那須烏山市(旧烏山町)	毎年7月の第4土曜日を含む金・土・日に実施される、旧烏山地区の伝統行事。町内各地区の若い衆が多数集まり、野外歌舞伎を実演する。昭和54年2月3日に国の重要無形民俗文化財に指定されている。	烏山の山あげ行事	烏山山あげ保存会	・烏山の山あげ行事
	川俣の元服式及び三番叟(さんばそう)恵比寿大黒舞(えびすだいくまい) 栗山川川俣地区	元服式は、毎年1月21日に、地区内に居住する男子が20歳に達すると遠くなった親戚の中から適当な人を選び親子のような縁を結ぶ行事。それで一人前の大人として村人から認めてもらおう。この関係は、親分・子分といって一生関係は続く。昭和62年1月8日に国の重要無形民俗文化財に指定されている。三番叟と恵比寿大黒舞は、元服式の前日及び当日に行うお祝いの踊りで、昭和52年7月29日に県の無形民俗文化財に指定されている。	元服式行事及び三番叟恵比寿大黒舞行事	川俣自治会、川俣民俗芸能保存会	・川俣の元服式及び三番叟恵比寿大黒舞行事
	発光路の強飯式(ほっこうじのごうファンしき) 栗野町上粕尾字発光路地区	毎年1月3日に、地元神社の祭り当番引継ぎの後で行われる強力行事で、強飯行事の一つ。延文年間(1356-1360)から行われていると伝えられている。平成8年12月20日に国の重要無形民俗文化財に指定されている。	発光路の強飯式行事	発光路強飯式保存会	・発光路の強飯式行事
	鹿沼今宮神社祭の屋台行事 鹿沼市	鹿沼今宮神社祭の屋台行事は、鹿沼市の旧市内34か町の鎮守今宮神社の祭礼(毎年10月第2土・日曜日に実施)に行われ、氏子各町から毎年20台ほどの屋台が奉納される。屋台は、日光の宮大工の影響の下に近世後期移行に成立したといわれる華麗な彫刻を施した轆子屋台である。平成15年2月20日に国の重要無形民俗文化財に指定されている。	鹿沼今宮神社祭の屋台行事	鹿沼いまみや付け祭り保存会	・鹿沼今宮神社祭の屋台行事
	奈佐原文楽(なさはらぶんらく) 鹿沼市奈佐原町	県内に現存する唯一の浄瑠璃人形芝居。地元に残る言い伝えや人形の頭の墨書から、文化年間(1804-1818年)にはこの地に存在していたと思われる。昭和52年7月29日に県の無形民俗文化財に指定されている。	奈佐原文楽公演	奈佐原文楽座	・奈佐原文楽の公演
	大日堂獅子舞 真岡市中郷	江戸時代(万治元年)から伝わる獅子舞で、毎年8月6日の縁日に舞うもの。素朴ながらも神秘的な舞で、住民から篤く信仰されている。昭和52年7月29日に県の無形民俗文化財に指定されている。	大日堂獅子舞行事	大日堂獅子舞保存会	・大日堂獅子舞行事
	城嶽舞(しろくわまい) 大田原市上石上	天文14年(1545)に大田原氏が地元で築城した際、完成祝いの宴の席上で即興で舞われたもの。その後次第に舞踊化して今日に伝承されている。昭和52年7月29日に県の無形民俗文化財に指定されている。	城嶽舞行事	城嶽舞保存会	・城嶽舞行事
	関白獅子舞(かんぱくししまい) 上河内町関白地区	毎年8月の第1土曜日に地元で奉納される一人立ち三匹獅子舞。県内に広く分布する関白流獅子舞の源流といわれている。昭和52年7月29日に県の無形民俗文化財に指定されている。	関白獅子舞行事	天下一関白獅子舞保存会	・関白獅子舞行事
	牧歌舞伎(まきかぶき) 佐野市牧町(旧葛生町牧地区)	旧葛生町牧地区の農民の間に、江戸末期から伝えられられてきたもので、古くから近郷の祭礼等に依頼を受けて出演していた。近年は後継者難でしばらく公演は途絶えていたが、平成2年に地元の青年たちによって公演が復活し、現在も地元の中学生や青年たちによって公演が継続されている。昭和52年7月29日に県の無形民俗文化財に指定されている。	牧歌舞伎公演	牧歌舞伎保存会	・牧歌舞伎公演
	半儀の寒念仏(ファンびょうのかんねんぶつ) 那須町高久乙	義経と弁慶の伝説にまつわる念仏踊り。この地に残る言い伝えによると、鎌倉時代に源頼朝の追討を逃れて奥州へ下る義経・弁慶など12名の主従が、一夜をこの地で明かした縁で、その霊を弔うために生まれたという。平成元年8月25日に県の無形民俗文化財に指定されている。	半儀の寒念仏行事	半儀の寒念仏保存会	・半儀の寒念仏行事
	富山の佐々良舞(とみやまのささらまい) 那珂川町(旧馬頭町富山地区)	地元・富山諏訪神社の例大祭(10月第1日曜日)に奉納される。県内に広く分布する関東型の1人立3匹獅子舞にユーモラスな道化踊りが加わった風流系の芸能。地元の小中学生や大人たちにより演じられる。平成2年1月26日に県の無形民俗文化財に指定されている。	富山の佐々良舞行事	佐々良舞保存会	・富山の佐々良舞行事

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	木の杖術(きのじょうじゅつ) 都賀町木地区	毎年10月15日に木八幡宮のお祭りに行われており、江戸時代(元禄年間)から地元の人々によって長い間伝えられてきたもの。棒と棒、棒と太刀の渡り合いの演技は農民の間に自衛の武術として伝わり、それが半ば芸能化したものと思われる。平成3年10月11日に県の無形民俗文化財に指定されている。	木の杖術行事	小天狗流杖術保存会	・木の杖術行事
	日光弥生祭付祭家体献備行事(にっこうやよいさいつづけまつりやたいけんびぎょうじ) 日光市山内	日光弥生祭は、毎年4月13日から17日にかけて行われる、日光二荒山神社の春の例大祭であり、奈良時代から続いてきたとされている。弥生祭における芸能の奉納などの付祭は江戸時代から続いてきたとされ、最終日の17日にピンクのヤシオツツジで飾られた花家体が街中を練り歩く。この行事は主な担い手が地元の若者組であること、次第に従って挨拶や口上を行うに義があることなど、注目すべき古風を残している。平成11年8月17日に県の無形民俗文化財に指定されている。	日光弥生祭付祭家体献備行事	日光弥生祭付祭保存会	・日光弥生祭付祭家体献備行事
	石尊山の梵天祭り(せきそんさんのぼんてんまつり) 足利市小俣町	足利市小俣にある石尊山は、山全体に大岩が散在し、大山阿夫利神社(神奈川県伊勢原市)の景観に類似することから石尊信仰が始まったもので、梵天祭りは大山阿夫利神社の盆山参りを模して、石尊山に梵天を奉納する祭りである。毎年8月14日に梵天講の講員が杉丸太、幣串等を山頂に担ぎ上げ、梵天を作り立てる。そして、全員で日の出に向かい拝礼した後、若集たちが梵天により登り幣串等を引き抜き、それらを参拝者に配る。この幣串等を家の軒先に飾ると家内安全、五穀豊穡となるという。平成12年1月14日に県の無形民俗文化財に指定されている。	石尊山の梵天祭り行事	梵天講	・石尊山の梵天祭り行事
群馬県	日本で最初の近代的模範工場・ほぼ完全に残る唯一の官営工場 富岡市	「旧富岡製糸場」：明治5年の官営工場と昭和後期の製糸工場が機器共にほぼ完全な形で残る。平成17年7月、国史跡。	富岡製糸場の世界遺産登録推進	群馬県、富岡市	・県HPへ関連ページを公開 ・愛地球博での紹介VTR作成
	養蚕の近代化遺産・養蚕農家群 伊勢崎市、六合村、中之条町、沼田市	「島村養蚕農家群」：群馬型の養蚕農家発祥地、十数棟が現存する。 「赤岩養蚕農家群」：山村に残る明治後期の養蚕農家群。村条例成立。 「富沢家住宅」：旧街道沿いに残る県内最古級の養蚕農家。昭和45年重要文化財。 「薄根の大桑」：樹齢1、500年の山桑の巨木で地元の「養蚕の神」。昭和31年天然記念物。	富岡製糸場の世界遺産登録推進	群馬県	・県HPへ関連ページを公開
	紡績・製糸・織物の近代化遺産 新町、安中市、桐生市	「新町紡績所」：明治10年の官営絹糸紡績工場がほぼ完全に残存する。 「碓氷社本社本館」：明治38年建築の近代和風建築の代表的な建造物。平成2年県指定重要文化財 「桐生本町建造物群」：昭和初期の家並みに鋸屋根工場、煉瓦倉庫が約五十棟残存。	富岡製糸場の世界遺産登録推進	群馬県、新町	・県HPへ関連ページを公開
	産業近代化の模範 松井田町、高崎市、太田市	「碓氷峠鉄道遺構」：旧碓氷線の阿武隈樹鉄道敷を煉瓦トンネル、橋梁、変電所などと共に重要文化財指定(平成4年)。 「岩鼻火薬製造所」：明治13年の水力利用の黒色火薬の製造プラント。火薬庫は完全に現存する。 「旧中島飛行機本社工場」：昭和9年の航空機専用工場。本館と工場等の4棟現存。	文化財調査・活用	松井田町	・県HPへ関連ページを公開
	群馬県	日本の近代化の原点となった場所はここである 富岡市	(旧富岡製糸場)……………明治国家を支えた生糸の生産を近代化するため、日本で最初に設置された模範工場である。明治政府の官営工場がほぼ完全に残る唯一の施設で、西欧近代技術の現地化を象徴する建築は今もなお美しさを保持しており、地域のみならず全県押して世界遺産登録に向けて推進活動を行っている。	世界遺産登録推進事業	群馬県他
群馬県	太平記の里：鎌倉倒幕で有名な新田義貞一族ゆかりの地 太田市	(史跡「新田荘遺跡」)……………平安末期に成立した新田氏の荘園に関連する11箇所の寺社境内・館跡・湧水池などで構成される。新田義貞は足利尊氏らと鎌倉幕府を倒幕した武将であり、また、新田荘は徳川家にも縁があることから、地域の誇りとなっている。	遺跡めぐり	太田市	・遺跡案内図の発行
	この遺跡の発見が日本史を書き換えた 笠懸町岩宿	(岩宿遺跡)……………日本にも旧石器時代に人が住んでいたことが始めたわかった遺跡。この遺跡の発見が当時の考古学の常識を覆した。発見者の相澤氏の地道な努力とその功績は地元の誇りとなっている。	博物館での各種イベント	笠懸町	
	「ここに泉あり」戦後の復興の中から生まれた地方オーケストラ 高崎市	(群馬交響楽団)……………終戦直後、「地方でオーケストラが育てば奇跡」と言われた時代に誕生し、以来、地方オーケストラのパイオニアとして常に新しい道に挑戦し続けている楽団。この楽団の移動音楽教室により群馬の子どもたちは小学校から高校までの12年間で計4回、生のオーケストラを聞く機会がある。	移動音楽教室 定期演奏会等	群馬県教育委員会 (財)群馬交響楽団	・50年誌の発行
	歴史的街並みやその周囲の環境が良好に保たれている 六合村赤岩地区	(赤岩地区)……………国の重要伝統的建造物保存地区選定に向けて取り組んでいる地区。高野長英の隠れ里でもあり、歴史を感じさせる養蚕農家や蔵が建ち並んでいる。	歴史的街並保存推進事業	群馬県教育委員会他	
	古墳時代5世紀後半の群馬における有力な王の存在があった 群馬町	(保渡田古墳群)……………二子山古墳・八幡塚古墳・薬師塚古墳という、いずれも5世紀後半に築かれた3基の100m級の前方後円墳の総称。「上毛野はにわの里公園」として整備されている。	史跡公園整備	群馬県教育委員会	
戦国期の上州の有数な城であった 箕郷町	(箕輪城跡)……………榛名東麓に築かれた並郭式の平丘城。北に二の丸・本丸・御前曲輪など五郭が並び、南は木俣曲輪・水の手曲輪・大手門などがあり、南北900m、東西450mの大城郭。1510(永正7)年、長野業尚の創築。現在は、史跡公園として整備が進められている。	箕輪城祭り(武者行列等)	箕郷町		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
	歴史ファン、鉄道ファンならだれでも知っている碓氷峠 松井田町	(碓氷峠)…………江戸時代の2代関所の一つ。かつてアプト式鉄道の走った峠。旅情をかき立てる峠の釜飯はあまりにも有名。横川には鉄道文化むららがオープンし、また、坂本宿はかつての名残を残している。 (小幡)…………織田家・松平家に縁のある城下町。日本名水百選の堰があり、毎年張るには織田家出陣の様子を伝える「武者行列」が行われる。織田家御殿跡の楽山園は国の名勝に指定されている。	安政の遠足マラソン	安中市等	・中山道を歩いてみようマップの発行 ・HP	
	織田・松平など名家縁の城下町 甘楽町		武者行列	甘楽町		
群馬県	新陰流の祖「剣聖」上泉伊勢守信綱生誕の地 前橋市	新陰流は日本剣術を代表する流派で、新陰流を創出した信綱は諸国放浪の旅に出て数々の高弟に伝えた。その中には、13代將軍足利義輝や柳生宗厳もいた。前橋市上泉町の西林寺には墓が残っている。	生誕500年記念行事の開催	上泉伊勢守顕彰・生誕500年祭実行委員会	・古文書 ・「剣聖上泉伊勢守」のビデオ	
	富岡製糸場を中心とした養蚕・製糸・織物等に係る近代化遺産 群馬県内		重要文化財富岡製糸場	上泉伊勢守シンポジウム		上泉伊勢守顕彰・生誕501年祭実行委員会
						柳生の里視察
埼玉県	秩父夜祭り 秩父市	約300年の歴史を持ち、京都祇園祭・飛騨高山祭と並び、日本三大曳山祭りに数えられている。祭りの中で引き回される笠鉾・屋台は、国の重要有形民俗文化財に指定されている。また、祭りの中で演じられる秩父神社神楽・曳き踊り・屋台芝居は、国の重要無形民俗文化財に指定されている。	秩父まつり会館建設	(有)ちちぶ観光機構	・秩父まつりガイドブック・限定カレンダー ・秩父まつり会館建設	
	秩父事件 秩父市、小鹿野町		秩父夜祭り限定カレンダー	秩父観光協会		
				秩父夜祭りガイドブック		秩父観光協会
埼玉県	秩父事件 秩父市、小鹿野町	2004年、秩父事件を題材に映画「草の乱」が制作された。制作費約4億5千万円のほとんどが市民からのカンパであり、8千人のボランティアエキストラが出演している。	秩父屋台囃子保存	秩父屋台囃子保存会	・調査研究のための協議会設立 ・関連施設ウォーキングマップ作成 ・秩父事件資料館建設、関連資料の展示	
	秩父34箇所観音霊場 秩父市、横瀬町、小鹿野町、皆野町		映画「草の乱」ウォーキングマップ作成	秩父市		
				秩父事件資料館建設		吉田観光協会
埼玉県	秩父34箇所観音霊場 秩父市、横瀬町、小鹿野町、皆野町	西国33カ所、阪東33カ所と共に、日本百番観音に数えられている。	秩父市立吉田歴史民俗資料館資料整備	秩父市教育委員会	・秩父礼所の紹介・案内 ・秩父ふるさと館「秩父礼所巡礼のやかた」建設	
	小鹿野歌舞伎 小鹿野町		地域の文化交流事業(県内外での公演)	小鹿野町		
				小鹿野観光商業情報館「夢鹿蔵」整備		ハンビサービス協同組合
埼玉県	龍勢祭り 秩父市吉田	龍勢とは「棕神秋の大祭」に奉納する神事として、代々伝承し続けられてきた「手作りロケット」のことである。櫓にかけて打ち上げる姿が龍の昇天する姿に似ていることから、「龍勢」と呼ばれている。土地の古老から若衆が製造方法を伝承し、27流派が現存する。	道の駅「龍勢会館」における展示	吉田観光協会	・吉田観光協会HP ・道の駅「龍勢会館」において、祭りの様子を常設展示	
	川越の蔵造りの町並み 川越市(一番街周辺)		「龍勢茶屋」「龍勢御膳」といった、地域の休憩施設・食事メニューへの命名	吉田観光協会		
				川越の蔵造りの町並み保存		NPO法人川越蔵の会
埼玉県	郷士の偉人 埼玉県内	日本近代資本主義の父である渋沢栄一翁など、県ゆかりの偉人の功績を発掘・顕彰し、郷土の文化に対する認識を深めてもらうとともに、郷土に対する愛着を育み、もって特色あるふるさとづくりを推進する。	渋沢栄一賞事業	埼玉県	・報告書 ・HP ・マップ	
	秩父事件鐘起の地 秩父市吉田地区		下総皖一重謡音楽賞事業	埼玉県		
				巡回偉人展		埼玉県 各市町村
埼玉県	秩父事件鐘起の地 秩父市吉田地区	秩父事件の幹部を多く輩出している。武装鐘起した棕神社があり、秩父事件を描いた絵画や各種資料が「石間(いさま)交流学習館」に展示されているのははじめ、関連の史跡、屋敷跡が数多く点在する。また、平成16年に秩父事件を題材とした映画「草の乱」の撮影が行われ、事件の中心人物「井上伝蔵」(緒方直人主演)の生家「丸井商店」が復元され、撮影後は、秩父事件資料館として利用されている。	偉人データのHPでの情報提供	埼玉県	・映画「草の乱」 ・NHK大河ドラマ「獅子の時代」 ・事件についての資料を説明したパンフレット	
			秩父事件資料館「井上伝蔵邸」	秩父市吉田総合支所		
			石間交流学習館	秩父市吉田総合支所		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
埼玉県	秩父歌舞伎発祥の地としての誇り	江戸時代から伝承されている秩父の農村歌舞伎は小鹿野町が発祥の地とれ、町をあげて大切に継承し、町づくりの柱となっている。特に「子ども歌舞伎」の振興に熱心であり、町内の多くの小中学生が歌舞伎を習い、祭りやイベントで披露している。	小鹿野歌舞伎	小鹿野町教育委員会、小鹿野歌舞伎保存会	・秩父歌舞伎創設者の碑 ・小鹿野歌舞伎 ・小鹿野歌舞伎の研究 ・調査報告書	
	小鹿野町					
	日本三大曳山祭りとしての誇り	秩父夜祭りは、京都の祇園祭り、飛騨の高山祭りとともに、日本の三大曳山祭りとしてされており、秩父地域の誇りとなっています。また、国指定重要無形文化財「秩父祭の屋台行事と神楽」として位置づけられ、その構成要素として秩父神楽や歌舞伎も加わっております。	秩父祭りの屋台行事 まつり会館	屋台連合会 秩父市	・秩父屋台囃子 ・秩父神楽、秩父歌舞伎 ・秩父夜祭りの研究 ・調査報告書	
	秩父市		秩父祭りのパンフレット 秩父神楽伝承 屋台囃子伝承	秩父市商工会議所等 秩父神楽保存会 各町内会屋台囃子保存会等		
	日本地質学発祥の地としての誇り	長瀬はさまざまな結晶岩が露出し、巨大な岩石段丘（岩畳）が見られるところで、明治初期に近代地質学が日本に導入されて最初に総合的な調査が行われた地である。古い地層から新しい地層までバラエティーに富んでおり、多くの著名な学者や有名人がこの地を訪れている。なお、「長瀬」は国の名勝・天然記念物にしていされており、観光地化されている。	埼玉県立自然史博物館 地質等公開講座	埼玉県、埼玉県教育委員会、長瀬町等 自然史博物館	・日本地質学発祥の地碑 ・多様な地質資料	
	長瀬町					
	蔵のまちとしての誇り	川越は北の守りとしての城下町であるとともに、江戸への物資の供給地として重要であり、舟運が発達しました。小江戸と呼ばれたこのまちは、商人の活発な経済活動で栄え、独自の蔵造りのまちが築かれました。現在蔵造りの街並みは国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。また、川越住民の心の支えである川越氷川祭りは山車行事として国指定になっています。	川越氷川祭りの山車行事	川越市、川越まつり実行委員会	・お囃子 ・蔵造り民家 ・屋台囃子、足踊り ・氷川祭りの研究 ・調査報告書	
	川越市		市立博物館・屋台会館	川越市、川越まつり実行委員会		
	県名発祥の地としての誇り	行田市大字埼玉は県名発祥の地です。語源は幸魂などから起こったともいわれ諸説あります。また、国指定史跡の埼玉古墳群からは国宝の「金錯銘鉄剣」が出土し、さきたま風土記の丘の資料館に展示されております。	さきたま火祭り	さきたま火祭り実行委員会	・県名発祥の碑 ・埼玉古墳群調査 ・調査報告書	
	行田市		埼玉資料館	埼玉県立さきたま資料館		
武蔵武士の誇り	平安・鎌倉時代に武蔵武士の児玉党や丹党などが活躍した地であり、関連の遺跡や祭りが多く、神川町阿久原には児玉党の始祖を祭ったお宮があり裸祭りが行われる。また、同町の武蔵二の宮金鑽神社は本殿のないお宮として有名で丹党の庇護も篤かった。さらに、美里町猪俣は児玉党一族の猪俣党の地であり、国指定の百八燈は御霊鎮目の行事である。その他多くの遺構がある。	重忠祭り	嵐山町	・吾妻鑑 ・記念碑 ・重忠太鼓 ・武蔵武士研究 ・調査報告書		
児玉郡市		歴史資料館	埼玉県立歴史資料館			
日本の航空発祥の地としての誇り	所沢は、かつて基地のまちといわれ、市の中央は広大な飛行場で占められていた。現在は所沢航空記念公園として整備され、市民の憩いの場となっている。	航空記念館	所沢市、所沢市教育委員会			
千葉県	利根川・江戸川の水運	野田の醤油・流山の味醂・佐原の町並み・佐原の大祭など、流域の発展や町の成り立ちに大きな影響を及ぼしている。	千葉県立大利根博物館	千葉県	・各博物館の刊行物、研究紀要など ・各博物館の刊行物、研究紀要、HPなど	
	利根川・江戸川沿い		千葉県立関宿城博物館	千葉県		
	日蓮聖人ゆかりの地 鴨川市、市川市など	日蓮聖人生誕の地に建つ小湊誕生寺、日蓮宗開宗の清澄寺、日蓮を支えた寺院でもあり真筆立正安国論はじめ日蓮ゆかりの遺物を伝える中山法華経寺など				
	九十九里の鱈漁	九十九里大漁節、鏡子大漁節、今に残る地曳き網漁（現在は観光用）など	九十九里大漁節	九十九里大漁節保存会	・各市町村史など 各博物館、文書館	
	九十九里地域		九十九里いわし博物館旧蔵資料の保存	各博物館、文書館		
	成田山新勝寺	成田山新勝寺、参道の町並み、名物（羊羹、漬物、川魚の佃煮など）	成田山霊光館	新勝寺	・成田山霊光館刊行物など ・ビデオ『「光町・御大般若」伝承の記録』	
	成田市		成田山仏教図書館	新勝寺		
	鬼来迎	鬼来迎、広濟寺、鬼来迎面	冊子、ビデオなどの作成	光町		
	千葉県匝瑳郡光町		Tシャツなど関連グッズの販売	光町		
	伊能歌舞伎	伊能歌舞伎	鬼来迎	鬼来迎保存会		
千葉県香取郡大栄町	公開公演 「伊能歌舞伎米」など関連商品による普及		大栄町 大栄町	・DVD『千葉県農村歌舞伎伝承の記録』		
安房やわたんまち（安房神社国司祭）	館山市八幡の鶴谷八幡宮の祭礼でもあり、また安房国全体の祭礼として、この地域の神社10社が集まる祭礼。	伊能歌舞伎	伊能歌舞伎保存会、伊能歌舞伎後援会	・安房神社 HP		
館山市、白浜町、丸山町		やわたんまち	安房やわたんまち安房国国司祭継承保存会			
大原幽学の性学	大原幽学記念館など	大原幽学記念館	旭市	・大原幽学記念館刊行物、HPなど		
千葉県旭市周辺						

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域を活性化させた 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ				
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体					
	対象地域								
	千葉氏の歴史	千葉市立郷土博物館、千葉寺、千葉神社、その他	千葉市立郷土博物館	千葉市	・千葉市立郷土博物館刊行物、HP など				
	千葉県北、中部								
	里見氏の歴史	南総里見八丈伝、館山市立博物館、その他	館山市立博物館 南総里見まつり実行委員会 館山市	館山市 南総里見まつり実行委員会 館山市	・館山市立博物館刊行物 ・ふるさと百科「館山大事典」				
	安房地方								
	東京湾岸の貝塚	加曽利貝塚博物館、市川考古博物館、飛ノ台史跡公園博物館、国指定史跡（加曽利貝塚、月ノ木貝塚、荒屋敷貝塚、横橋貝塚、堀之内貝塚、姥山貝塚、曾谷貝塚）、園生貝塚研究会、千葉市の遺跡をあるく会その他	加曽利貝塚博物館 市川考古博物館 飛ノ台史跡公園博物館 貝塚研究にもとづく研究報告雑誌の刊行 千葉市の遺跡散策	千葉市 市川市 船橋市 園生貝塚研究会	・埋蔵文化財紹介ビデオ ・埋蔵文化財調査研究冊子・報告書等 ・学校教材用の文化財セット ・土器づくり、勾玉づくり等				
東京湾岸地域									
千葉県	小江戸文化の伝統が息づくまちとしての誇り	水郷佐原は、江戸時代に利根川水運の拠点として栄えた商業都市としての伝統を地域住民が熟知しており、年2回行われる大祭を通じて「佐原ばやし」等の伝統芸能が子供達にも受け継がれている。小野川沿いの重要伝統的建造物保存地区では、景観に配慮した観光まちづくりが進んでおり、伝統を生かした商工振興に市をあげて取り組んでいる。	佐原の大祭（山車行事）	佐原市社会教育課、佐原山車行事伝承保存会	・まちなみ紹介のパンフレット、商工会議所 HP 等				
	佐原市（小野川沿いの重要伝統的建造物保存地区）								
	伝統的な門前町としての誇り		成田山新勝寺は江戸時代後期に「成田詣」が定着し、現在にいたっても多くの参詣客が訪れ、その参道は大いに栄えている。夏の祇園祭においても大人形を擁する山車が周辺町内をまわるなどの伝統が、地域住民にしっかりと引き継がれている。近年は、景観や歩きやすさに配慮した参道の整備に地域を挙げて取り組んでおり、その実績は高く評価されている。	祇園祭	祇園祭実行委員会（市・商工会議所・観光協会・各町会） 上町まちづくり協議会	・観光協会パンフレット、HP 等			
	成田市（成田山新勝寺参道）								
	城下町としての誇り		江戸時代の旧佐倉藩では藩主堀田氏の下、蘭学が盛んに行われ、「西の長崎、東の佐倉」と称されたほどであった。旧城下町には、学問と質実剛健がしのばれる雰囲気が残されており、当時の武家屋敷等が保全されている。毎年9月には時代祭りが行われ、多くの観客を集めているだけでなく、「城下町としての佐倉」の伝統が地域住民に深く浸透させている。	散策ガイドブック作成	佐倉市観光協会	・佐倉市史研究等 ・HP、散策パンフレット等			
	佐倉市（旧城下町）								
神奈川	神奈川県立金沢文庫	【関連のある資源】称名寺（金沢北条氏の菩提寺で、鎌倉幕府滅亡後、近代まで金沢文庫を管理）	月例講座	神奈川県立金沢文庫	・地域史の紹介 VTR ・『金沢文庫研究』（中世の歴史、文化等に関する論文を掲載） ・展覧会図録（過去に開催した展覧会の図録） ・絵巻書				
	横浜市金沢区								
	歴史資料保存					神奈川県立金沢文庫			
	歴史資料修理					神奈川県立金沢文庫			
神奈川	地域に根付いた盆行事を伝える誇り 三浦市初声町	三戸のお精霊流し・・・物故者の慰霊のために朝3時ごろ、子どもたちは墓地をまわり墓前の供物を集めて、砂浜へ運びます。また、6時ごろになると各家々からもお盆にお迎えした精霊様やお供物を持ってきます。その間大人たちは浜で5mほどの墓船を作ります。そして、船にお精霊様や供物を載せ、子どもたちによって沖へと引かれ流されます。	三戸のお精霊流し	三戸区（地域自治会）	・三戸の民俗誌				
	地域に伝わる獅子舞を伝える誇り 横浜市青葉区あざみ野					牛込の獅子舞	牛込獅子保存会	・牛込獅子舞	
	地域に伝わる厄霊除けの行事を伝える誇り 横浜市戸塚区戸塚					お札まき	お札まき保存会	・お札まき	
	地域に伝わる伝統芸能を伝える誇り 横須賀市長井					長井の飴屋踊り・・・飴屋踊り・粉屋踊り・万作踊りなどといわれるこの民俗芸能は、江戸末期関東地方で該当の飴売りが人寄せに演じ、またその人たちが農漁村に招かれて教えたものが伝承されたものです。	長井の飴屋踊り 飴屋踊り講習会	長井飴屋踊り保存会 長井小学校、長井中学校	・飴屋踊り
	地域の人形芝居を伝える誇り 厚木市長谷・林					相模人形芝居長谷座・林座・・・相模人形芝居は、およそ250年前に江戸から相模地方一帯に伝えられたもので、大阪の文楽と同じ「3人遣い」という一体の人形を3人の人形遣いが動かす事と「鉄砲差し」という独特の操作方法に特徴があります。	相模人形芝居 厚木市郷土芸能まつり 郷土芸能教室	相模人形芝居長谷座・林座 厚木市	・相模人形芝居 ・厚木市 HP

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
新潟県	回船（江戸）時代からの重要伝統的建造物群保存地区としての誇り 佐渡市（旧小木町）宿根木	平成3年に県内で初めて重要伝統的建造物保存群に指定され、回船時代から残る伝統的家の修復・再生に取り組んでいる。修復民家の公開（有料）のほか、往時の船主が尾道から運んだ石材や石工で作った船つなぎ石や石橋なども多く残っている。また地元中学生によるボランティアガイドを行い、観光客に癒しを与えている。	中学生ボランティアガイド	教育機関	・新潟県地域づくりの広場
	町屋商人が県内最古の城下町に新風を吹き込む心意気＝誇り	町屋の案内マップ「村上絵図」を始め、町屋の公開、江戸時代から現代に伝わる時代雑などの「お人形さま」公開、屏風公開などにより、来訪観光客は10万人を数えるに至った。現在は、市民による派生した活動（芝居、芸能、音楽、黒塚プロジェクト）が行われ、全国から注目されている。	案内マップ作成	村上町屋商人会	
	村上市旧町人町地区（中心市街地）		時代雑の公開（お人形様巡り）	村上町屋商人会	
			屏風披露	村上町屋商人会	
			写真集「町屋とお人形さま」の販売	村上町屋商人会	
			黒塚復活プロジェクト	村上町屋商人会	
	「渡辺邸」越後を代表する豪農の館としての誇り 関川村	千町歩地主と呼ばれた全国9軒のひとつで、文化14年（1817年）に建設された国の指定重要文化財。約3000坪の敷地には、切妻造りの母屋、6つの土蔵、名勝庭園が配置されている。ドラマ撮影では、監督が建物と庭園にほれ込み、また、地域住民200名がエキストラ参加して、県内におけるロケによる地域活性化の先駆的事例ともなった。	周辺整備	関川村	
	越後が生んだ弓の名手「板額御前（ファンかくごぜん）」 胎内市（旧中条町）	板額御前は、弓の名手である女武者で、越後一門に勢力を誇った城守国（じょうすけに）の娘として、1172年に現在の胎内市（旧中条町）飯角地区に生まれたとされる。学術・美術に優れ、鎌倉時代の歴史書「吾妻鏡」にも弓の名手で「百発百中」と記されている。この女武者を寸劇や学校授業などで紹介するとともに、記念イベント開催や「板額会」結成を通じた歴史に親しむイベント等の企画を行っている。	中秋の名月・板額の宴	板額会	
	素朴なふるさと「出羽街道小俣宿」 山北町小俣	小俣宿は、出羽街道の宿場町として出羽三山への参拝者などにぎわい、明治初期に建てられた家屋には二十化粧梁という独特の建築様式のほか、養蚕を兼ねた住宅や旅籠、石積みなど、独特の景観を形成している。地域内の「日本国山」には登山者が多く、登山者との交流イベントや、お休み処としての民家縁側の開放、歴史資料の展示館などの仕掛けを集落内でを行い、交流人口が拡大している。	日本国山開き 植物の紹介看板設置 屋号看板設置 日本国ふるさと市場開設 日本国ふれあい処「小俣屋」開業	小俣ふるさと楽校 小俣ふるさと楽校 小俣ふるさと楽校 小俣ふるさと楽校 小俣ふるさと楽校	
	豪雪地商店街特有の建築様式「雁木」の風情 栃尾市	昔ながらの風情ある雁木の街並みは、ライフスタイルの変化や町屋の建て替え、アーケード化等により失われている。希少価値となりつつある雁木をまちづくりに活かすために、地域住民と新潟大学、行政が協働で、屋号看板の設置、雁木の建て替え等を行っている。	屋号デザイン看板設置 雁木建て替え	表町住民、新潟大学 表町住民、新潟大学	
	歴史の中に風情が残る「北国街道出雲崎宿」妻入りの街並み 出雲崎町海岸地区	当地は江戸時代には、佐渡からの金銀の陸揚げ地で、北前船の寄港地など歴史的経緯から、特有の「妻入り」の町屋が形成された。通りに面して直角細長い屋根が3.6Kmも連なる景観は壮観である。地域では、おもしろ看板設置や、のれん製作、情報誌「妻入り」発行などを行い、また日本芸芸大学生による「スケッチ合宿」は約20年を経過し、保管作品は250点を超えるに至っている。	看板、情報誌、マップ作成 街並みフォトコンテスト 出雲崎街並スケッチ合宿	出雲崎妻入りの街並み景観推進協議会 出雲崎妻入りの街並み景観推進協議会 日本芸術大学	
	「育英こそ百年の大計」と説いた小林虎三郎の「米百表」の思想 長岡市	戊辰戦争で焼け野原となった長岡城下に、支藩から見舞いの米百表が送られたが、説きの大参事・小林虎三郎はこの米を売却し、国漢学校の資金に注ぎ込んだ。この主張は、「目先のこととらわず、人物を養成する」という思想となり多くの人に感動を与えた。長岡市米百表財団は、この精神を次代に受け継ぎ・発展させ人材を育成させるため奨学金の貸付、留学期学生の派遣、派遣研修助成等を行っている。	米百表表彰、研修助成	長岡市米百表財団	
日本のふるさとの原風景「かやぶきの里」 柏崎市（旧高柳町）荻ノ島	地域の象徴でもある茅葺き民家の残る荻ノ島集落では、茅葺民家の保存や滞在施設の運営のほか、伝統行事や食文化など地域の伝統文化を一体的に保存・活用し、地域内外の交流の活性化を図っている。また、茅葺きの補修には約80人のボランティアが参加するなど、都市住民との交流人口が拡大している。	荻ノ島体験かやぶきの家整備、運営 茅葺き民家の再生	高柳町、荻ノ島ふるさと村組合 荻ノ島ふるさと村組合		
雪国城下町の風情を今に伝える雁木通りと平入りの町屋 上越市高田市街地	高田市街地には、総延長日本一の約16kmの雁木があり、その母屋である平入りの町屋の内部には、美しい吹き抜け構造が見られる。市民編集委員によって作成された「高田まちなみ散策」が、アートイベント「城下町高田花ロード」来場者に配布されたり、市所有の町屋の見学会や市民が所有する町屋活用イベントなどとともに、高田のまちなみの魅力がPRされている。	まちなみ散策パンフレット作成 町屋見学、活用イベント	上越市、地域住民 上越市、地域住民		
上杉謙信ゆかりの「松之山街道」を活かした歴史と伝統の里 十日町市（旧松代町）大伏	上杉謙信の関東出陣の軍用道として使われ、北国街道の高田と三国街道の塩沢宿を結ぶ約19里の松之山街道。平成8年に文化庁の「歴史の道百選」に選ばれて以降、地域で講演会、古道散策ツアー、案内看板・パンフレット作成等を行い、誇りと生きがいの持てる地域づくりを行っている。古道という歴史遺産のほか、ホタルの群飛地や珍しい木々の存在等、地域の新しい魅力発見等の効果が生まれている。	講演会 パンフレット 散策ツアー 郷土芸能伝承施設	松之山街道活性化委員会 松之山街道活性化委員会 松之山街道活性化委員会 松代町		
新潟県 奥山荘の故地としての誇り 胎内市全域	市内には、平安期以来の伝統を持つ史跡奥山荘城館遺跡として指定されている遺跡地が11地点もあり、その他古文書、荘園絵図など広く知られていることから、地域の宝として最もふさわしい。	仲秋の名月・板額イベント 史跡整備 史跡ガイド	板額会、商工会議所、胎内市 胎内市	・史跡公園での、能、神楽、太鼓等の演奏 ・板額御前のビデオ・発掘調査等 ・HP、発掘調査報告書、史跡パンフレット	

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	日本海最北の前期古墳が残るまちとしての誇り 胎内市大塚	本古墳は、本年発掘調査によって日本海側最北の前期古墳であることが確認されたところであり、多くの市民が関心を持っている。 金銀山遺跡は、佐渡の精神的シンボルであり、これに付随する鉱山文化は現在も脈々と引き継がれ現在にいたっている。 佐渡市	史跡整備	胎内市	・発掘調査 ・発掘調査報告書 ・佐渡の伝統芸能記録保存ビデオ ・佐渡金銀山 DVD、佐渡金銀山室 HP、佐渡伝統文化研究所準備室 HP、天領ゼミナール記録集 ・佐渡金銀山遺跡友の会たより（機関誌）
	佐渡金銀山遺跡		文化講演会 佐渡奉行所跡	佐渡市教育委員会 佐渡市教育委員会	
			佐渡金銀山遺跡調査委員会	佐渡市教育委員会	
			全国天領ゼミナール研究会	佐渡市教育委員会、全国天領ゼミナール研究会	
			天領能	佐渡観光協会、佐渡市	
			金銀山友の会活動 世界遺産を考える会活動	金銀山友の会 世界遺産を考える会	
			日本佐渡学講座	日本佐渡学会	
新潟県	良寛 新潟県下越、中越、佐渡地域	江戸後期の禅僧であり、その書や思想が今日も多くの人の共感を呼んでおり、海外にも知られている良寛和尚の足跡は県内各地に点在。とくに円熟期を過ごした五合庵等の史跡や托鉢に通った旧北国街道沿いの町並みなどに、多くの人が訪れている。 古来から多くの文化が伝播し、継承されるなかで島特有の文化を形成してきたとされ、とくに芸能等の民俗文化において特徴的なものが多い。 国宝・笹山遺跡（火焰型、王冠型）土器群、国指定重文・馬高遺跡火焰土器、火焰型土器ほか、縄文文化のなかでも独特な造形美を持ち、故岡本太郎もその意匠を絶賛した土器群をはじめ、縄文文化を紹介する遺跡や、博物館も多数ある。	新潟県立歴史博物館	新潟県立歴史博物館	・展示、各種講座等 ・展示、各種講座等 ・展示、各種講座等
	佐渡の伝統芸能 佐渡島全域		新潟県立歴史博物館	新潟県立歴史博物館	
	縄文文化（とくに火焰型土器） 新潟県全域特に火焰型土器は、信濃川沿いの中越地域		新潟県立歴史博物館	新潟県立歴史博物館	
	高岡万葉まつり、万葉集全 20 巻朗唱の会 高岡市		万葉集全 20 巻朗唱の会	高岡万葉まつり実行委員会	
富山県	まちなみアートルレーンとやま 富山市八尾地区ほか	富山県内には、伝統的な町屋や通りを大切にし、これを守りつづけるため、惜しめない努力を払っている地域が多くある。その特色ある町並みを活かしたアートイベントが各地で展開されている。	まちなみアートルレーンとやま	まちなみアートルレーンとやま連絡協議会	・報告書
	能登の塩田再興 珠洲市	奥能登の塩づくりは加賀藩に保護されてきたが、明治になって保護がなくなり、塩の値段の低下に伴い廃業が続出した。奥能登の塩づくりが崩壊寸前となったとき、医師・藻寄行蔵が私財を投じるとともに、行政からも資金を調達し危機を乗り切った。その後、行蔵は塩づくりの製法や資金の調達・運用の仕組みを確立し、これにより、奥能登の塩田は見事に復活を遂げた。	能登塩田再興碑の建立 「伝えたいふるさとの100話」に掲載 奥能登塩田村の設置・運営	石川県、珠洲市 珠洲市	・奥能登塩田村のパンフレット ・奥能登塩田村での製塩体験
	日本初の社会福祉法人 金沢市	明治初頭、加賀藩の撫育所（生活保護のための施設）が閉鎖された。小野太三郎は、行き場を失った人々を自宅に温かく迎え入れ、私財を投げ打って衣食住の世話をするとともに、若年者には教育を、大人には仕事のあっせんを続けた。後年、その活動が結実し、（財）「小野慈善院」の創設に至った。「小野慈善院」は、その後社会福祉法人「陽風園」となり、我が国で最も古い社会福祉法人として全国に知られている。	小野太三郎翁顕彰碑の建立 社会福祉法人「陽風園」の設置・運営 「伝えたいふるさとの100話」に掲載	社会福祉法人「陽風園」 石川県、金沢市	・社会福祉法人「陽風園」
石川県	七ヶ用水 白山市	金沢平野は、県内最大の手取川によってつくられた平野であり、江戸末期まで、七つの用水がそれぞれ引かれていたが、取水量は不十分で大雨で堤防が流されることも多かった。枝権兵衛は、平野全体に十分な水を行き渡らせるとともに、洪水も防げるよう、私財を投げ打って、トンネルと掘削の工事に着手した。5年の歳月を費やし完成した用水は、現在でも、金沢平野の農業に恩恵を与えている。	手取川七ヶ用水土地改良区の設立・運営 「伝えたいふるさとの100話」に掲載	手取川七ヶ用水土地改良区 石川県、白山市	・紙芝居「枝権兵衛」 ・手取川七ヶ用水土地改良区のHP ・ウォークラリー、清掃ボランティアの集い、演劇公演
	加賀百万石の伝統を引き継ぐ伝統芸能（加賀万歳、加賀獅子、旗源平等） 金沢市	歴史的な由来のある伝統芸能である。	祭礼、市民講座、学校教育活動等	県、市、学校、団体等	・芸能を演じる際の笛、太鼓等の演奏 ・市史編纂事業における調査研究等 ・「金沢市史」、「書府太郎」（北国新聞社）等
石川県	加賀藩の学問奨励策 金沢市	新井白石に「天下の書府」と称された学問奨励策	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「金沢市史」、「書府太郎」（北国新聞社）等
	加賀百万石の誇り 金沢市	前田利家の金沢入城後、百万石の大藩として栄えた歴史。NHK大河ドラマ「利家とまつ」を機に、県民の理解と関心が高まる。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・戸部新十郎の「前田利家」 ・NHK大河ドラマ「利家とまつ」 ・市史編纂事業における調査研究等 ・「金沢市史」、「書府太郎」（北国新聞社）等

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	芋掘藤五郎伝説	金沢の地名の由来と関係あり	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・民話集等 ・市史編纂事業における調査研究等 ・「金沢市史」、「書府太郎」（北国新聞社）等
	金沢				
	七尾城	能登の守護大名として170年間、統治した畠山氏の居城。七尾では、七尾城まつりを開催し、その栄華を偲ぶ。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「七尾市史」、「書府太郎」（北国新聞社）等
	七尾市				
	七尾の祭り	青柏祭、石崎奉燈祭、能登島の「向田の火祭」等	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究 ・「七尾市史」、「中島町史」、「田鶴浜町史」、「能登島町史」等
	七尾市				
	田鶴浜の建具	300年の伝統を持つ伝統産業として、地域に定着。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・町史編纂事業における調査研究等 ・「田鶴浜町史」等
	七尾市（田鶴浜地区）				
	那谷寺	松尾芭蕉も詠んだ景勝地。紅葉の名所としても知られる。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「小松市史」等
	小松市				
	お旅まつり	江戸時代、長浜から伝えられたとされ、当番町が歌舞伎の名演技を披露。子供歌舞伎	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「小松市史」等
	小松市				
	時国家	平家の子孫の屋敷として継承される。国指定文化財に指定。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「輪島市史」等
	輪島市				
	輪島塗	漆芸伝統工芸として知られる。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「輪島市史」等
	輪島市				
	若山荘	中世、能登最大の荘園として知られる。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「輪島市史」等
	珠洲市				
	北前船で栄えた橋立	江戸時代に栄えた北前船の船主たちの屋敷が残る	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「加賀市史」等
	加賀市				
	首洗い池	「平家物語」の一説にある、斎藤実盛の首を洗った首洗い池。水で洗うと何と白髪の手。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「加賀市史」等
	加賀市				
	山ノ下寺院群	大聖寺藩主菩提寺「実性院」など1社7寺院からなる山ノ下寺院群	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「加賀市史」等
	加賀市				
	中谷宇吉郎	雪の人工結晶に成功。「雪は天から送られた手紙である」	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「加賀市史」等
	加賀市				
	唐戸山神事相撲	第11代垂仁天皇の皇子磐衝別命がこの地で若者を集めて相撲を取らせたという遺徳を慕って始められたとの伝説に由来。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「羽咋市史」等
	羽咋市				
	気多大社	能登一ノ宮語り継がれる2千年の歴史。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「羽咋市史」等
	羽咋市				
西田幾多郎	郷土が生んだ偉大な世界的哲学者	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「宇ノ気町史」等	
かほく市（旧宇ノ気町）					
白山比咩神社	かつては白山の頂上に建てられた加賀の一の宮	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等	・市史編纂事業における調査研究等 ・「鶴来町史」等	
白山市（旧鶴来町）					
鳥越城跡	加賀の一向一揆で本願寺門徒の農民らが団結して戦った加賀一向一揆の最後の砦	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
白山市（旧鳥越村）					
東大寺領横江荘家跡	日本で最初に発掘された荘家跡。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
白山市（旧松任市）					
旧県庁の所在地	明治5年、金沢県から石川県となり、初の県庁所在地となる。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
白山市（旧美川町）					
でくまわし	旧尾口村深瀬で江戸時代から旧正月や結婚式で演じられてきたが、ダム建設後集落ごと旧鶴来町に移転し継承。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
白山市（旧尾口村）					
加賀の千代女	17歳の時、松尾芭蕉門人に誉められ全国的に有名になる。「朝顔につるべとられてもらひ水」で知られる。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
白山市（旧松任市）					
能美古墳群	古墳時代に築造された約60基の古墳群。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
能美市（旧寺井町）					
九谷焼	色絵陶磁器の代表と言われ輝かしい伝統を持つ。全国的に知られる伝統工芸品。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
能美市（旧寺井町）					
山中漆器	約400年前に遡る木製漆器。江戸中期に京都から様々な技法を導入し発展。伝統工芸品。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
加賀市（旧山中町）					
山中節	船頭が湯治の際、出稼ぎで覚えた松前追分を湯の中で歌ったのを浴衣女が聞き惚れてまねて歌い始めた「山中節」	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
加賀市（旧山中町）					
じょんがら踊り	富樫氏が加賀の守護であったころから始められ、農民・町民・武士の区別なく一つの輪で踊ったと伝えられる。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
野々市					
倶利伽藍峠	源平合戦の古戦場。「火牛の計」が行われたと伝えられている。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
津幡町					

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域を活性化させた 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
	渤海との交流の基地 志賀町(旧富来町)	福浦は、「能登の客院」が置かれ、日本海をはさんだ渤海との交流の拠点であった。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
	宝達金山 宝達志水町(旧押水町)	中世から江戸初期に大量の金を産出。山麓集落には、砂金取りの伝説あり。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
	石動山 中能登町(旧鹿島町)	真言密教の霊山として知られ、神仏習合により五社権現と言われ天下に知られた。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
	雨の宮古墳群 中能登町(旧鹿西町)	古墳時代に造営された36基の古墳群。1号墳は、能登一円に支配権を及ぼした人物の古墳と推測されている。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
	長谷部祭 六水町	長谷部信連が大屋荘の地頭として穴水に入部した(1186年)ことに由来する祭り。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
	総持寺寺院 門前町	鎌倉時代に開かれ江戸時代に1万6千の末寺を数えた。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
	能登杜氏のおこり 能登町(旧内浦町)	松波の中辻幸太郎が1866年に24歳の時に、遺州松原屋に杜氏として採用されたのが能登杜氏のおこりとされる。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
	真脇遺跡 能登町(旧能都町)	縄文時代4000年も繁栄を続けた長期定住集落。イルカの骨が大量に発掘。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
	能登町の祭り 能登町	松波のキリコ祭、小木の伴旗祭、宇出津のあばれ祭等	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
	第6代横綱阿武松(お うのまつ)緑之助 能登町(旧能都町)	幼少期に数々の力自慢のエピソードを残し、江戸に出て横綱免許を許された。	市民講座、学校教育等	県、市町、学校等		
	福井県	北前船の商港としての 誇り	・北前船寄港地として栄えた三国湊に残る歴史文化施設と町並み景観が残っている。三国湊の社寺仏閣があり、三国町縁の文学者・詩人・俳人がいた地。 住民が地域の歴史を大切に保存しながら後世に伝えている。	エコツアー開催	三国湊魅力づくりプロジェクト実行委員会	
		三国町	・平成16年度から、住民有志らが三国の地域ブランドの確立を目指して、三国湊魅力づくりプロジェクト実行委員会を結成。地域づくりを主体的に実施。	特産品の開発	三国湊魅力づくりプロジェクト実行委員会	
		曹洞宗大本山永平寺建 立の地としての誇り 永平寺町	・曹洞宗大本山永平寺があり、本山の催事に住民が参加。住民の生活の中に本山とのつながりが根付いている。 ・平成17年度から、地元の関係団体らが、永平寺の地域ブランド確立を目指して、癒しと体験の旅を求めて「永平寺」プロジェクトに取り組む。	モニターツアーの開催 特産品の開発	永平寺町観光物産協会 永平寺町観光物産協会	
福井県	北前船の栄華が漂う情 緒あふれる湊町 三国町	三国湊は、江戸時代後期から明治前期にかけて、北前船が往来する寄港地であり、日本海有数の湊として繁栄した。江戸期の文化遺産といえる町並みや神社仏閣が残っている。 また、北陸3大祭りの一つである「三国祭」が開催されている。	三国町いざぎ親水公園整備	三国町		
	継体天皇伝説と越前和 紙の伝統 越前町粟田部など	越前市粟田部は継体天皇との縁が深く、その皇子時代の名「男大迹王」から「大迹辺」、そして粟田部へと転訛して今の地名となったとも伝わる。 天皇は皇位につく前に住んでいたとされ、この伝説は世阿弥の謡曲「花筐」ともなった。 1600年の歴史がある越前和紙は、国指定の伝統的工芸品となっている。	三里山自然と文化の公園整備	越前市	・謡曲「花筐」(作者世阿弥)	
	一能楽の里一池田 福井県池田町	池田町は各神社に多くの古面があり、「能楽の里」として知られている。 中世能面の創作期に活躍した「赤鶴」「福来」「三光坊」など多くの面打師は、この地方の出身である。	サイン作成	池田町	・水海の田楽能舞	
	鯖街道一宿場町の面影 を残す熊川の町並み 若狭町熊川	古代、若狭は、朝廷に食料を献上する御食国(みけつくに)のひとつであり、日本海で獲れた魚や貝が遠路はるばる京都へ運ばれていた。 浅野長政は、天正17年(1589)に熊川の諸役免除し、以降宿場町として栄えた。 18世紀後半から大量の鯖が若狭から京へと運ばれ、若狭街道が、鯖の道・鯖街道と呼ばれるようになった。	熊川宿整備	若狭町		
	万葉の里一味真野 越前市味真野	「味真野」の地の歴史は古く継体天皇の伝説を始め、様々な伝説や史実が伝えられている。 この地に流された中臣宅守(なかとみのやかもり)が狭野弟上娘子(さぬのおとがみのおとめ)と「互いに思ふ心を贈答しあった」歌が、万葉集十五巻に六十三首載せられている。	越前の里一味真野苑整備			
	禅の道 永平寺町	今から約750年前の寛元2年(1244年)に、道元禅師によって開創された永平寺は、室町時代に天皇から「曹洞宗第1道場」の勅額を贈られ、日本の禅修行の場として歴史を刻んできた。 330,000㎡にも及ぶ広大な敷地には、「七堂伽藍」など、70余棟の建物が、樹齢600年を超える老杉の巨木に囲まれながら静かにたたずんでいる。	歴史街道整備	永平寺町		
山梨県	藤木道祖神祭り 山梨県甲州市	小正月に行われる民俗芸能。大太鼓の上で、太鼓やそうばんに合わせて歌舞伎の名場面をかけあいで演じるもの。	藤木道祖神祭り	藤木道祖神祭り保存会	・HP (http://www.koshu-enzan.jp/cgi-bin/event.cgi)	
	古典落語「鯨沢」 山梨県南巨摩郡鯨沢町	落語「鯨沢」は、江戸時代から明治時代にかけて作成され、登場人物は主に和服を着て古い言葉を話す落語、すなわち古典落語である。この「鯨沢」を聞く会を開催し、文化の継承を図る。	古典落語「鯨沢」を聞く会	鯨沢商工会(元気会)		
	お茶壺道中行列 山梨県都留市	京都から江戸の將軍家に宇治茶を届ける行列を再現した。道中が都留市の勝山城に立ち寄り、城内の「お茶壺蔵」で夏の間、茶を保管したとされていることに由来する。	お茶壺道中行列再現	お茶壺道中研究会		
山梨県	武田信玄にかかわる史 実、伝承についての県 民のおもい 県内全域	戦国時代の郷士の英雄として県民に定着している。毎年4月には県や市町村、一般も含め、実行委員会が組織され、甲府市中心部を舞台に信玄公祭りが開催される。信玄のみならず武田氏にかかわる史跡や建造物は県内に多く残されており、これについては以下の事項で取り上げる。	信玄公祭り 県立博物館での展示	山梨県信玄公祭り実行委員会 山梨県	・武田氏研究会	

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
甲府県	武田氏三代の居館跡～史跡武田氏館跡 甲府市古府中町一帯	武田信虎、信玄、勝頼三代にわたり60年間機能した戦国期の館跡。国指定史跡として、管理団体である甲府市により整備事業が進められている。	館跡の調査、整備	甲府市教育委員会	・発掘調査報告書
	御勅使川・釜無川堤防群とおみゆきまつり 韮崎市、南アルファーズ市、甲斐市	武田信玄が築いたと伝えられる信玄堤・同じく御勅使川の流れを制御した遺構である将棋頭・石積み出し等史跡、から構成される堤防群。これらは甲府盆地を水害から守ったという先人の貴重な遺跡でもある。この水神を祀るための御三幸祭りは今なお重要な祭りとして、毎年盛大に催される。	文化財の保護、活用	市教育委員会他	・おみゆき祭り ・調査報告書
	天津司の舞 甲府市小瀬地区	甲府盆地中央部の水害常習地における、生活安泰を願う民俗芸能。中世の様相を色濃くつたえられたものとして国指定重要無形民俗文化財となっている。地域の人々の誇りともなっており、その継承は熱心である。	天津司の舞	天津司舞保存会、氏子総代	・天津司舞
	連歌の発祥地～酒折の宮 甲府市酒折	ヤマトタケルノミコトが寄寓した伝承が残る、酒折の宮。ミコトヒタキノオキナとの間で交わしたとされる連歌がもととなり、その発祥地と伝えられる。	酒折連歌賞	山梨学院大学	・連歌募集
	富士川舟運として栄えた誇り 鯉沢町、青柳町	江戸時代、甲府盆地内での年貢米は江戸に運ばれた。その運搬を契機に整備された富士川舟運は、鉄道が開通する近代まで、山梨の経済・運輸・交通を支える大動脈として発展した。その舟運の拠点である鯉沢河岸跡及び青柳河岸跡も、現在は静かな町のたたずまいの中に埋もれているが、山梨の歴史を支えた誇りが、地域の中に息づいている。	県立博物館での展示 文化財の保護（発掘調査）と普及活動	山梨県 山梨県教育委員会、町教育委員会	・報告書
	甲府城と城下 甲府市	豊臣政権から徳川政権下にて形成され、発展した城とその城下町。特に柳沢吉保・吉里の時代や後の甲府勤番時代には直接江戸文化が流入し、甲州の文化が醸成されたという誇りが、今なお市民のあいだに息づいている。現在は、県及び市の事業として、甲府城にかかわる整備・活用が進められている。	舞鶴城公園整備事業 歴史公園整備事業	山梨県 甲府市	・報告書 ・パンフレット
	岐阜県	白川郷の合掌造り集落 岐阜県大野郡白川村荻町地区	1995年12月、ドイツ・ベルリンで開催されたユネスコの第19回世界遺産委員会で「白川郷・五箇山の合掌造り集落」が、世界遺産として登録された。 白川郷は、住民が世界遺産の地に居住しその生活風景も含めての文化遺産であり、住民の努力で農村の原風景が維持されるなど、地域のプライドと言うにふさわしい。	合掌集落の保全	世界遺産白川郷合掌造り保存財団
高山祭り 高山市内	日枝神社の春の山王祭、桜山八幡宮の八幡祭、この総称で日本三大美祭りのひとつ。起源は領国大名金森氏の時代（1585-1692年）、屋台の起こりは1718年頃にさかのぼる。 巧みな動きを披露するからくり人形、仕掛けが施された戻し車など、匠の技が生きている。祭行列は総数1000人にもおよび、民俗芸能を披露しながら祭区域をまわる。飛騨びとの意気が高まる高山祭り。高山の揺るぎない誇りである。	祭りの運営	市、観光協会、地域住民	・高山市観光情報HP	
古川祭り 飛騨市古川町内	天下の奇祭、日本の三大裸祭りといわれ全国に名を馳せる古川祭。町内に鎮座する気多若宮神社の例祭で「屋台行列」が二大催事として加わり4月19日、20日と2日間に渡って盛大な時代絵巻が繰り広げられます。「起こし太鼓」は数百人のさらし姿の裸男たちがばちを振り下ろし太鼓を打ちながら町中を巡行。古川祭本祭では、9台の祭り屋台が曳き揃えられる。	祭りの運営	市、観光協会、地域住民	・飛騨市観光情報HP	
真桑文楽 本巣市真正町上真桑	真桑人形浄瑠璃（真桑文楽）は、上真桑本郷地区に古くから伝わる郷土芸能。江戸時代初期、用水の利権をめぐる争いの解決に尽力した福田源七郎の功績をたたえて、農民らが「義農源七郎」という題目の操り人形芝居を上演したのが始まりと伝えられ、国の重要無形民俗文化財に指定されている。物部神社の祭礼の日、三味線の音色にあわせて操られる人形の姿に、見物客は引き込まれる。地元保存会などが真桑文楽の保存へ取り組んでいる。	真桑文楽の保存伝承	真桑文楽保存会		
東濃の地歌舞伎 中津川市、恵那市	東濃地域（中津川・恵那地域）には、15もの団体が地域に現存する芝居小屋を拠点に、おのおのが精力的な活動を展開している。東濃の地歌舞伎は、農閑期に演じられてきた地歌舞伎の歴史的沿革上、公演の時期が各保存会ともほぼ秋から春までに集中している。また、子どもから大人の部まで、商業舞台ではなかなか見られない多彩な演目を楽しむことができる	地歌舞伎の保存伝承	東濃地歌舞伎保存会		
岐阜県	全国一の保存会数で地歌舞伎王国としての誇り（飛騨・美濃歌舞伎大会） 岐阜県全域	27の保存会数は、全国一位である。地元の舞台（各務の舞台、門和佐の舞台＝国・重要有形民俗文化財、加子母の農村舞台、鳳凰座、市島の舞台＝県・重要有形民俗文化財等）や公民館・神社で、定期的に公演をしている保存会も多い。それぞれに江戸時代から伝わる地歌舞伎の伝承に努めている。県全域としても飛騨・美濃歌舞伎大会を開催しており、県民も楽しみにしている。伝承教室も開催され、義太夫や三味線師の後継者の育成が図られている。	飛騨・美濃歌舞伎大会 明智町歌舞伎公演 山岡町歌舞伎公演 東座ふれあい公演 中津川文化祭東濃歌舞伎公演 蛙川村歌舞伎公演 美濃歌舞伎公演 鳳凰座歌舞伎公演	岐阜県地歌舞伎保存振興協議会 明智町歌舞伎保存会 山岡歌舞伎保存会 東座芸能保存会 東濃歌舞伎中津川保存会 蛙川村歌舞伎保存会 美濃歌舞伎保存会 鳳凰座歌舞伎保存会	・飛騨・美濃歌舞伎大会 ・大会パンフレット
人形浄瑠璃が守り継がれている誇り（岐阜県文楽・能大会） 岐阜県全域	元禄文化を代表する人形浄瑠璃が、岐阜県の民俗芸能と有形民俗文化財（真桑の人形舞台＝国・重要有形民俗文化財、恵那文楽人形頭、大井文楽人形頭、半原人形浄瑠璃の頭＝県・重要有形民俗文化財等）や公民館・神社で、定期的に公演をしている保存会等が7団体あり、それぞれに文楽・能の伝承に努めている。県全域としても岐阜県文楽・能大会を開催しており、県民も楽しみにしている。伝承教室も開催され、義太夫や三味線師の後継者の育成が図られている。	岐阜県文楽・能大会 真桑文楽公演 恵那市伝統芸能大会大井文楽公演 例祭恵那文楽公演 半原文楽の日公演	岐阜県文楽・能保存振興協議会 真桑文楽保存会 大井文楽保存会 恵那文楽保存会 半原操り人形浄瑠璃保存会	・岐阜県文楽・能大会 ・大会パンフレット	

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
岐阜県	獅子芝居が守り継がれている誇り(岐阜県獅子芝居大会) 岐阜県全域	江戸時代から三河地方から伝わった獅子芝居が、岐阜県の民俗芸能(伏屋の獅子芝居、下手向の獅子芝居=県・重要無形民俗文化財等)として、地元の神社や公民館で、定期的に公演されている。保存会等が6団体あり、それぞれに獅子芝居の伝承に努めている。県全域としても岐阜県獅子芝居大会を開催しており、県民も楽しみにしている。	岐阜県獅子芝居大会	岐阜県文楽・能保存振興協議会	・岐阜県獅子芝居大会 ・大会パンフレット	
	江戸時代から続く本美濃紙 美濃市	現在の本美濃紙は書院紙とも呼ばれて江戸時代から蔵生地区で一貫して漉き続けられてきた。国の重要無形文化財に指定されている。本美濃紙保存会が結成され、品質管理と製作技法の保存にあたり、その保存に努めている。	本美濃紙伝承事業	本美濃紙保存会	・小学校用副教材(副読本)	
	歴史的景観と昔ながらの価値観が受け継がれている重要伝統的建造物群保存地区の町並み	江戸時代から受け継がれてきた各地域では、それぞれに地域独自の生活や価値観から生み出された歴史的建造物立ち並び、独特の景観要素を形作っている。こうした町並みは地域住民の誇りであり、日常の保全活動により受け継がれている。	重要伝統的建造物群保存修理・防災施設整備事業 白川村どぶろく祭り 高山祭屋台行事	各市町村、各建造物所有者 白川八幡神社、鳩谷八幡神社、飯島八幡神社、平瀬八幡神社、木谷白山神社 高山屋台保存会、各屋台組	・伝統的建造物群保存地区調査報告書 ・伝統的建造物群保存地区紹介用パンフレット ・伝統的建造物群保存地区紹介用HP ・世界遺産登録記念刊物(白川村荻町)	
	白川村荻町、高山市三町、高山市下二之町大新町、美濃市美濃町、恵那市岩村町本通り		美濃和紙あかりアート展 岩村町秋祭り行事	美濃和紙あかりアート展実行委員会 岩村町秋祭り行事保存会		
	安国寺経蔵 高山市国府町	建立が14世紀にさかのぼる地域を代表する歴史的建造物。国宝に指定されており、地域住民の心の支えになっている。	重要文化財(建造物)保存修理・防災施設整備事業	所有者	・内容紹介HP	
	永保寺開山堂・観音堂 多治見市虎渓山町	建立が14世紀にさかのぼる地域を代表する歴史的建造物。国宝に指定されており、地域住民の心の支えとなっている。	重要文化財(建造物)保存修理事業・防災施設整備事業	所有者	・内容紹介パンフレット ・内容紹介HP	
	油島千本松締切堤(国史跡) 海津市	濃尾平野の西南部はいわゆる輪中地帯で、木曾川・長良川・揖斐川の三川が集まり、氾濫が相次いでいた。宝暦3年(1753)に幕府は薩摩藩に治水工事を命じた。多大な費用と犠牲者を出した大工事であったが、最大の難所が、油島締切堤工事であった。工事終了後、護岸と記念のために、堤に多くの松が植えられ「千本松」と言われた。地元の人々によって、犠牲となった薩摩義士を祀る治水神社がつくられ、今でも顕彰されている。	水と緑の館 保存活動 薩摩義士顕彰式	木曾三川公園センター 宝暦治水保存会 薩摩義士顕彰会	・「水と緑の館」の展示 ・副教材	
	関ヶ原古戦場(国史跡) 不破郡関ヶ原町	慶長5年(1600)、天下分け目の戦いとして名高い「関ヶ原の合戦」がこの地で行われた。町内の9か所、25haに及ぶ広い土地が、昭和6年(1931)に国の史跡に指定された。	関ヶ原町歴史民俗資料館 東西対決THE関ヶ原フェスティバル	関ヶ原町 関ヶ原ふれあい21実行委員会	・歴史小説 ・パンフレット	
	元屋敷陶器窯跡(国史跡) 土岐市	「織部」の発祥の地土岐市を象徴する元屋敷陶器窯跡は、織部焼陶器の生産とともに、美濃窯で最古の連房式登窯として知られる。	織部の里公園 土岐市美濃陶磁歴史館	土岐市 土岐市	・調査報告書 ・パンフレット	
	苗木城跡(国史跡) 中津川市	戦国時代に築城された苗木城は、標高432mの小高い山の上にある。夏祭り「おいでん祭」の中で披露される「風流おどり」は、苗木城の城主を代々務めてきた遠山家の蔵の中から発見された絵図をもとに復元された。	苗木遠山史料館 中津川おいでん祭風流おどり	中津川市 中津川市青年会議所	・風流おどり	
	高山陣屋跡(国史跡) 高山市	元禄5年(1692)、徳川幕府は飛騨一円を幕府直轄領とし、明治になるまで代官・郡代が派遣され、領地の行政、財政、警察などの政務を行った。全国唯一の陣屋建物が残存する貴重な遺構である。	高山陣屋管理事務所 おもしろ歴史教室 高山陣屋歴史教室のタペ	岐阜県 高山陣屋管理事務所 高山陣屋管理事務所	・調査報告書 ・風流おどり ・パンフレット	
	堂之上遺跡(国史跡) 高山市久々野町	舌状の台地に立地する典型的な縄文時代の集落遺跡。現在、遺跡公園として整備され、竪穴住居の復元もなされている。	久々野歴史民俗資料館	高山市	・紹介アニメ ・調査報告書 ・パンフレット	
	静岡県	相良(揚げ浜式)塩づくり	生活の糧としてつくっていた塩。その塩を長野県塩尻まで運んだ道がまだ残っていること。塩を運んだワド地点であること。塩を作ることができる砂浜、海岸が現在も残っていること。	塩小屋づくり 修学旅行(塩づくり体験活動) 出前塩づくり体験 塩づくり体験	牧之原市(商工観光課) 牧之原市(商工観光課)、相良商工会 商工会青年部 相良商工会、青少年体験ボランティア「スマイル」 青少年体験ボランティア「スマイル」	・ビデオ ・相良塩づくり物語
		牧之原市(相良地区)				
		古き良き時代の木造旅館群 伊東市松川町	温泉の町として知られる伊東市松川町には、木造3階建ての木造旅館いなばや、同じく木造3階建ての東海館(現在は観光・文化施設)などの和風建築群が残されている。また、東郷平八郎が夫人の療養のために立てた別荘(東郷記念館)や、文人木下李太郎の生家(木下李太郎記念館)などが散在し、昭和初期の古き良き時代の温泉街情緒に浸ることができる。			
幕末開国の街 下田市		日米和親条約により函館とともに日本で最初に開港した下田には、ペリーが下田条約に調印した了仙寺や、総領事ハウスが日本最初の総領事館とした玉泉寺、日露和親条約が締結された長楽寺、ハスの看病に派遣され、貧苦のうちに生涯を閉じたきちの菩提寺宝福寺など、開港関連史跡が数多く残る。また、市内には、伊豆石やなまこ壁の家々が立ち並び、情緒あふれる町並みである。				

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	源頼朝・江川垣庵ゆかりの街 伊豆の国市(旧韮山町)	源頼朝の配流の地韮山には、蛭ヶ小島や頼成就院、北条氏邸跡などのゆかりの史跡が散在する。また、室町時代に派遣されていた堀越公方の伝御所跡や、秀吉の小田原攻めに関わる韮山城、江戸時代に世襲代官としてこの地を治めていた江川氏の邸宅が残されている。また、幕末に活躍した江川垣庵が設けた韮山反射炉もあり、歴史の息吹を感じることができる。			
	水の都・三島 三島	江戸時代、箱根を東に控え、また下田街道の分岐点として多くの旅人でにぎわった東海道宿場町三島は、いたるところに富士山の地下水が湧き出ており、せせらぎの街として今でも多くの人がこの地を訪れる。市内には、源頼朝が戦勝を祈願した三島大社、富士山の三島溶岩流と富士の湧水が形作る茶寿園、箱根旧街道や一里塚、秀吉の小田原攻めで多くの戦死者を出した山中城など見所も多い。			
	霊峰富士を望む町 富士宮市	全国に1300余社ある浅間神社の総本宮富士山本宮浅間大社は、2層の楼閣造りの本殿をもつ。足利・今川・武田氏の崇敬を集めた境内には、富士山の雪解け水が湧き出る湧玉池があり、富士登山者はこの池で禊をしてから登拝した。5月の大祭では流鏝馬が奉納される。そのほか富士山を望む市内には、縄文時代の富士山信仰をうかがわせる千居遺跡、東海一と言われる大石寺五重塔や三門、源頼朝が巻狩の際に陣屋を設けた地にある狩宿の下馬ザクラ、富士の雪解け水が溶岩壁から白糸を垂らしたような美しさを見せる白糸の滝など、史跡・建造物・天然記念物が数多く見られる。			
	徳川家康退隠の地・駿府 静岡市	將軍職を子の秀忠に譲った徳川家康が退隠の地として駿府は、東海道宿場町としても栄えた。家康が築城した駿府城跡をはじめ、清水寺、臨濟寺、静岡浅間神社、遺言により家康の遺体を葬った久能山東照宮など、家康ゆかりの史跡・建造物も多い。また、徳川最後の將軍徳川慶喜が明治以降約20年を過ごした浮月楼の庭園は、東海の名園としても名高い。			
	東海道の難所・薫の細道 静岡市・岡部町	駿府の東、丸子宿は、広重の東海道五十三次にも描かれたとろろ汁が名物で、現在もとろろ汁を食べに遠路多くの人々が訪れる。丸子宿から西へ東海道を進むと、蓮歌師宗長が庵を結び、京都銀閣寺を模して作庭した柴屋寺がある。さらに、東海道の難所として知られる薫の細道で宇津の谷の峠を越え、岡部宿に至る。なお、宇津の谷峠には、明治・大正・昭和のトンネルが通っている。			
	万葉のふるさと・花沢の里 焼津市	花沢地区は、古代東海道に比定される日本坂峠の南側の上り口を開けた集落で、サコノヤ沢川添いに立ち並ぶ。同地区は明治後年から昭和初期にかけて蜜柑栽培で栄えたため、倉庫と臨時労働者の宿舍の機能を兼ねた長屋門が建てられ、現在4棟残されている。また、傾斜地に位置するため、ほとんどの家が石垣を築いて平地を保っているのも大きな特徴である。			
	見付のはだか祭り 磐田市見付	東海道宿場町として栄えた見付宿は、今ではサッカの町磐田として知られている。国分寺や国府がおかれた、歴史の古い町で、「見付の天神さん」として親しまれる矢奈比売神社は、腰みのをつけた裸の男衆が拝殿内で激しく体をぶつけ合いながら鬼踊りを披露することで知られる。			
	古代舞楽を伝える小京都 森町	遠江の小京都と言われる森町は、歴史の古い町で、秋葉神社への参拝者で賑わった。茂里町に所在する小国神社・天宮神社・山名神社では、それぞれの例祭で厳かの中にも雅やかな舞楽が奉納される。小国神社の十二段舞楽は、大宝元年に勅使が舞ったのがその創始と伝えられる。山名神社の天王舞祭は、京都八坂神社の祇園祭りの芸能要素をもつと言われる八段で構成される。			
	東海道新居関 新居町	江戸時代、地震や津波の影響で移転を繰り返し、3度目に現在地に移り設置された。現存する関所建物は、嘉永7年の安政大地震で大破したため、翌年に立て替えられたもので、関所遺構としては全国で唯一のものである。旧東海道沿いに江戸時代の旅籠紀州屋が復元されるなど、新居関を中心とする歴史的景観の復元に取り組んでいる。			
	姫街道と気賀関 細江町	姫街道は、東海道見付宿または浜松宿から浜名湖北岸を通り、気賀宿を経て本坂峠を越え、御油宿で東海道と合流する東海道の脇道。本坂峠が正式な名称だが、東海道新居関を避けて女性たちが多く利用したことから姫街道の名があるという。気賀関が置かれて、新居関同様に通行人を取り締まった。気賀関が別の場所に復元され、往時をしのぶことができる。			
	滝沢の放歌踊り 浜松市滝沢	浜松市滝沢は、遠州大念仏を踊った後に放歌踊りに切り替える「放歌踊り」を伝承している。放歌踊りは、三河鳳来町から伝播したという。三方原の戦いで大敗した徳川家康が、犀ヶ崖で行った奇策により亡くなった人々の霊を慰めるために、家康が命じて双盤を打たせて、念仏を行わせたという由来を持つ。近年、地元の小・中学生が保存会の指導を受けて放歌踊りを学んでおり、その卒業生が滝沢の放歌踊りの伝承者ともなっている。			
	安倍川と盆踊りの里 静岡市有東木・平野	安倍川流域には古風な盆踊りが広く伝えられていたが、現在は平野と有東木で伝承している。どちらも山間の集落で、男踊りと女踊りの区別がある。女踊りの輪の中に、「トウ」と呼ばれる城型の張笠をかぶった男衆一人が入るのがひとつの特色となっている。地元の子供たちが「大河内神楽倶楽部」を地域に設立し、保存会の指導を受けて練習・公開を行っている。			

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
愛知県	三英傑（信長・秀吉・家康）輩出の地としての誇り 愛知県	近世日本の礎を築いた三英傑、あるいは三英傑と係わりのあった多くの人物に纏わる歴史的立志伝について地域住民が認知している。また、これらの歴史的出来事に係る学問的研究が盛んであるとともに、地域住民の地域振興に対する心の支えとなっていると考えられるため。	生涯学習講座	愛知県教育委員会	・三英傑に係る生涯学習講座を収録し、HPに動画配信する
愛知県	三英傑の出身地（信長・秀吉・家康）としての誇り 愛知県全域	清洲城、名古屋城、岡崎城などがある。	名古屋まつり（郷土英傑行列）	名古屋まつり推進事務局	
愛知県	三英傑（信長・秀吉・家康）の生誕地としての誇り 名古屋市・岡崎市・清洲市	三英傑関係資源（名古屋まつり・名古屋市）、織田信長関係資源（清洲城ふるさと祭り・清洲城：清洲市、桶狭間古戦場：名古屋など多数）、豊臣秀吉関係資源（長久手古戦場：長久手町など多数）、徳川家康関係資源（家康行列・岡崎城・岡崎市など多数）	名古屋まつり 家康行列 清洲城ふるさと祭り	名古屋まつり協議会 岡崎市・岡崎市観光協会 清洲市・清洲市観光協会	・武將のふるさと愛知 HP
三重県	日本武尊白鳥伝説の地 亀山市安楽川沿い	日本武尊白鳥伝説に関して、御所市・羽曳野市と三市交流を持っている。	三市交流	亀山市、御所市、羽曳野市	・観光パンフレット、HP
三重県	関宿重要伝統的建造物群保存地区 亀山市関町	東海道で唯一国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定されています。毎年11月上旬には、東海道関宿街道まつりが催されます。	町並み保存	亀山市観光協会 関宿町並み案内ボランティア 自治会 関町町並み保存会	・観光パンフレット、HP
滋賀県	古くから日本各地を結ぶ交通の要衝として文化が栄え、今も多くの歴史文化遺産が残っている地域である。 滋賀県全域	国宝、国指定重要文化財の数が全国で第4位と多くの歴史文化遺産が残っており、豊かな歴史文化に触れながら生活しています。	近江歴史回廊構想の制定 近江歴史回廊大学 近江歴史回廊探訪10ルートパンフレット 近江歴史回廊ガイドブック	滋賀県 近江歴史回廊推進協議会 近江歴史回廊推進協議会 近江歴史回廊推進協議会	・近江歴史回廊ガイドブック
滋賀県	近江は古くから文化が開け、豊かな自然にも恵まれ、多くの歌人に愛された地である。 滋賀県全域	琵琶湖とそれをとりまく豊かな自然は、古くから歌人らの詩情をかき立て、「記紀歌謡」から「新古今和歌集」に至るまで、近江を歌った詩歌が約2200首残っています。	近江百人一首の制定およびPR	滋賀県（教育委員会）	・近江百人一首カルタの作成、書籍の発行、HPでの紹介
滋賀県	近世・近代商業史を牽引した近江商人発祥の地 近江八幡市（新町通い）・蒲生郡日野町・東近江市（五個荘金堂地区）・大上郡豊郷町	豊臣秀次が八幡山城を築城し安土城下の人々を移住させたことに始まり江戸時代から多くの近江商人を輩出した町（近江八幡市）、売薬の行商で全国に進出した日野商人の町（日野町）、近江商人発祥の地であり重要伝統的建造物群保存地区に選定されている（五個荘金堂地区）、丸紅・伊藤忠の創始者である伊藤忠兵衛の旧宅が現存している（豊郷町）。近江商人の特徴である進取の気質や「ハルマ」精神、また、国際性豊かな経営センスが現代を生きる私たちに大きな教訓として引き継がれている。	左義長まつり 近江商人屋敷 日牟礼八幡宮 水郷と水郷めぐり 市立資料館・歴史民俗資料館	町会 近江八幡市、東近江市、日野町、豊郷町 神社 民間企業 近江八幡市	・近江商人に関する調査研究 ・建造物のパンフレット
滋賀県	美しい自然と豊かな歴史に彩られたまち・長浜 長浜市	豊臣秀吉がひらいた長浜は「楽市楽座」に代表される歴史的城下町として発展し、秀吉時代から始まった「長浜曳山まつり」を地域の人々が引き継いでいる。また、このほかにも石田三成の出生地でもあり数多くの武將を生んだ地として成り立っているため。	長浜曳山まつり 曳山博物館 国友鉄砲の里資料館 長浜城歴史博物館 長浜出せまつり	町会 長浜市 国友町 長浜市 実行委員会	・司馬遼太郎他 ・子ども歌舞伎 ・長浜の偉人に關する歴史的研究 ・歴史を伝えるパンフレット
滋賀県	国宝彦根城を中心とする城下町としての誇り 彦根市	国宝の彦根城を中心とする彦根の城下町、古くから城下町として栄えた町の誇りは現在も息づいている。彦根で最も有名な歴史上の人物といえば、「井伊直弼」江戸末期、日本を開国に導いた大老として良く知られており、全国にその名もどろいているため。	彦根城 小江戸彦根の城まつり 夢京橋キャッスルロード 彦根城博物館	彦根市 実行委員会 彦根市、商工会議所 彦根市	・彦根屏風等井伊家の宝物 ・彦根城に関する研究 ・彦根城パンフレット
滋賀県	歴史が物語る古都大津 大津市	大津市は、世界文化遺産「比叡山延暦寺」のほか、石山寺、三井寺、日吉大社、近江神宮など、歴史と伝統のある寺社を数多く抱えており、古くは大津京に遷都とされるなど歴史都市としての趣もある。また、古都指定を受けるなど古都としての趣を重視しているため。	大津祭 三井寺のライトアップ 近江八景 大津市歴史博物館 比叡山延暦寺	NPO、町会 実行委員会 江戸時代初期の文化人 大津市 大津市、延暦寺	・源氏物語 ・近江八景の浮世絵、大津絵 ・歴史的寺社に関するパンフレット
京都府	日本緑茶発祥の地としての誇り 宇治田原町（全域） 後醍醐天皇ゆかりの地 笠置町	18世紀に本町在住の茶農、永谷宗円が現在の煎茶（緑茶）の起源となる「青製煎茶法」をみだし、全国に広めたことから、住民は、本町が「日本緑茶のふるさと」「日本緑茶発祥の地」であることに誇りを持っている。本町においては、この誇りを「茶文化」として標榜し、まちづくりのあらゆる場面で活用をめざしてきたことから、住民に熟知されているものと考えている。また、毎年、茶業関係者により永谷宗円の偉業を称える「茶祭り」が開催されるなど、緑茶発祥にまつわる歴史やその誇りは、地域住民の生活の一部となっているものと考えられる。	茶祭り ふるさとまつり「お茶パーティー」 町長杯争奪町民茶会 お茶の資料室 ティーゲート 日本茶読本 茶摘み体験学習 修学旅行生茶摘み体験招致	茶盛組合（茶業関係者による任意団体） ふるさとまつり実行委員会 茶業青年会（茶業関係者青年層による任意団体） 宇治田原町 宇治田原町 宇治田原町 宇治田原町	・緑茶をはじめとする日本茶の歴史や種類、入れ方などを紹介したパンフレット ・町HPでの「茶文化」紹介ページ
京都府	後醍醐天皇ゆかりの地 笠置町	後醍醐天皇が笠置山に行在所をおき、鎌倉幕府と戦った元弘の変。	案内板、モニュメントの設置	笠置町	

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
	細川ガラシャ夫人の愛と感動の物語	長岡京市	「細川ガラシャ夫人」は名前を玉といい、永禄6年(1563)明智光秀の三女として生まれた。16歳の時、戦国大名の細川藤孝の長子忠興と幸せな結婚生活(2年間)を過ごしたのが、勝龍寺城(長岡京市)である。細川ガラシャ夫人は、父光秀の死、幽閉など苦難の中でも自己の尊厳と人間愛を貫き、悲劇の最後を遂げた姿は多くの人に感動を与え、長岡京市民の誇りとなっている。	長岡京ガラシャ祭	長岡京ガラシャ祭実行委員会	・細川ガラシャ夫人(三浦綾子) ・オペラ『細川ガラシャ物語』
			オペラ『細川ガラシャ物語』	長岡京市オペラ協会		
			勝龍寺城公園の整備	長岡京市		
			歴史街道整備(勝龍寺地区)	長岡京市		
	幻の都から現の都へー長岡京ー	長岡京市、向日市、大山崎町、京都市	平安京遷都の10年前の784年に桓武天皇により平城京より遷都されたのが、現在の市の名前の由来となっている「長岡京」である。その存在には謎も多く、幻の都と言われていたが、本市出身の中山修一先生の発掘調査により、現の都として全国的に認識されるようになり、日本の中心であったこの地域が市民の誇りとなっている。	中山修一記念館(歴史街道ボランティアガイド定点案内)	長岡京市、ふるさとガイドの会、歴史街道推進協議会	・長岡京発掘調査 ・『長岡京発掘の父中山修一ものがたり』 ・『長岡京市史』中山修一記念館HP
			小・中学校における歴史教育	長岡京市教育委員会		
			中山修一記念館HP	長岡京市教育委員会		
			『京の都長岡京わくわくマップ』パンフレット	長岡京市教育委員会		
	伝説芸能の伝承の地としての誇り	南山城村(田山地区)	京都府無形民族文化財にも指定されている「田山花踊り」を永久保存する目的で、地域が一体となり保存会を結成し努力しているため	「田山花踊り」の保存	田山花踊り保存会	・京都府指定無形民族文化財
	寛永の文化如の松花堂と昭乗：歴史的建造物とゆかりの人物	八幡市	「寛永の三筆」の一人として知られる昭乗(1582-1639)は、石清水八幡宮の坊舎に住まいし、書、画、茶湯、和歌などを介して当代の著名な文化人と交流し尊敬を集めた。晩年の住居であった松花堂は、寛永の文化如として名を馳せ、昭乗の愛用した容器をモデルにした「松花堂弁当」の名は、全国に普及している。	松花堂庭園・美術館	八幡市、(財)やわた市民文化事業団	・昭乗の芸術と松花堂を紹介する映像
	役行者修行の地	和束町大字原山	和束町の鷲峰山(じゅぶざん)に建つ金胎寺は、今から1300年ほど前に修験者の祖といわれる役行者が修行した地に開かれた古寺である。また室町時代の初めに吉野から逃れてきた後醍醐天皇がこの寺に立ち寄ったといわれている。毎年9月第1日曜日には修験者達により、無病息災厄除を祈願して護摩焚きが行われる。	金胎寺大護摩法要	金胎寺	
	日本最古の羽衣伝説	京丹後市峰山町	羽衣天女の話は「羽衣伝説」「七夕伝説」と、結末の異なる2つの話があるが、そのひとつ「羽衣伝説」は8世紀に献上された丹後国風土記に記載されており日本最古と言われている。	七夕祭り 天女の星	乙女会 京丹後市	・紹介パンフレット
			オープンカレッジ丹後学	NPO法人全国まちづくりサポートセンター		
	日本最古の紀年銘鏡出土	京丹後市峰山町・弥栄町	峰山町と弥栄町の境の大田南5号墳から中国魏の年号「青龍三年(西暦235年)」が入った、紀年銘鏡としては日本最古の鏡が平成6年に出土。当時、邪馬台国の卑呼が魏に使者を送り、持ち帰った銅鏡百枚の内の1枚ではないかと全国を騒がせた。	京都府丹後郷土資料館	京都府	・紹介パンフレット
			オープンカレッジ丹後学	NPO法人全国まちづくりサポートセンター		
	丹後ちりめん発祥の地	京丹後市峰山町	江戸時代に西陣で修行をし、帰郷して独自の創意工夫で丹後ちりめんを完成させた森田治郎兵衛により、丹後は全国のちりめん生産の70%を占め、昭和50年ごろに隆盛を極めた。	基幹産業	市民	・紹介パンフレット
			オープンカレッジ丹後学	NPO法人全国まちづくりサポートセンター		
	小野小町の墓	京丹後市大宮町	平安時代の六歌仙のひとりである小野小町は、晩年大宮町五十河にある妙性寺で亡くなったという伝承が、文献に残っている。	小町公園	京丹後市	・紹介パンフレット
			オープンカレッジ丹後学	NPO法人全国まちづくりサポートセンター		
	銚子山古墳	京丹後市網野町	全長198mの日本海側最大の前方後円墳。墳丘は三段に築かれ、それぞれの斜面には墓石をふき、各段のテラス上には丹後特有の円筒埴輪の列がめぐる。4世紀末から5世紀初頭の雄大で整った古墳であり、大正11年に国の史跡に指定されている。	オープンカレッジ丹後学	NPO法人全国まちづくりサポートセンター	・紹介パンフレット
	静御前の生誕地	京丹後市網野町	網野町磯で生まれた静御前は、鎌倉に捕らわれた後、帰路を許され母親と共に磯に帰って20余年の生涯を終えたと伝えられており、静神社には木像が祀られている。	静神社周辺整備	京丹後市	・紹介パンフレット
			オープンカレッジ丹後学	NPO法人全国まちづくりサポートセンター		
	日本最古の絹織物あしぎぬ	京丹後市弥栄町	奈良の正倉院に保存されている、わが国で現存する最古の絹織物と言われている「あしぎぬ」は、天平時代に丹後国竹野郡が記されており、先人の遺徳を偲び記念碑が建てられている。	あしぎぬ顕彰祭	弥栄町商工会	・紹介パンフレット
			オープンカレッジ丹後学	NPO法人全国まちづくりサポートセンター		
	赤米の栽培	京丹後市弥栄町	平城京跡で発見された木簡のひとつに丹後国竹野郡宇野から赤米が献上されていたことが記載されており、献米記念碑が建立されている。また、町内の歴史家により赤米など古代米が栽培されている。	古代米の栽培	個人	・紹介パンフレット
	細川ガラシャの隠棲地	京丹後市弥栄町	細川忠興の妻(明智光秀の次女)であるガラシャは、本能寺の変のあと、弥栄町味土野に隠棲しており、建物跡に碑が建立されている。	オープンカレッジ丹後学	NPO法人全国まちづくりサポートセンター	・紹介パンフレット
	間人(たいざ)の地名の由来	京丹後市丹後町	聖徳太子の母である間人(はしうど)皇后は、王位継承争いを避け蘇我氏の所領であった丹後にやってきた。そしてこの地を去る(退座する)ときに間人(はしうど)の名の使用を許したと伝えられている。	間人皇后と聖徳太子像の建立	京丹後市	・紹介パンフレット
			オープンカレッジ丹後学	NPO法人全国まちづくりサポートセンター		
	日本武尊は曾孫	京丹後市久美浜町	古事記によると川上摩須郎女(かわかみすのいらつめ)は久美浜町の川上の丹波道主命(たにわみにぬしのみこと)の妻となり、日本書紀では5人の娘があり、その長女が後の景光天皇を産み、この景光天皇の息子が伝説上の英雄である日本武尊である。	オープンカレッジ丹後学	NPO法人全国まちづくりサポートセンター	・紹介パンフレット

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
	江戸時代に大名がいなかったのに町民により仮装大名行列を実施 与謝郡岩滝町	岩滝町の大名行列は、160年余りの歴史を誇り、町内の富豪が出石藩主から藩の道具類を買い受け、祭典用として村に寄進したのが始まりと言われている。祭りは数年おきに行われてきたが、経済的な理由から途絶えていた。これを平成3年の町制施行70周年記念事業として復活させた。	仮装大名行列	岩滝町大名行列保存会	・記録ビデオ ・記念誌「岩滝の大祭礼」	
	ちりめん街道 加悦町加悦	江戸時代に加悦の手米屋右衛門が京都西陣より秘伝の「ちりめん」の技術を加悦へ伝えて以来、ちりめん産業を中心に大いに賑わい、また京都と丹後各地を結ぶ物流の拠点として発展してきた旧街道筋には、今でも古い建造物が数多く残され、その頃の賑わいを今に伝える加悦の伝統的建造物として保存されている。	町並み保存	ちりめん街道を守り育てる会	・歴史を伝える映像(旧尾藤家展示) ・伝統的建造物部保存対策調査報告書 ・ちりめん街道、旧尾藤家住宅紹介パンフレット	
	短歌と俳句の里かや 加悦町	加悦は俳人・与謝蕪村の母親のふるさとと伝えられ、また明治の歌人・与謝野鉄幹の父与謝野礼蔵(れいごん)の出生地でもあり、蕪村や鉄幹・晶子夫妻をはじめとして古くより多くの俳人や歌人が訪れている。町の人々の間でも短歌や俳句づくりが盛んで、とくに町内の小学校での俳句への取り組みは全国的にも突出している。短歌・俳句文化の発信基地として資料館「江山文庫」を整備し、展示活動をはじめとして各種事業を行っている。	江山文庫俳句大賞 俳句・短歌の道標(みちしるべ) 江山文庫子ども俳句教室 加悦町文化協会俳句大会	加悦町 加悦町 加悦町文化協会	・江山文庫俳句大賞作品集 ・江山文庫展示 ・江山文庫秋季特別展図録 ・江山文庫パンフレット、短歌と俳句の道紹介チラシ、江山文庫HP	
	加悦谷祭り 加悦町内全域	4月の最終土日、神社毎に祭礼が執り行われ、神楽を奉納し、御輿、芸屋台、子供御輿、子供屋台、太鼓などが町内を練り歩くなど、地域全体が祭り一色に染まる。特に天満神社の急傾斜な石段を昇り降りする御輿、大虫神社での勇壮な太刀振り、さらに京都の祇園祭りを模した芸屋台では子供歌舞伎が演じられる。	神楽、御輿、芸屋台、太刀振り	氏子	・神楽、御輿、芸屋台、太刀振り	
	ふるさと古代の丘 加悦町明石	町内には約600基の古墳があり、中でも国史跡蛭子山古墳は全長145mの大型前方後円墳で丹後地方の大首長の墓である。また国史跡作山古墳は5基の中型古墳で構成され円墳・方墳・前方後円墳と代表的な形が揃っている。これらはshaにも及ぶ広大な面積から成る古代歴史公園として1600年前の状態に復元整備され、併設する「はにわ資料館」では発掘調査時に出土した品々や古墳をテーマとした映像を放映している。	古墳公園・はにわ資料館 丹後王国古代まつり	加悦町 実行委員会	・出土品 ・発掘調査報告書 ・加悦町遺跡図	
	加悦鉄道 加悦町加悦・滝	国鉄宮津線の沿線から外れた加悦町は、地域住民の資金で鉄道会社を設立し加悦と丹後山田間に加悦鉄道を開通させた。この鉄道はちりめんや生活物資の輸送、通勤通学の足として地域住民に長年親しまれたが、自動車の普及により昭和60年に60年間の歴史に幕を閉じた。その後、加悦駅舎は修復により保存され、鉄軌道は自転車道として整備、車両は加悦SL広場に保存・展示されるなど今でも住民の誇りとして残されている。加悦SL広場には、明治2年にイギリスで製造された国重要文化財の2号機関車をはじめとする27両ものSLなどが勢揃いし多くの観光客で賑わっている。	旧加悦鉄道加悦駅舎修復保存 加悦鉄道軌道跡地整備 加悦SL広場	加悦町 京都府 カヤ興産(株)(旧加悦鉄道)	・加悦鉄道備品等 ・加悦SL広場HP	
	源氏物語のまちとしての誇り 宇治市	宇治川の悠久の流れと世界遺産(平等院、宇治上神社)をはじめとする数々の史跡に恵まれた宇治の地は、源氏物語(宇治十帖)の舞台として知られている。平成2年に紫式部文学賞及び市民文化賞を創設して以来、源氏物語をテーマにしたまちづくりを進めており、広く市民に定着している。	紫式部文学賞・市民文化賞 紫式部文学賞・市民文化賞贈呈式・記念イベント 源氏ロマン宇治十帖スタンプラリー 源氏ロマン宇治田楽まつり 源氏物語セミナー 源氏物語散策の道 源氏物語ミュージアム	宇治市、宇治市教育委員会 宇治田楽まつり実行委員会 宇治市教育委員会・源氏物語ミュージアム 宇治市 宇治市	・源氏物語 ・宇治田楽(オリジナル) ・映画「浮舟」(篠田正浩監督) ・源氏物語宇治十帖パンフレット ・源氏物語ミュージアム常設展示案内、紫式部文学賞・市民文化賞10周年記念誌「千年あせぬ文学の華」 ・宇治十帖古跡、宇治十帖モニュメント、宇治川火花大会	
	大江山の鬼退治伝説(大江山鬼伝説) 福知山市大江町	大江山の鬼伝説の町として、地域づくりを行ってきたことから、町民の中で「鬼」は地域のシンボルとなっている。地域活性化の取り組みとして、大江山酒呑童子祭りを毎年10月に開催している。また、鬼・鬼文化の情報発信基地として日本の鬼の交流博物館がある。	大江山酒呑童子祭り 日本の鬼の交流博物館 鬼文化研究所	大江山酒呑童子祭り実行委員会 福知山市 福知山市	・大江山の鬼退治伝説	
	京都府	明智光秀の築いた城下町福知山 京都府福知山市	明智光秀が丹波を平定した際、築城した福知山城。その城下町として福知山は栄えました。また、築城のための石材、木材を運ぶ時に「ドッコイセ、ドッコイセ」と手振、足振面白く唄い出したのが始まりといわれる福知山音頭は現在も唄い踊り継がれています。	福知山城(福知山市郷土資料館) 丹波光秀ききょう祭 御霊神社 福知山ドッコイセまつり ドッコイセフェスティバル 福知山踊り講習会	福知山市 福知山市 宗教団体 福知山商工会議所 福知山踊振興会 福知山踊振興会	・福知山音頭 ・福知山踊り ・福知山市観光パンフレット
	京都府	ガラス釧 京都府与謝郡岩滝町(18.3.1合併後は京都府与謝郡与謝野町岩滝)	平成10年9月に弥生時代の大風呂南墳墓群が発見され、全国で初めての完形のガラス釧が出土したのをはじめ、11本の鉄釧と13個の貝輪系銅釧も出土した。これだけ多くの副葬品は珍しく全国の考古学者や考古学ファンを魅了させロマンあふれる町になりました。	ガラス釧	岩滝町教育委員会	

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	大名行列	岩滝の大名行列は、160年余りの歴史を誇り、出石藩の御用商人だった岩滝の蒲田久兵衛が藩の道具を買い受け祭典用として村に寄進したのが始まりで、行列は江戸時代の諸侯の参勤交代をそのまま再現したもので、生きた文化財ともいえ、全国でもめずらしい貴重なお祭です。	大名行列	大名行列保存会	
	京都府与謝郡岩滝町 (18.3.1合併後は京都府与謝郡与謝野町岩滝)		岩滝祭	岩滝祭	
	京都府与謝郡岩滝町 (18.3.1合併後は京都府与謝郡与謝野町岩滝)	織物始祖祭	織物始祖祭	野田川町商工会	
	京都府野田川町(全域)	享保4年に京都と丹後を往来する中間問屋の木綿屋六右衛門が、地元の絹機を復興させようと三河内の山本屋佐兵衛、加悦の手米屋小右衛門の二氏を京都西陣に送り、ちりめん織の技術を学ばせ、加悦谷の地に織物の技術を伝えた。独特のしぼ、風合い、感触を持つ丹後ちりめんの歴史が始まり、一時は国内の70%を占める国内最大の絹織物産地へと発展させた。	どでっさっさ共和国の観光PR事業	どでっさっさ共和国	
	三河内曳山祭	三河内曳山祭は、三河内地区にある織物の神を奉る倭文神社の春季例祭で、毎日5月3、4日に行われる。華やかに飾られた4台の山屋台をはじめ12台の屋台が巡行する様子は、まるで京都の祇園祭のように美しく、丹後ちりめんと共に歩んできた野田川の歴史、文化を今に伝える豪華絢爛な祭は、昭和62年に京都府無形文化財に登録されている。	三河内曳山祭パンフレット・ポスター	どでっさっさ共和国	
	京都府野田川町三河内	源義経の愛妾として知られ、京丹後市磯地区で生まれ、義経を慕い、この地で20歳歳の生涯を終えたとされる静御前の伝承を地域で大切にし、2度の火災により焼失した静神社再建を果たすなど、地域のシンボルとして受け継いでいる。	静の杜	京丹後市	
	京都府	全国的に有名な京都の夏の祭事(五山の送り火)としての誇り	京都の夏の風物詩である五山の送り火(大文字焼き)は、全国的に有名であり、地域住民の手によって支えられているイベントであり、これからも長く引き継がれていくと考えられ、地域住民はもとより京都市民他、多くの者にとって欠くことのない祭事である。	五山の送り火	特定非営利活動法人大文字保存会
京都市	全国的に有名な京都の夏の祭事(祇園祭り)としての誇り	日本三大祭りの一つである祇園祭りは、全国的に有名であり、地域住民にもならず、京都市民の手によって支えられ、歴史にも地域に根付いたものである。また、その祭りのメインイベントである山鉾巡行に使用される鉾や山車には様々な装飾品が飾られ、これらも歴史的に大変貴重なものである。	山鉾巡行	特定非営利活動法人京都市幕研究所	
京都府	京都文化	平安京遷都以来、1200年を超える都市としての歴史。世界遺産(文化遺産)に代表される数々の社寺仏閣等の文化財能狂言などに代表される伝統芸能及び祇園祭・葵祭などの伝統祭事	京都府京都文化博物館	京都府、(財)京都文化財団	<ul style="list-style-type: none"> ・京都北山アーカイブズ ・府所蔵の重要文化財等の歴史資料について、デジタル技術を活用し、府民等が気軽に接し活用できる環境整備を図り、京の文化の良さ・奥深さを全国に発信する ・デジタル画像(総合資料館内端末及び資料館HP)
京都市他		京都府立総合資料館	京都府		
京都府	奈良時代の都・恭仁宮跡 相楽郡加茂町				
大阪府	上方文化をはじめとする独自の文化を育んできた地としての誇り	伝統芸能(雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など) 上方演芸(落語、講談、浪曲、漫才、濃談など) 地域文化(なにわ伝統野菜や大阪の言葉など) そのほかにも、新しいアイデアなど多数生み出してきた進取の気質など多数存在	上方演芸資料館の運営	大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ・司馬遼太郎、織田作之助、直木三十五ほか ・朝比奈隆ほか ・佐伯祐三、須田剋太ほか ・大阪歌劇団ほか ・落語、講談、浪曲、漫才、濃談、雅楽、能楽、文楽、歌舞伎 ・春の雪細雪春琴抄ほか ・漫画「じゃりん子チエ」ほか ・山片蟠桃賞受賞者著書ほか ・なにわ塾著書ほか
	府域全域		文化知事事業	大阪府、TTR能プロジェクト、NPO法人発起塾	
	いにしえより現代に至るまで諸外国の文明や文化の交流の表玄関としてわが国の文化の形成に極めて重要な役割を果たしてきた地としての誇り	難波宮、仁徳天皇陵や大阪城など史跡、歴史的建造物が多数存在。古来より豊かな水運に恵まれ交通の要衝であったため大阪が文化、産業の中心地であった。	四天王寺ワッソ	四天王寺ワッソ実行委員会	
府域全域		大阪楽座事業	大阪府		
		水都の都・大阪戦略的イベント実施事業	水都ルネサンス大阪実行委員会		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
大阪府	弥生時代のいづみ国の中心地としての誇り	国指定史跡池上首根遺跡（池上首根史跡公園）	池上首根弥生まつり	池上首根弥生まつり実行委員会	・史跡や博物館等施設の紹介映像 ・史跡や弥生文化に関する調査研究 ・発掘調査報告書、博物館図録、紹介パンフレット
			国史跡池上首根遺跡整備事業	大阪府教育委員会、和泉市教育委員会、泉大津教育委員会	
			大阪府立弥生文化博物館	大阪府教育委員会、（財）大阪府文化財センター	
			弥生学習館	池上首根史跡公園協会	
	和泉市、泉大津市		池上首根史跡公園	池上首根史跡公園協会、地元協力者会	
	日本を代表する古墳群としての誇り	国指定史跡今城塚古墳、仁徳天皇陵（大山古墳）、履中天皇陵（ミカガイ古墳）、国指定史跡いたすけ古墳、国指定史跡古市古墳群、国指定史跡一須賀古墳群	国史跡今城塚古墳整備事業	高槻市教育委員会	・史跡や博物館等施設の紹介映像 ・史跡や古墳文化に関する調査研究 ・発掘調査報告書、博物館図録、紹介パンフレット ・史跡や博物館等施設の紹介映像 ・史跡や古代に関する調査研究 ・発掘調査報告書、博物館図録、紹介パンフレット
			高槻市立歴史民俗資料館	高槻市教育委員会	
			堺市博物館	堺市教育委員会	
			藤井寺市立生涯学習センター	藤井寺市教育委員会	
			羽曳野市陵南の森資料館	羽曳野市教育委員会	
大阪府立近つ飛鳥博物館			大阪府教育委員会		
大阪府立近つ飛鳥風土記の丘			大阪府教育委員会		
史跡新池埴輪製作遺跡	高槻市教育委員会				
上町台地の古代遺跡としての誇り	国史跡難波宮跡、国史跡四天王寺旧境内	国史跡難波宮跡整備事業	大阪市教育委員会、（財）大阪市文化財協会	・史跡や博物館等施設の紹介映像 ・大阪歴史博物館	
大阪市	大阪歴史博物館	大阪市教育委員会、（財）大阪市文化財協会			
豊臣期から江戸期の大阪のシンボルとしての誇り	国指定特別史跡大坂城跡	四天王寺宝物館	宗教法人	・史跡や博物館等施設の紹介映像 ・史跡や豊臣期から江戸期に関する調査研究 ・発掘調査報告書、博物館図録、紹介パンフレット	
		国指定特別史跡大坂城跡整備事業	大阪市教育委員会、大阪市公園局		
		大阪城天守閣	大阪市経済局		
大阪市		大阪歴史博物館	大阪市教育委員会、（財）大阪市文化財協会		
大阪の夏祭り	6/30の大阪市/勝鬨院（愛染堂）愛染祭から始まる大阪の夏祭りは、江戸時代に「天下の台所」と称された大阪の「都市」的伝統文化を代表する年中行事である。中でも7/24・25の天満宮の「天神祭り（陸渡御、船渡御、催太鼓、お迎え人形等）」、生根神社の「だいがく」、7/30～8/1住吉大社の「住吉祭」などが著名で、有形、無形の民俗文化財に指定されているものも多い。	天神祭り（陸渡御、船渡御）	大阪天満宮、講社（太鼓中、御文庫講etc）、他	・天神祭り写真集等 ・大阪天満宮文化研究所、「だいがく」調査報告書等 ・各神社の冊子、HP等	
		だいがく祭り	生根神社、だいがく保存会、他		
		住吉大社夏祭り（夏越神事他）	住吉大社、住吉踊り保存会、等		
		愛染祭り（宝恵かこ他）	勝鬨院、地元団体等		
府内全域（特に大阪市内）		杭全神社夏祭り	杭全神社、地元各自治会他		
大阪の盆踊り	府内で8/15～24（地蔵盆）を中心とする期間に行われる民俗行事は、国の記録を作成すべき無形民俗文化財に選択されているが、中でも各地で行われる「盆踊り」は、地域住民にとって欠かせない年中行事で、現在府内約400ヶ所以上で踊られている。大阪の盆踊りは「河内音頭」「江州音頭」が有名だが、泉州地域等にはそれらとは異なる伝統的な音頭で行われる盆踊りが現在も継承されており、無形民俗文化財に指定されているものもある。	八尾河内音頭まつり	八尾河内音頭まつり振興会他、自治会	・泉州地域の伝統的盆踊りの調査 ・泉州地域の盆踊り1、2、紹介HP多数	
		他府内約400ヶ所以上	東盆踊り保存会		
		東盆踊り（貝塚市）府指定文化財	浄瑠璃音頭（能勢町）町指定文化財		能勢町郷土芸能保存会他
		権六おどり（吹田市）市指定文化財	山田地区権六おどり保存会		
		大津おどり、あびこ踊り（泉大津市）市指定文化財	大津おどり保存会、あびこ踊り保存会他		
		土生鼓踊り（和泉市）市指定文化財	土生鼓踊り保存会他		
		貝塚三夜音頭、三ツ松明土行念仏（貝塚市）市指定	貝塚三夜音頭継承連絡会、三ツ松明土行念仏保存会他		
榎井さんや踊り（泉佐野市）市指定文化財	榎井西地区				
えべっさん（十日戎）	「今宮戎神社」で1月10日に行われる「十日戎」は「えべっさん」として親しまれており、府内の他の神社でもこの日に「戎祭」が行われている。江戸時代以来の祭りであり、他地方には例を見ない正月の祭礼である。縁起物の「福笹」や「商売繁盛で笹もって来い」というお囃子など、大阪の冬を代表する祭礼、年中行事である。	今宮戎神社（大阪市浪速区）十日えびす堀川戎神社（大阪市北区）十日戎宝の市神事	今宮戎神社、大阪木津地方卸売市場、他堀川戎神社他	・『大阪府の「十日戎」』 ・今宮戎福娘コンテスト	
府内全域（特に大阪市浪速区「今宮戎神社」）		十日戎祭	府内約60ヶ所の神社		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ		
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体			
	対象地域						
大阪府	大阪の「地車」(だんじり)、ふとん太鼓	大阪の地車といえば岸和田市岸城神社の祭礼におけるものが全国的にも著名だが、毎年9月～10月には、府内各地の神社で地車を用いた祭礼が行われている。鉦、太鼓、笛による軽快な地車囃子と屋根の上に乗って華麗なパフォーマンスを行う大工方、力を合わせてカーブを曲がる「やりまわし」など、地域の年中行事、伝統文化として根付いている。また、大きな太鼓を台車に載せて演奏しながら練り歩く「ふとん太鼓」も大阪の祭礼に大きな役割を果たす伝統文化である。	岸城神社(岸和田市)の地車	神社、地元保存会、地元自治会等	各地だんじりの紹介HP多数		
			波太神社(阪南市)のやくら	神社、地元保存会、地元自治会等			
			水分神社(千早赤阪村)地車	神社、地元保存会、地元自治会等			
			野間神社(能勢町)地車	神社、地元保存会、地元自治会等			
			原田神社(豊中市)地車	神社、地元保存会、地元自治会等			
			杭全神社(大阪市平野区)地車	神社、地元保存会、地元自治会等			
			岸和田だんじり会館	岸和田市他			
			枚岡神社(東大阪)市)ふとん太鼓	神社、地元保存会、地元自治会等			
兵庫県	酒蔵と酒造りを支えた人々	江戸時代から始まった酒造業が現在に受け継がれており、日本屈指の銘酒の産地としての誇りが息づいている。関連の資料館・博物館が公開・活用されている。現在も酒蔵は往時を偲ばせる町並みが独特の雰囲気醸し出し、地域の重要な文化遺産として保護されている。	講座	各酒造会社資料館	古い時代の酒造関係の施設写真、作業状況写真 ・酒作り歌(労働歌) ・酒造道具に関する研究 ・会社の歴史を記したパンフレット、展示品の照会図録		
	神戸市・西宮市・伊丹市		酒造関連の資料館	各酒造会社			
			音楽コンサート	市商工会議所、各酒造会社資料館			
	街を埋め尽くす水鏡(東播磨の溜池群)		古くより灌漑用として整備されてきた溜池群が、加古大池に代表されるように親水公園として再整備され、幅広い人々の関心を集めている。また、地域環境の一部として生活環境に溶け込み、東播磨地域における文化的景観を形成する重要な要素となっており、溜池祭りなど地域住民による溜池を活用した地域活動が積極的に行われている。	いのみ野ため池学		兵庫県、兵庫大学、いのみ野ため池ミュージアム推進実行委員会	昭和初期の状況写真、空中写真 ・溜池の成立(歴史)について、生態植物・動物について ・溜池・動植物を照会したパンフレット
				ため池の自然・入門講座		兵庫・水辺ネットワーク	
				歩いて確かめよう「いのみ野台地のため池文化」		兵庫県地理学協会、いのみ野ため池ミュージアム推進実行委員会	
				いのみファミリーウォーキング		いのみ野ため池ミュージアム推進実行委員会	
赤松氏関係中世山城と近世城郭		赤松氏に代表される赤松氏は中世をとおりして播磨地域を統治した守護大名であり、白旗城跡・置塩城跡・城山城跡等各地に数多くの山城跡を残している。各地に赤松氏関係の逸話が多く残り、地域住民の誇りとして受け継がれている。近世には忠臣蔵で有名な赤穂城跡の石垣・庭園・門跡等が綺麗に整備され、龍野城跡とともに町のシンボルとして活用されている。		赤穂義士祭	赤穂市、赤穂義士祭奉賛会	大正・昭和期の状況写真 ・城跡・城郭・石垣に關する研究 ・発掘調査報告書、城跡の照会パンフレット、HP	
播磨地域一円(姫路市・龍野市・赤穂市・上郡町など)	観月会	赤穂市、観月会実行委員会					
	白旗城まつり	上郡町、地元自治会、白旗城まつり実行委員会					
	置塩城まつり	夢前町、置塩城まつり実行委員会					
	姫路お城まつり	姫路市、姫路お城まつり奉賛会					
丹波焼と食の宝庫	日本六古窯のひとつである丹波焼は美術品としての価値を高めながらも、自分たちの器として地域に根差している。また、猪鍋・松茸・大納言小豆・黒豆・丹波栗など全国ブランドの食材を生み出す住民の努力は自然環境との共存の賜であり、柏原の大ケヤキ・上立杭大アベマキなどの巨木が町のシンボルとして保存・活用されている。	丹波焼陶器まつり	篠山市、丹波立杭陶器協同組合、丹波市商工会	美術品としての丹波焼 ・人間国宝を含む丹波焼製作技術 ・丹波焼についての研究 ・丹波焼研究書、丹波焼パンフレット、HP			
		丹波特産黒豆枝豆狩り	各地元自治会				
		丹波篠山味まつり	篠山市、丹波篠山味まつり実行委員会				
		収穫祭	丹波市、春日町観光協会				
国生み神話と花の島	淡路島内には国生みの島としての誇りが生き着いており、各地にその名残となる地名・名所・神社が今に伝わる。瀬戸内海に沈む夕日は神話の世界を彷彿させるほど幻想的なものであり、急峻な山間斜面に開かれた棚田風景は人間の営みのあつく事なき努力の結晶として写る文化的風景である。	ぐるーっと淡路島くにうみラリー	淡路市、くにうみ20th実行委員会	神社へ奉納の絵馬 ・各神社での伝統的神楽 ・四季の花々を照会する映像 ・国生み神話に関する神社のパンフレット、花に関するパンフレット、HP			
		国生みマラソン全国大会	淡路市、国生みマラソン全国大会実行委員会				
		淡路花祭	兵庫県、(財)淡路花博記念会事業協会				
洲本市・淡路市・南あわじ市・五色町		国際景観園芸フォーラム	兵庫県、(財)淡路花博記念会事業協会				

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	日本民俗学の祖柳田國男の故郷としての誇り 福崎町	文化勲章を受章した民俗学者柳田國男は福崎町名誉町民第1号でもあり、國男の生家である松岡家の兄弟（鼎、泰蔵、國男、静雄、輝夫）はそれぞれの道で大成し、共に顕彰するために記念館が作られている。 また、生家は記念館の西隣に移設・保存されており、昭和47年に県指定有形民俗文化財に指定されている。柳田國男はこの生家を「日本一小さな家」といい、そこから民俗学への志も源を発したといつてよいと著書『故郷七十年』の中に記している。このように、福崎町は柳田國男の民俗学の源流であるとともに、地域住民にとって心の拠り所であるとともに、地域住民にとって心の拠り所であり、誇りとなっているため。	柳田國男生家・記念館	柳田國男・松岡家顕彰記念館（（財））	
	忠臣蔵のふるさととしての誇り 赤穂市	『赤穂義士祭』は、まちをあげての一大イベントとして多くの観光客を魅了し続け、平成17年で第102回目を迎えた。赤穂義士祭の行事の中で最大の目玉は忠臣蔵パレードである。平成16年度は午前中から小学生の金管バンドを皮切りに、こども屋台や協賛パレードへと続き、午後から元禄絵巻さながらの忠臣蔵パレードへと移り、観客の目を楽しませた。色艶やかなお姫様の衣装を身にまとった赤穂義士娘による「義士娘奥道中」、往時の赤穂藩主の参勤交代を偲ばせる「大名行列」、小説やTVでおなじみの人物が登場する「義士伝行列」、刃傷の場や切腹の場など忠臣蔵の名場面を車上で演じる「山車」などが続き、最後に登場するのは本懐を遂げ、意気揚々と芝高輪泉岳寺へ向かう「義士行列」などが約5時間にわたって続いた。このほか、赤穂城跡内武家屋敷公園では「忠臣蔵交流物産市」が行われる等、様々なイベントが催される。また市内の各会場では屋台村や武道大会、フリーマーケット、盆栽展などの行事が行われ、赤穂義士祭に訪れた人々を温かく迎えた。	義士祭	赤穂義士奉賛会	・HP
	淡路人形浄瑠璃 淡路島	数百年の歴史を誇り、昭和51年に国の重要無形民俗文化財に指定された「淡路人形浄瑠璃」を伝承するため、昭和52年に（財）淡路人形浄瑠璃が設立された。この協会を伝承の核として淡路人形浄瑠璃後継者団体や淡路人形浄瑠璃サポートクラブが発足した。また、学校教育においても、小学校から高校まで部活動において淡路人形浄瑠璃の伝承活動を行っている。	淡路人形浄瑠璃伝承	（財）淡路人形協会、淡路人形芝居サポートクラブ、淡路人形浄瑠璃後継者団体	・淡路人形浄瑠璃 ・HP
	播磨の獅子舞 旧播磨国全域	播磨は「獅子どころ」と言われ、各地域において守り伝えられている。獅子舞は、こどもから老人に至るまで幅広い年齢層が参加して維持している。それぞれの地域で伝承している舞は地域の誇りであり、伝承文化活性化国民協会の事業である「伝統文化こども教室事業」を活用するなど、伝承意欲も旺盛であり、獅子舞を核とした地域づくりがすすめられている。	播磨の獅子舞	各保存会	
	播磨の屋台祭礼 姫路平野	姫路平野を中心とする播磨地域では、銚金具、欄間彫刻、幕・高欄掛などに意匠を凝らした太鼓屋台が激しく練り合う祭礼が集中し、これを大人たちが担いで男壮華麗に練り合う様や豪華絢爛な意匠は印象的で、人々が結集して播磨地域の祭礼の代表的存在となっている。また、祭礼はそれぞれの地域の総力をあげて実施していることから地域の誇りをかけたものとなっている。	播磨の屋台祭礼	各保存会	・播磨の祭礼屋台とダンジリ
	農村歌舞伎 養父市	葛畑区では江戸時代に歌舞伎舞台を神社に建設（国の重要有形民俗文化財「葛畑の舞台」に指定）し、明治3年に大阪で修行した地元出身者が帰郷し、地域住民が上演する葛畑座が結成され、周辺の村々でも昭和初期まで盛んに活動した。平成13年度から地域住民あげて農村歌舞伎の復活伝承と公開に積極的に取り組み、平成15年には「葛畑の舞台」において復活公演、平成16年も公演を行うなど、地域住民の心の拠り所となっている。	農村歌舞伎「葛畑座」	葛畑区	・葛畑農村歌舞伎復活・伝承活動実施報告書
	出石大名行列槍振り 出石	槍振りの起源は幕末ごろ、藩士の帰藩にともなう大名行列に江戸の赤坂奴を連れ帰り、この所作を城下町の町衆が習い伝えたことにはじまるという。出石は、昔ながらの城下町の雰囲気を残すことを目的とする「出石城下町を活かす会」の設立を契機として、町並みの保存活動や、「皿そば」のPR活動により、それまで観光地として認知度の低かった人口1万人の町に年間100万人という観光客が訪れるまでになっている。中でも出石大名行列槍振りは江戸時代から続く出石の伝統行事として地域住民はもとより周辺住民にも親しまれている。	出石大名行列槍振り	大名行列保存会	
	地域の歴史を活かした町づくり（予定） 三木市・高砂市	羽柴秀吉と2ヶ月以上にわたって対峙した別所氏の居城が三木城であり、市民にとっては大きな誇りとなっている。今後実施される市街地の再開発にあたり、こうした地域の誇りを中心とした町づくりが企画され、住民もその後押しを積極的に進めている。龜山石は古墳時代には畿内に多く運ばれ、特に「王の棺」として古墳にも優先的に採用されている。現在でも石材に切り出しが生業として行われており、町のシンボルのひとつとなっている。			
	青野原俘虜収容所の世界（予定） 加西市、小野市	戦跡としての負のイメージの強かった建物群を、平和教育のための史料とし、永遠の平和維持のための記念碑とする。さらに、歴史の証人としての同種の遺跡が、現在では貴重な歴史資料となっている。			
	姫路市周辺における民俗（予定） 姫路市、家島町	家島町は瀬戸内海に浮かぶ島々からなるため、独自に発達した民俗事例を留めている。さらに、姫路市は市川流域播磨地域の中心として、その典型的な携帯を多く留めている。こうした資料を集成し、次代へと受け継ぐ動きが地域で活発に行われている。			

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	古代山陽道と近世街道(予定) 太子町、たつの市、上郡町、佐用町	小犬丸遺跡と落地遺跡における発掘調査により、全国でも初めて駅家の実態が明らかとなるとともに、それを繋ぐ古代山陽道のルートも確定されている。また、近世の西国街道・因幡街道を基幹として現在の集落が形成されていることから、日常生活の中で無意識に活用されている。古代と近世の街道を保存するために住民の積極的な行動が取られている。			
	近代化遺産と町並みの保存(予定) 朝来市、豊岡市、養父市	生野・神子畑・明延の近代鉱山関連跡地を「鉱石の道」の道として結び、町おこし・観光の拠点整備が進んでいる。また同時期の町並みが良く残る豊岡市域では、歴史的な町並みを保存しながら、観光資源としての活用が図られている。			
	城をたどる一山城から平城へ(予定) 篠山市、丹波市	篠山城跡・八上城跡・黒井城跡などの山城跡が国指定の史跡として保存が行われ、観光資源として積極的に活用が図られている。江戸時代にはいと柏原の地に直系として封地された織田家の陣屋跡が残り、こちらも国指定の史跡として保存・活用が地元協力の下行われている。			
	川の道・陸の道(予定) 丹波市	加古川を利用した近世の水運は、瀬戸内海と内陸部を結びとともに、由良川を介して日本海との連絡も可能にするものであり、文化・物資の交流の大動脈として大きな発展を遂げる。このルートは弥生時代には既に確立されており、国内で一番低い分水嶺をとおして大陸の文化が運び込まれている。地域でも日本海・瀬戸内を結ぶ重要ルートとしての認識が高く、遺跡・歴史資料が地元の誇りとして大切に保存・活用されている。			
	淡路島・海峡イベント(予定) 淡路市・洲本市・南あわじ市	瀬戸内海に浮かぶ島国としての利点を生かし、古代から現代に至る海峡の姿を活用した事業が展開されている。古代には南海道のルートにあり、近世末には明石海峡に台場が設けられ、近・現代では由良に紀淡海峡を守るための砲台が設置されている。こうした台場跡・砲台跡を保存するとともに、戦跡としての活用が検討されている。			
	姫路城 姫路市	世界遺産であり、街の誇りとして市民に親しまれている。城内には動物園もあり、シンボリックな都市公園として広く市民に愛されるとともに、各種イベントが催されている。日本を代表する観光資源であるとともに、世界に誇る文化遺産として積極的な保存が図られ、良好に保存されている。			
兵庫県	おさん茂兵衛 DE たんば 丹波地域	丹波ゆかりの「おさん茂兵衛」の逸話(原作:近松門左衛門)を、地域住民が中心になって企画を立て、創作オペラとして上演することを通じて、丹波の魅力を全国に発信する。	創作市民オペラの上演	おさん茂兵衛 DE たんば実行委員会	・創作市民オペラの上演
奈良県	春日若宮おん祭り 奈良市中心	春日大社摂社若宮神社の例祭。平安末期の保延2年(1136)、関白藤原忠通が五穀豊穡を祈って始めた祭りといわれる。西暦1136年(保延2年)以来、今年で870回を迎える日本最古の文化芸能の祭典。17日未明、若宮の神霊を一の鳥居脇のお旅所に遷し、日中はこれに団参する芸能・武芸・大名等のお渡りが、また夜半神霊遷幸まで神楽・舞楽・田楽・細男等の奉納芸能が見られる。国の重要無形民俗文化財。	春日若宮おん祭り	春日若宮おん祭り保存会	・春日若宮おん祭りHP、奈良県HP(大和路アーカイブ) ・観光パンフレットなど
	東大寺のお水取り 奈良市中心	「お水取り」「お松明」という名で親しまれている春の訪れを告げる火の祭典。3月12日の夜、本尊に供える香水を汲み上げる行事があることから「お水取り」の名が、また、「お松明」の名は、練行衆が二月堂に上堂する際、大松明を掲げて先導することに由来します。東大寺二月堂の本尊、十一面観音惜過する行法として、天平勝宝4(752)年にはじめられたと伝えられています。どんな困難な時代にも絶えることなく続けられ、西暦2001年(平成13年)に1250回目を数えました。期間中、午後7時の大鐘を合図に「お松明」に点火。二月堂を舞台に所狭しと振り回され、じつに見事でダイナミックな炎の雨を降らせませす。	東大寺お水取り	東大寺	・東大寺HP、奈良県HP(大和路アーカイブ) ・観光パンフレットなど
	聖徳太子 斑鳩町はじめ奈良県	飛鳥時代の政治家、皇太子。用明天皇を父、欽明天皇の皇女穴穗部間人皇女を母とする。推古元(593)年、皇太子として叔母推古天皇の摂政となり、29年の間その地位を努めた。太子は摂政として天皇の政治を補佐し、蘇我氏と共同で政治・外交・文化等を行った。冠位十二階、憲法十七条の制定をし、官民の心得を示し、律令制の基礎固めを行った。遣隋使として小野妹子を派遣し、隋との国交を開き、大陸文化を取り入れ文化の向上に力を入れた。これが飛鳥文化と呼ばれている。また仏教の振興につとめ、四天王寺、法隆寺等を建立した。子には、山背大兄王をはじめとする八男六女がいる。大王を頂点とする集権国家体制の成立に力を入れたが、その政治思想は大化改新で実を結ぶこととなる。死後、様々な伝説が生み出されている。	太子道をたずねる集い	法隆寺	・日本史料書庫、法隆寺HP、奈良県HP(大和路アーカイブ) ・観光パンフレットなど
				1998年世界遺産登録「古都奈良の文化財」	
奈良県	「万葉のふるさと」の地としての誇り 奈良県全域	わが国最古の歌集「万葉集」には、本県を対象に詠まれた歌が最も多く、また、古代、都があった飛鳥地方をはじめとして、県内各地には「万葉集」ゆかりの歴史遺産や歴史的風土、自然景観が各所に残されている。	奈良県立万葉文化館	奈良県、(財)万葉文化振興財団	・万葉集をモチーフにした日本画(館蔵品) ・万葉集及びこれに関連する古代文化の調査研究(万葉古代学研究所設置) ・研究年報、万葉百科システム(万葉集に関する情報のデータベース) ・万葉文化の研究・普及に尽力した研究者や文化人などを広く世界から顕彰

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
	民俗文化が息づく地としての誇り	現在、奈良県立民俗博物館では、県内の各地域に暮らす人々が、その風土の中で育み、改良工夫を重ねながら維持してきた生活文化財、民俗資料を収集・保存・展示公開している。また、隣接の大和民俗公園内において県内で18世紀～19世紀（江戸時代）に建てられた民家9軒11棟を移築復原している。	奈良県立民俗博物館	奈良県	・ 県内の無形民俗文化財（伝承技術・伝承文化）の映像をソフト化 ・ 民俗資料の調査研究及び収集・整理（学芸課設置） ・ 民俗資料（4万2千点）、移築復原民家（9軒11棟）	
	奈良県全域					
奈良県	日本のふるさと明日香	明日香村は、飛鳥文化の中心地であると同時に律令国家の体制が初めて形成された地域である。村内には、当時の宮跡、寺跡、古墳や記紀及び万葉集に登場する飛鳥川などのわが国にとって重要な歴史的文化遺産が数多く存在し、それが古都としての伝統と文化を継承し、明日香村らしい歴史的風土を形成している。村内のどこにたつても往時を偲ばせる特色ある景観は他に類をみないものであり、明日香は日本人の心のふるさと、国民共有のかけがえない財産といわれる所似となっている。「古都保存法」や「明日香村特別措置法」など、このふるさとを守り育てていく仕組みのもと、行政と住民が一体となって歴史的風土の保全・継承に努めている。	第3次明日香村整備計画の推進	奈良県、奈良県明日香村		
	奈良県明日香村		国営飛鳥歴史公園の整備・管理	国土交通省		
和歌山県	とっさの判断で村人を津波から救った稲むらの火（濱口梧陵）	歴史的な出来事やゆかりの人物、防災（津波対策）について過去から現代へと受け継がれている教え。	稲むらの火祭	稲むらの火祭り実行委員会	・ 小泉八雲原作「稲むらの火」 ・ わかやま絵本の会「稲むらの火 濱口梧陵の話」 ・ 昭和12年～22年まで尋常小学校の国語教材	
	和歌山県有田郡広川町		絵本「稲むらの火 濱口梧陵のはなし」 津波防災教育センター（仮称）2006年度完成予定	わかやま絵本の会 有田郡広川町		
	大畑才蔵が残したすぐれた測量技術と土木工法がもたらした農業経営	大畑才蔵がつくった灌漑施設や用水路は今も活用され、農業経営の活性化に役立っている。三重県三雲町の「新井」と呼ばれる用水路。紀ノ川の灌漑工事による「小田井」は今も周辺地域の重要な井開として活用されている。				・ 小田井堰、藤崎井堰
	和歌山県橋本市					
	世界で初めて麻酔薬を使って乳がんの手術を成功させた華岡青洲	華岡青洲がつくった麻酔薬「通仙散」は医学の発達の礎となった。	青洲の里	和歌山県紀の川市	・ 「華岡青洲の妻」（有吉佐和子） ・ わかやま絵本の会「華岡青洲」	
	和歌山県紀の川市		絵本「華岡青洲」	わかやま絵本の会		
和歌山県	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」 高野地域（3町）、熊野地域（2市1町）、大辺路地域（3町）	世界遺産を将来の世代に良好な状態で引き継げるよう、また、こうした貴重な地域資源を地域活性に結びつけるよう、住民が誇りを持って様々な世界遺産の保存・活用の取組を進めている。	世界遺産の保存活動 来訪者の受け入れ活動	世界遺産地域協議会、各種民間団体 世界遺産地域協議会、各種民間団体		
	ふるさとをこよなく愛した望郷の詩人「佐藤春夫」 新宮市	谷崎潤一郎の推挙により文壇に登場、以来「田園の憂鬱」「お絹とその兄弟」「美しき町」などの作品を次々に発表してたちまち新進流行作家となり、芥川龍之介と並んで時代を担う2大作家と目されるようになりました。故郷紀南の地をこよなく愛し、「太刀魚の歌」や「望郷五月歌」など多くの氏を残す。	佐藤春夫記念館	新宮市	・ 紹介パンフレット ・ 記念館	
	世界で初めて全身麻酔手術に成功した医聖「華岡青洲」 紀の川市那賀町	長年にわたる麻酔剤の研究に努め、「曼陀羅華（まんだらげ）」を主成分とする麻酔薬「通仙散」を完成させる。このエピソードが有吉佐和子により「華岡青洲の妻」として小説化、劇化され、よく知られることとなる。1804年に全身麻酔による手術に成功、エーテル麻酔の成功に先立つこと40年余りの快挙である。このニュースは華岡流医学として全国に伝わり、1800人を超える医師達が青洲の門を叩いたといわれる。	青洲の里	紀の川市	・ 紹介パンフレット ・ 記念館	
世界の学者を振り向かせた博物学の巨星「南方熊楠」 田辺市、西牟婁郡白浜町	19才から14年間アメリカ、イギリスなどへ海外遊学、10数か国語を自由に使いこなす、国内外に多くの論文を発表した。日本に「ミナカタ」ありと世界の学者を振り向かせ、生涯在野の学者に徹した。植物学、菌類学などのみならず、民俗学の創始者。天文学、鉱物学、宗教学などにも多くの足跡を残している。	南方熊楠記念館	（財）南方熊楠記念館	・ 紹介パンフレット ・ 記念館		
和歌山県	熊野古道	世界遺産に登録されている。	熊野古道を世界遺産にする活動 熊野古道語り部養成 熊野古道ウォークの開催	熊野古道を世界遺産に登録するプロジェクト準備会 NPO法人漂探古道 囲炉裏	・ 絵画コンクール ・ 「いっしょに歩こう熊野古道」「みんなで歩こう熊野古道大辺路小辺路」	
	和歌山県の熊野古道活い		大辺路ルートの整備 熊野古道を絵本で紹介	大辺路刈り開き隊 わかやま絵本の会		
	雑賀孫市 和歌山市		雑賀孫市の祭りの開催	孫市の街委員会	・ HP開設・パンフレット	
	稲むらの火 広川町	防災の知恵を現代に伝えている。	稲むらの火祭りの開催 稲むらの火についての絵本作成	稲むらの火祭り実行委員会 わかやま絵本の会	・ 「稲むらの火 濱口梧陵のはなし」	
	和歌祭 和歌山市（和歌浦地区）		和歌祭の開催	NPO法人紀州和歌祭伝承会	・ パンフレット	
	華岡青洲 紀ノ川市（旧那賀町）		「華岡青洲の妻」の演劇を通じた偉人顕彰	劇団華岡青洲	・ 演劇「華岡青洲の妻」	

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
鳥取県	城下町としての街並み	戦国時代末期の武将・亀井茲矩の居城の裾に広がる城下町として、中世末期の面影が残っている。多くの神社仏閣、山中鹿之助の墓などもあり、城下町としての景観を守り、活用するための住民の活動が盛ん。	城下町の街並み形成、空き家の活用	いんしゅう鹿野まちづくり協議会	
	鳥取市鹿野町鹿野		観音堂祭りの開催	悠々坂本 21	
	山岳仏教の霊場である三徳山	山岳仏教の霊場である三徳山に国宝建造物三徳山投入堂がある。世界遺産に登録する運動が行われている。	三徳山御幸行列の復活	三徳山御幸行列を復活する会	
	三朝町坂本		田村虎三、山本兼文記念碑整備	一寸法師の郷里づくり協議会	
	地域出身の文化人（田村虎三、山本兼文） 岩美町蒲生地区	岩美町蒲生地区出身の作曲家（田村虎三氏、「はなさかじい」や「金太郎」などの唱歌を作曲した）、彫刻家（山本兼文氏、二紀会で文部大臣賞を受賞）	歴史読本の作成、資料展示	荒金村づくり推進協議会	
	修験者の行場「行者山」、旧岩美鉱山	奈良時代に山伏の修験道の行場として設けられた行者山がある。また、奈良東大寺の大仏にも銅を献上したといわれる歴史のある旧鉱山があるが、戦前の鳥取地震で多くの犠牲者を出し、在日朝鮮・韓国人も含む慰霊祭を開催し人権研修の場にもなっている。	上野遺跡周辺散策道の整備	三江自治公民館	
	上野遺跡の国の重要文化財「子持ち坪」 倉吉市三江	地域内にある「上野遺跡」から多量の手持ち壺（ツボの肩部に小さなツボが付いた変わった形をした壺。国の重要無形文化財。）が出土。	御幸行列の由来を伝承する紙芝居の制作	国信村づくり委員会	・御幸行列の由来を伝承する紙芝居を政策
	御幸行列「やっこ」 大山町国信	地域で継承されてきた御幸行列の中で地域の子どもたちが代々「やっこ」を演じている。神社の古文書などから由来を確認し、紙芝居などでわかりやすく伝承している。	考え地蔵祭りの開催	五月田集落振興協議会	
考え地蔵 智頭町五月田	地域にある寺院で古くから奉られている「考え地蔵」（下を向いて考えているように見える地蔵）の供養を活かし、地域内外の交流のための祭りを開催。				
鳥取県	郷土ゆかりの文学者	尾崎翠、尾崎放哉など、鳥取県内には内外で評価されているが、県民にあまり知られていない文学者たちがいる。県ではそれぞれ地元各市町村や民間の方々と一緒に、情報発信に努めている。	「尾崎翠フォーラム・in・鳥取」	尾崎翠フォーラム実行委員会	・それぞれの文学者の著作 ・「第七官界彷徨 - 尾崎翠を探して」（尾崎翠の半生を取り上げた作品） ・フォーラム等の開催報告書（シンポジウム概要等のまとめ）
	鳥取県、鳥取県鳥取市、鳥取県岩美町等		「尾崎放哉を知る会」	尾崎放哉を知る会実行委員会	
	童謡・唱歌のふるさと	鳥取県鳥取市は唱歌「ふるさと」の音楽家阿野貞一の鳥取県岩美町は唱歌「大黒様」の音楽家田村虎造の出身地であり、それぞれの地域で地元の子どもたちや住民により歌が歌い継がれるとともに、顕彰活動が行われている。また、鳥取県は昭和63年より「童謡・唱歌のふるさと」として、県立童謡館の設置や音楽祭の開催等を行っている。	鳥取童謡音楽祭の開催	鳥取県、童謡・唱歌のふるさと鳥取企画実行委員会	・歌集、CD
	鳥取県、鳥取県鳥取市、鳥取県岩美町		日本のふるさと音楽祭	鳥取市	
			童謡・唱歌百曲マラソン	岩美町 鳥取市、百曲マラソン実行委員会	
			鳥取県立童謡館の設置	鳥取県	
	麒麟獅子舞 鳥取県東部	厳肅・荘重を旨とする神々しい舞であり、多くが神社に奉納される。麒麟は古来平和の使者と呼ばれており、同時多発テロ後にアメリカで開催された平和記念式典においても舞を行った。	田村虎造生家跡の公園整備	岩美町、馬場集落	
			歌碑の建立	鳥取県、鳥取市ほか	
因幡の傘踊り 鳥取県東部	雨乞いを祈願して踊られたのが、起源とされるが、現在も踊りつがれている。	因幡の傘踊り	鳥取県、鳥取市ほか		
鳥取県	幕末からつづく新田人形浄瑠璃の郷 八頭郡智頭町	新田人形浄瑠璃を次の世代へ伝承して行くために「新田人形浄瑠璃の館」と「清流の里新田」の2つの館を建設し、人形浄瑠璃で使用する人形や幕などの小道具等を展示するとともに、村の祭りなどのイベント時には和室部分を利用して人形浄瑠璃を披露できるようにしてある。	人形浄瑠璃の上演	NPO 法人新田むらづくり実行委員会、地域住民	・人形浄瑠璃
	世界的にも珍しい漁法石ガマ漁 鳥取市湖山町	日本一大きな池として知られる湖山池は、昔から漁業の盛んな汽水湖です。なかでも寒ブナを中央に追い込み、それを網ですくい取る「石ガマ漁」は、世界的にも珍しい漁法で、冬の風物詩になっています。	資料館	NPO 法人新田むらづくり実行委員会	・伝統的な漁法の保存
	石見銀山遺跡	石見銀山遺跡は、16世紀以降約400年にわたって採掘されてきた日本有数の銀鉱山跡であり、平成19年の世界遺産登録を目指している。地域住民はこの歴史的資源を熟知しており、世界遺産登録に向け、遺跡を保存・活用する取り組みが進められている。	遺跡整備 ガイダンス施設の整備 まちづくりシンポジウム 遺跡の学習活動 行動計画の策定	大田市 大田市 大田市 大田市 大田市	・組曲石見銀山 ・石見銀山遺跡を伝える絵カルタ ・遺跡総合調査報告書 ・石見銀山ノート
島根県	大田市		軒先アート	神迎の道の会	
	神迎の道	出雲市大社町の神迎の道の取り組みは、旧暦10月（神在月）に八百万の神が稲佐浜から出雲大社へ向かう通りの沿線の住民などが平成16年から新たにはじめたもので、軒先を花や行灯などで飾りながら「おもてなしの心」をもって訪れる方々を迎え、由緒ある通りを気持ちよく歩いてもらうことを目指している。	おもてなしイベント 潮汲み実践	神迎の道の会 神迎の道の会	
出雲市				神迎の道の会	

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
	木綿街道	江戸時代に木綿の集積地として栄え、今も往時の面影を残す妻入り土蔵造りの商家群がある出雲市平田町の昔ながらの街並みを、住民有志が「木綿街道」と名付け、イベントなどを通じ「古くて新しい平田の顔」として街並みの保存と地域の活性化を目指している。	おちらと木綿街道他	木綿街道の会、木綿街道商業振興会		
	出雲市		まちづくり講演会、シンポジウム	木綿街道の会		
			木綿街道交流館整備	出雲市		
	参勤交代旧道を活かした健康・交流づくり	江戸時代の参勤交代制度で利用されていた旧道を、実際にウォーキングすることで当時の苦勞を体験するとともに健康作りと地域間交流に取り組んでいる。	本石橋邸改修整備	出雲市		
	浜田市		史跡保存	地域住民		
			ウォーキングイベントの開催	きんさい石見路ソーデーウォーク実行委員会		
			地域住民との連携	きんさい石見路ソーデーウォーク実行委員会		
	島根県	出雲神話の世界	「古事記」「日本書紀」「出雲国風土記」の3つには、出雲地方を舞台とした数多くの神話が書かれている。特に「古事記」には色々な神話が記載されているが、出雲に関する神話のその三分の一を占めている。	出雲大社	出雲大社	・出雲神楽、石見神楽
	松江市、出雲市、雲南市	熊野大社	熊野大社			
	出雲神楽	社中				
	鉄の文化圏	島根県南部の中国山地は、良質な砂鉄が多く産出される地域で、それを原料に、古くから「たたら」と呼ばれる製鉄が盛んに行われていた。江戸時代後半の最盛期には、島根県を含む中国山地一帯の鉄の生産量が国内総生産量の約8割を占めている。	日刀保たたら	日本美術刀剣保存協会	・宮谷たたら	
	安来市、雲南市、奥出雲町		和鋼博物館	安来市		
			鉄の未来科学館	雲南市		
	銀の道	鎌倉時代に発見されたといわれる石見銀山は、日本有数の鉱山として栄えた。17世紀の初め頃には、年間約12トンの銀を幕府に納めたとされている。最盛期、石見銀山の人口は約20万人を数えたと伝えられている。現在、世界遺産の候補地となっている。	龍源寺間歩	大田市	・龍源寺間歩	
	大田市		石見銀山資料館	大田市		
	茶の湯文化	松江藩松平家七代藩主の松平治郷によって生み出され、庶民の手によって育まれてきた茶の湯文化は、島根の人々の暮らしに深く浸透している。	不味流	不味流	・茶の湯	
	松江市					
	出雲神話	八岐大蛇(ヤマタノオロチ)退治、スサノオノミコト、オオクニスミノミコト、国引き神話、神楽、黄泉比良坂(よもつひらさか)	神楽等伝統文化伝承	NPO 法人スサノオの風		
	島根県東部		町内めぐり	NPO 法人まちの駅女寅(めとら)		
	古墳	スクモ塚古墳	スクモ塚古墳周辺環境整備	NPO 法人久城伝承文化顕彰会		
	益田市久城町		造山古墳群「古代出雲王陵の丘」周辺環境整備	荒島地区活性化推進協議会		
	遺跡	加茂岩倉遺跡、石見銀山遺跡、荒神谷遺跡、出雲大社境内遺跡、田和山遺跡	出雲地方の歴史文化遺産調査研究	NPO 法人出雲学研究所		
	雲南市加茂町、大田市大森町、簸川郡斐川町、出雲市大社町、松江市田和山町		石見銀山観光事業及び周辺活性化	NPO 法人行って嬉しい迎えて楽しい石見銀山NPO		
	神社	出雲大社	大社門前の再生事業(映像ソフト制作)	NPO 法人しまね歴史文化ネットワークもくもく		
	出雲市大社町					
	歴史上の人物の取り組み(石井十次)	医学の道を志していた石井十次氏は「岡山孤児院」という児童福祉の先駆的な施設を開設し、後に児童福祉の父と呼ばれるようになった。このような福祉の精神は今に受け継がれ、県下全体に浸透していると思われる。また、この功績が映画化されたことにより、全国の福祉関係者以外の人にも知られるようになった。	「岡山孤児院物語石井十次の足跡」出版	山陽新聞社	・「岡山孤児院物語石井十次の足跡」 ・石井氏胸像 ・「石井のおとうさんありがとう」 ・岡山伝記文庫「郷土にかがやく人々」	
	岡山市		(財)地域活性化センター「伝えたいふるさとの100話」	岡山県推薦、(財)地域活性化センター発行		
	城下町としての誇り(津山城および城東の町並み)	岡山県北に位置する津山市のシンボルともいえる鶴山公園。この鶴山公園は明治の廃城令により取り壊された津山城の跡でもある。この城を中心に形成された城下町は現在の津山市の元となっており、城の東部に位置する「城東町並み保存地区」は昔の面影を今に伝えている。また、城東地区の住民を中心に「つやま城東むかし町」というイベントを開催し、市内の人々に対して、地域の魅力や地域の先人の功績を情報発信している。	町並み保存地区(指定)	岡山県	・町並み散策パンフレット	
	津山市		津山城東むかし町	津山城東むかし町実行委員会		
			城東灯籠まつり	津山城東むかし町実行委員会		
			「城東むかし町いにしえ散策」	津山商工会議所青年部		
			「城東マップ」	城東まちづくり協議会		
	古来から伝承している踊り(白石踊り)	白石踊りは、源平水島合戦で戦死した人々の霊を慰めるために始まったと伝えられ、一つの音頭で十数種類もの異なる踊りがあり、しかもそれらを同時に踊るなから独自の調和が生じるという独特のものである。(昭和51年国指定重要無形文化財指定)岡山のシンボルともいえるからくり時計のモチーフおよびメロディに採用されるなど、鳥の範囲を越えて浸透している。	白石踊	笠岡市、白石踊保存会、笠岡市観光連盟	・白石踊り ・「郷土の誇り“白石踊り”～歴史と伝統が癒しの空間へと誘う～」	
	笠岡市(白石島)		「郷土の誇り“白石踊り”～歴史と伝統が癒しの空間へと誘う～」	笠岡市		
	古代文化の中心地としての誇り(吉備文化)	岡山県内には、総社市中心とした多くの市町村に、総社宮や国分寺などの吉備文化に関する歴史的遺産が数多く残っている。また、この地区の代表的な観光資源である「鬼の城(きのじょう)」の名前の由来となった「温羅(うら)伝説」など数多くの説話が伝承されており、これら様々な資源を切り口とした地域づくりが行われている。	鬼の城史跡整備	総社市	・備中神楽	
	総社市他		「神が辻フェスティバル」	総社市		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
岡山県	不況日本の再生に知恵を教えてくれる改革者（山田方谷） 高梁市、新見市	目先のことにとらわれず、目指すべき姿を明らかにし、また人々の信頼を得ることは経済発展につながるとして、信・義を大切にして改革を進めたため、地域住民の信頼が厚く、現在でも多くの人々に尊敬され、親しまれている、方谷ゆかりの地に駅ができる時、地元住民がたんがんし、日本で初めて人名のついた駅が誕生した。	山田方谷生誕 200 年記念事業	山田方谷生誕 200 年記念事業実行委員会	・記念シンポジウム
	新見庄	中世の宮座が残る神社や、地頭方政所・名主屋敷跡などの遺跡、五輪塔・延命地藏・薬師三尊像などの石像物、木造阿彌陀如来像など数多くの遺跡がある。こうした遺産を活用し地域の振興を図るとともに、中世における新見地域の営みを後世に伝えていこうと、イベント等を開催している。	備中国新見庄まつり	備中国新見庄口マンの里づくり実行委員会	・新見庄 DVD ・中世歴史紙芝居 ・セミナー ・新見庄マップ
	新見市		中世史跡めぐり	新見市	
			歴史セミナー	新見市	
			中世歴史紙芝居 & 歴史クイズ	新見市	
	宮本武蔵	日本全国に数々の伝説を残している宮本武蔵の生誕地であり、ゆかりの神社や地域が点在しているが、漫画や TV シリーズの題材になることで、時代を超えたヒーローとして、様々な世代に浸透している。また、地元では武蔵由来の剣術の流派があったり、武蔵やゆかりの人物の名前を付けた剣道大会を開催するなど、地域の特性として活かしながらまちづくりに取り組んでいる。	武蔵の里	美作市（旧大原町）	・宮本武蔵像 ・漫画「バガボンド」
	美作市（旧大原町、旧東粟倉村等）				
	石黒小右衛門	大洪水で流出した地元の復興のため、幕府の命より住民の意思を重んじ、自らの命を犠牲にしてまで力を尽くした代官石黒小右衛門の話は、地域住民の間で脈々と語り継がれ、鹿田踊りの一節にも歌い継がれている。	「非情涙の杉坂峠～石黒小右衛門報われぬ偉業～」	住みよい鹿田をつくる会	・豊年踊り（盆踊りのお囃子） ・「非情涙の杉坂峠～石黒小右衛門報われぬ偉業～」
	真庭市（旧落合町）		(財)地域活性化センター「伝えたいふるさとの 100 話」	岡山県推薦、(財)地域活性化センター発行	
	往事の面影を今に伝える勝山の町並み	白壁の土蔵、高瀬舟の発着場跡、連子格子と石壁の商家のある勝山の町並みは、昭和 60 年に県下で初めて指定された町並み保存地区である。観光客に見られているという意識が地域住民の襟をただし、自分達の町をきれいにしよう、もっと大切にしようといった心を育み、町並みを保存・再生しながら、こうしたものを活かした取り組みにつながっている。	町並み保存地区（指定）	岡山県	・パンフレット
真庭市（旧勝山町）	電線地中化整備事業		真庭市		
横仙歌舞伎	江戸後期から伝わる横仙歌舞伎は、地元保存会による定期公演や出張講演などの積極的な活動により、伝統芸能としての農村歌舞伎の姿を現在に伝えている。奈義町では横仙歌舞伎を核として演劇や様々な文化行事が行われており、大きな文化遺産として大切に守られている。町内の小・中・高校生を対象に、こども歌舞伎教室を開催するなど、後継者の育成や世代間交流にも力を入れている。	こども歌舞伎教室	奈義町、横仙歌舞伎保存会	・横仙歌舞伎	
奈義町		歌舞伎専門職員の採用	奈義町		
		定期公演	奈義町、横仙歌舞伎保存会		
新庄宿	古代から、出雲と大和を結ぶ要路であった出雲街道の宿場町であり、現在も松江藩本陣や御茶屋、旅館などその面影を残している。また、日露戦争勝戦記念として植えられた桜並木「がいせん桜」や日本の首風景百選に選ばれた小川のせせらぎなど様々な魅力が加わり、郷愁豊かな雰囲気を感じ出している。	町並み保存地区（指定）	岡山県	・パンフレット	
新庄村		がいせん桜祭り	新庄村、新庄村商工会		
		新庄宿あじわい祭り	新庄村、新庄村商工会		
岡山県	桃太郎伝説の地 主に県南部	我が国の代表的な昔話である「桃太郎」のルーツというべき、吉備津彦命の鬼（温羅）退治にかかわる伝説が残されている。県民にひろく周知されている。	岡山市デジタルミュージアム	岡山市	・桃太郎の銅像 ・絵本など
岡山県	古代吉備王国の地 県内全域	古くに大きな勢力を築いた吉備王国の地として、全国的にも著名であるとともに、関連する古墳や遺跡など多くの文化財が存在している。造山古墳、作山古墳、両宮山古墳などの県内には巨大な古墳がいくつも存在する。	岡山県立博物館 吉備路郷土館 倉敷考古館 関連史跡整備	岡山県 岡山県 倉敷考古館 県および該当市町村	・発掘調査等 ・史跡案内パンフレット等
岡山県	中央で活躍した貴族（吉備真備・和氣清麻呂）ゆかりの地 倉敷市、矢掛町、和気町	吉備真備は奈良時代に中央で活躍した貴族である。和氣清麻呂は皇位をねらった道鏡の野望をくじいたことで有名な貴族である。ともに、岡山県出身で、地域で慕われている。ゆかりの地として和氣神社、下道氏墓などがある。	まきび記念館	倉敷市	・銅像 ・関連図書等
岡山県	戦国武将に関するゆかりの地 県下全域	戦国時代に活躍した武将は今なおその地域で人気がある。宇喜多直家・秀家、清水宗治など。また、戦国大名の魁といわれる北条早雲も備中出身説があり、話題となっている。武将の活躍した城、館、ゆかりの寺社など多くの文化財がある。	高松城址公園資料館	高松城址保興会	・漫画 ・戦国武将関連図書
岡山県	宮本武蔵ゆかりの地 美作市	剣豪として有名な宮本武蔵は美作市宮本が生誕地であるといわれている。関連遺跡として伝宮本武蔵宅跡などがある。	武蔵資料館	武蔵の里五輪坊	・吉川英治「宮本武蔵」 ・銅像 ・NHK 大河ドラマ ・関連図書
岡山県	名君・池田光政ゆかりの地 備前地区	様々な藩政改革をおこなった池田光政は名君として知られている。県内には、光政が津田永忠などを登用してつくらせた和意谷墓所、藩学校など多くの文化財が残っている。	開谷学校資料館	旧開谷学校顕彰保存会	・漫画 ・関連図書
岡山県	山田方谷ゆかりの地 備中地域	山田方谷は、財政が逼迫していた幕末の松江藩で藩政改革を断行し、財政再建に成功した。方谷の政治的・経済的手腕は現在においても高く評価されている。県内には方谷ゆかりの地が多数残っている。方谷園、方谷庵など。	方谷記念館	新見市	・関連図書

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
岡山県	犬養毅ゆかりの地 岡山市	「話せばわかる」で有名な明治から昭和にかけての政党政治家。憲政の神様といわれた政治家としての功績に加え、彼のもつ清廉な精神はいまも地域の誇りとなっている。関連する施設として、犬養木堂記念館などがある。	犬養木堂記念館	岡山県	・関連図書
	大原美術館と倉敷川畔伝統的建造物群 倉敷市	大原美術館は、事業家大原孫三郎が、画家児島虎次郎を記念して昭和5年に設立した、日本最初の西洋美術中心の私立美術館である。大原美術館は、周辺の倉敷川畔伝統的建造物群保存地区とともに、地元の誇りとなっている。	児島虎次郎記念館 建造物保存修理 大原美術館	大原美術館 県、倉敷市、所有者 大原美術館	・児島虎次郎・大原孫三郎研究、建造物調査 ・関連図書、パンフレット
	世界最古の庶民のための学校「旧開谷学校」 備前市	特別史跡「旧開谷学校」は、江戸時代に池田光政が建設を命じたもので現存する庶民を対象とした学校建築としては最古のものと言われている。現在も儒教に基づく行事等が行われており、学校の精神を継承している。	開谷学校資料館 建造物保存修理	旧開谷学校顕彰保存会 岡山県	・儒教関連行事 ・開谷学校研究 ・関連図書、パンフレット
	備前焼をはじめとする伝統工芸品 県内全域	備前焼は古代の須恵器が起源とされ、桃山時代から江戸中期に隆盛した焼物。現在も、多くの陶芸作家が制作をおこなっている。その他、木工芸、和紙など多くの特産品があり、多くの愛好者がいる。	岡山県備前陶芸美術館 藤原啓記念館 備前陶芸センター 備前焼伝統産業会館 郷原漆器の館 岡山県立博物館	岡山県備前陶芸美術館 藤原啓記念館 岡山県 岡山県備前焼陶友会 真庭市 岡山県	・記録映像等 ・作品図録等
	地域に根付く伝統芸能 県内全域	県内には、その地域で根付いている伝統芸能が数多く存在する。地域でこれらの伝統芸能を継承すべく多くの団体が活動している。備中神楽、大宮踊り、白石踊り、会陽、だんじり、農村歌舞伎など。	備中神楽 白石踊り 大宮踊り 備中神楽伝承館 西大寺会陽 横仙歌舞伎	備中神楽成羽保存会 白石踊会 大宮踊保存会 井原市 西大寺会陽奉賛会 奈義町	・備中神楽等 ・記録映像等 ・関連図書
	刀剣の里「長船」 備前地区	備前の長船鍛冶は、現在にいたるまで数多くの名刀を作り出しており、国宝・重要文化財に指定されている刀剣の多くが備前で制作されたものである。現在でも長船では刀鍛冶が作刀しており、地域に根付いている。	備前長船刀剣博物館 岡山県立博物館	瀬戸内市 岡山県	・記録映像等 ・関連図書
	日本の三大名園「後楽園」 岡山市	後楽園は1687年に、池田綱政が命じてつくられた庭園で、日本の三大名園のひとつとして、特別名勝に指定されている。岡山城とともに、岡山県のシンボルとなっている。	岡山県郷土文化財団	岡山県郷土文化財団	・関連図書、パンフレット
	べんがらの里吹屋 高梁市	べんがらは、高梁市成羽町吹屋の特産物として全国に出荷された。現在も往事の町並みが残っており、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。	民俗資料館ベンガラ館 建造物修理	成羽町観光協会 岡山県・高梁市・所有者	・関連調査 ・関連図書
	岡山県下の近代化遺産 県下全域	幕末から第2次世界大戦の頃につくられた建造物や土木遺産が、地域の歴史を物語る近代化遺産として、地域で活用されつつある。例えば、児島湾にのこる榎門などは近世から近代にかけて干拓された土地の歴史を物語るものとして、地域のシンボルとなっている。	近代化遺産調査	岡山県	・近代化遺産調査
	街道で栄えた町 県全域	県内の街道沿いには今も古い町並みが残されている場所がある。山陽道（矢掛本陣・脇本陣）、出雲街道、因幡往来など。			・「歴史の道」調査 ・関連図書
岡山県		代官ばやし、民謡傘踊り等の伝統舞踊を通じた日本古来の文化、芸術の振興 備中神楽の普及 勝山町町並み保存地区の町並み整備等 久世だんじりの伝統文化継承等	特定非営利活動法人倉敷栄美寿会 特定非営利活動法人ビビッド経ヶ丸 特定非営利活動法人勝山・町並み委員会 特定非営利活動法人久世だんじり振興会		
広島県	日本最初に乗合バスが走った地 広島市（横川～可部地区）	明治38年2月5日に国産乗合バスの営業を広島市の横川から可部で行った、乗合バスの運行としては、「日本初」である。このことを通し、地域づくりを行っている。	乗合バスの復元 復元バスの展示施設 復元イベント	広島かよこバス活用委員会 広島市（駅前整備） 広島かよこバス活用委員会	・当時の地元を題材に小説
広島県	原爆ドーム・平和記念公園 広島市	平和記念公園は世界の恒久平和の願いを込めてつくられた公園です。公園内には、平和の願いを込めて設置された数々のモニュメントや、被災地となった当時のひろしまを展示した広島平和記念資料館、世界文化遺産である原爆ドーム、国立広島原爆死没者追悼平和祈念館などがあります。	元安川オープンカフェ	元安川河岸緑地有効活用実行委員会	・観光パンフレット
	厳島神社 廿日市市（旧宮島町）	厳島神社は海を敷地とした大胆・ユニークな構成と寝殿造りの粋を極めた荘厳華麗な建築美は、日本有数の名社にふさわしい貫禄です。12世紀、平清盛によって現在の姿に造営されました。背後に広がる緑とのコントラストもまた格別な美しさです。	宮島千景閣平家琵琶・篠笛演奏会	広島県観光キャンペーン実行委員会	・観光パンフレット
山口県	明治維新発祥の地としての誇り 萩市	近代日本の夜明けを告げた人々が育ち、吉田松陰をはじめ木戸孝允、高杉晋作、伊藤博文など多くの逸材を輩出、また、江戸時代のまちなみ、歴史的景観を多く残している。			

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ		
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体			
	対象地域						
山口県	時代のターニングポイントとなる史実の舞台としての誇り	源平壇の浦合戦で滅びた平家一門を偲ぶ「先帝祭」等について地域住民が熟知している歴史情緒豊かな祭として受け継がれていること。	先帝祭	下関まつり合同会議（下関市観光振興課内）	・上關道中（壇の浦合戦で敗れた平家の女官達が遊女に身を落としながらも、わずか8歳で命を落とした安徳幼帝を弔い、その命日には威儀を正して、阿弥陀寺に参拝した時代絵巻を再現したもの）		
	下関市						
徳島県	四国遍路で培ったお接待の心	湯茶や食べ物などを、お遍路さんに施すことによって自らも救われるという考えから、お遍路さんにものを施し親切にすると言う文化が、四国遍路を支え、受け継がれてきた。	遍路客に対するお接待	県民	・いやしの道HP		
	県内全域		いやしの道の整備	徳島県			
	日本における第九初演の地としての誇り		第1次世界大戦中に鳴門市にあった俘虜収容所でのドイツ人俘虜と地域住民との交流や日本における初の第九公演の歴史を住民が認知しており、この精神を活かした活動が、住民の手によって続けられている。	第九交響曲演奏会		NPO法人鳴門「第九」を歌う会、鳴門市NPO法人鳴門「第九」を歌う会	・第九演奏会 ・「バルトの楽園」映画 ・鳴門市ドイツ館
				鳴門市		ドイツへの第九里帰り公演 ドイツ文化講座等 「バルトの楽園」映画誘致・制作支援	
徳島県	世界に誇る阿波おどり	県民は、阿波おどりは日本を代表する伝統芸能であると誇りを抱いている。毎年夏、徳島市以外でも、県内各地で盛大に踊られている。また、小中学校の運動会等で必ず踊られることから、阿波おどりを体験しない県民は少ない。	徳島市の阿波おどり	阿波おどり実行委員会	・ぞめき、よしこの ・阿波おどり		
	県内全域		はな・はる・フェスタ	はな・はる・フェスタ実行委員会			
	四国遍路		徳島県内には、四国88箇所遍路の起点である1番礼所寺院から23番礼所、及び66番礼所がある。地域住民は、お遍路さんに対して、湯茶の接待や宿泊の接待をすることが、昔からの風習として受け継がれている。	いやしのみちづくり お接待		各町村、商工会、地元自治会等 小・中・高校、大学	・関連小説多数有り ・関連研究多数有り ・関連書籍多数有り
	礼所のある市町村及び遍路道がある市町村		両村には、平家伝説にまつわる史跡が多く残されている。また、毎年平家の武者行列等のイベントが行われている。	祖谷平家まつり		ふるさとづくり実行委員会	
	平家の落人伝説		舟形山車をつかった祭り	地域の秋祭り等に使われる舟形山車、関船は、全国的にも珍しいだんじりであり、地域の誇りとなっている。		各地域の祭り	阿波の御船歌 徳島大学総合科学部文化人類学教室報告7他 ・「阿波の祭礼と神事」、「由岐町史上巻」
	東祖谷山村、西祖谷山村						
	徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、松茂町、牟岐町、海南町、穴喰町		阿波人形浄瑠璃は、徳島県民にとり身近な伝統芸能であり、各人形座が競演する阿波人形浄瑠璃フェスティバルの開催や、阿波十郎兵衛屋敷での常設上演、また、県内各地に残る農村舞台では、地元の座を中心に上演されている。また、県外への出張公演も行っている。	阿波人形浄瑠璃フェスティバル 農村舞台での上演 学校の部活動		(財)阿波人形浄瑠璃振興協会 地元保存会、阿波農村舞台の会 地元小中高校民芸部	・阿波人形浄瑠璃
	阿波人形浄瑠璃		第一次世界大戦において、日本軍はドイツの中国租借地青島を攻略し、ドイツ兵俘虜約4,700名を日本各地の収容所に送還した。鳴門市内の板東俘虜収容所においては、松江所長の人権遵守の処遇と、お遍路さんへのお接待の風習のある地元民の「もてなし」により、ドイツ人俘虜と地元民との交流が生まれた。その交流の結果として、1918年6月1日、ベートーヴェン交響曲第九が収容所内で初演された。	毎年6月の第一日曜日に第九演奏会 第九を歌う会 ドイツ館 映画「バルトの楽園」 「バルトの楽園」ロケ村 - 歡喜の郷 - ドイツ村公園整備		鳴門市、 NPO法人第九を歌う会 鳴門市 「バルトの楽園」製作委員会 「バルトの楽園」誘致支援委員会、徳島県、鳴門市 鳴門市	・二つの山河 ・ベートーヴェン交響曲第九 ・映画「バルトの楽園」 ・多数あり ・「どこにしようよ、そこがドイツだ」他多数
	徳島市、勝浦町、那賀町など県内各地						
	ベートーヴェン交響曲第九初演の地		合戦の舞台となった「屋島」は、高松市の主要な観光資源の一つである。屋島合戦は、学校の授業でも必ず取り上げられる事項であり、多くの地域住民がその内容を認識しているものと考えられる。	源平屋島合戦ガイドマップ 観光パンフレット		香川県 高松市	・毎回のプログラム
鳴門市							
香川県	源平合戦	重要文化財旧金毘羅大芝居(金丸座)で毎年春に行われ、今年度で21回を数えている。全国から歌舞伎ファンが駆けつけている。	四国ごんびら歌舞伎大芝居	四国ごんびら歌舞伎大芝居推進協議会	・毎回のプログラム		
	高松市		肥土山農村歌舞伎	肥土山農村歌舞伎保存会			
	四国ごんびら歌舞伎大芝居 仲多度郡琴平町		中土山農村歌舞伎	中土山農村歌舞伎保存会			
	小豆島農村歌舞伎		重要有形民俗文化財の肥土山の舞台や中山の舞台で毎年上演され、肥土山離宮八幡神社や中山春日神社に奉納されている。県指定無形民俗文化財として守られている。	蹴鞠		金刀比羅宮蹴鞠会	
小豆郡土庄町、池田町	県指定無形民俗文化財として、毎年、重要文化財金刀比羅宮表書院の前庭にて行われる。	蹴鞠	蹴鞠	金刀比羅宮蹴鞠会	・蹴鞠		
蹴鞠	仲多度郡琴平町						

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	滝宮の念仏踊	菅原道真が在任中大旱魃のときに大雨を降らせた菅公の徳をたたえて農民が踊ったことに由来し、千年以上も踊りつがれている。重要有形民俗文化財である。	滝宮の念仏踊	滝宮念仏踊保存会	・滝宮の念仏踊(DVD)
	綾歌郡綾南町、綾上町				
	仁尾八朔人形まつり	戦国時代3月3日に仁尾城が落城して以来、ひな祭りをしないで旧暦8月1日の八朔の節句に男女とも人形祭りで祝うという風習。「讃岐の馬節句」は記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財となっている。	仁尾八朔人形まつり	仁尾町商工会	
	三豊市仁尾町				
	吉津夫婦獅子舞	勇ましい太鼓に合わせて雌雄2頭が戯れあいながら獅子の一生を演じる壮観で華麗な獅子舞。約400年前から氏子に受け継がれている。県指定無形民俗文化財である。	吉津夫婦獅子舞	吉津夫婦獅子舞保存会	
	三豊市三野町				
	丸亀市塩飽本島町笠島伝統的建造物群保存地区	丸亀市塩飽本島町笠島地区は重要伝統的建造物群保存地区として保存され、町並みを保存維持している。	丸亀市塩飽本島町伝統的建造物群保存地区	丸亀市	・笠島の町並み
	丸亀市塩飽本島町				
	ももて祭	坂出市の榎石、詫間町の生里、大浜、粟島で行われている、春の初めに五穀の豊作、漁業の繁栄、家内安全、悪魔祓いを祈願して弓を射る行事。県指定無形民俗文化財である。	榎石ももて祭	王子神社氏子	
	坂出市、詫間町		生里・大浜・粟島ももて祭	生里ももて祭保存会、大浜ももて祭保存会、粟島ももて祭保存会	
	平賀源内	エレクトルなどの発明で有名な平賀源内を顕彰して「源内祭」を行っている。	平賀源内	平賀源内顕彰会	・平賀源内全集
	さぬき市志度		源内祭	平賀源内先生顕彰会	
	久米通賢	塩田開発を手がけたほか数々の発明をしたことで有名な久米通賢を顕彰して「さかいて塩まつり」、「通賢まつり」を行っている。	さかいて塩まつり	坂出市	・展覧会図録
	坂出市、東かがわ市		通賢まつり	通賢まつり実行委員会	
	ちょうさ祭	金糸に飾られた豪華な「ちょうさ」23台が3日間、八幡神社、一宮神社と場所をかえながら勇壮なかきくらべを繰りひろげる。	さぬき豊浜ちょうさ祭	観音寺市豊浜町	
	観音寺市豊浜町				
	宇多津の町並み	中世の讃岐を代表する港町であった宇多津町の旧町内に町家が軒を並べ見事な景観を造っている。	宇多津町旧町内歴史的景観保存	まちづくり2005	
	綾歌郡宇多津町				
	源平屋島合戦の跡	源平屋島合戦ゆかりの地で源義経、佐藤継信、那須与一などいにしへの武将をしのぶ。	源平屋島合戦の跡		・源平屋島合戦ガイドブック ・源平屋島合戦史跡ガイドブック ・源平古戦場 35 景 義経讃岐を駆ける
	高松市牟礼町				
	引田の町並み	歴史的町並み「風の港」は、引田の氏神である菅田八幡宮から本町通り沿いにかけて残り、大きな商家や赤壁の醤油醸造所、入り組んだ路地など閑静な通りである。旧庄屋の「日下家」、醤油業の「岡田屋」(かめびし)、酒醤油業の「佐野家」(旧井筒屋)の家屋敷が軒を並べている。「かめびし」は登録有形文化財(建造物)に登録されている。	引田歴史的町並風の港	讃州井筒屋敷	・観光パンフレット
	東かがわ市引田				
	四国遍路文化	四国における「いやし」の文化は「四国八十八ヶ所」を巡礼するお遍路さんとそれを受け入れる「お接待」によって支えられてきた地域の人々の両者をつなぐ遍路道が雄大な四国の大自然の中で一体となり、長い時間をかけて醸成されたものである。四国遍路の由来を考えると最も重要な存在が空海である。	讃岐いやしのさとづくり	讃岐いやしのさとづくり懇談会	
	県内全域		いやしの国	いやしの国四国交流推進協議会	
	高松城	豊臣秀吉の家臣であった生駒親正が天正16年(1588)に築いたもの。城の北側が海に面し、海水を引き入れた三重の堀をもつなど、城造りに海を取り入れた全国でも例の少ない海城で、生駒家4代と松平家11代が讃岐を治めた城である。北之丸月見櫓、水手御門、渡櫓、旧東之丸良櫓は重要文化財に、高松城跡は史跡に指定されている。披雲閣は大正年間建てられた木造和風建築。松平家の別邸。江戸時代の御殿の名を引き継ぐ。市指定有形文化財。	玉藻公園	高松市	・観光パンフレット
	高松市				
	仏生山	高松松平家の菩提寺である法然寺を中心とする仏生山町は古い町並みを残している。三仏堂に安置された全長4mの木造の涅槃[ねはん]像は「讃岐の寝釈迦」として有名。	高松秋のまつり	高松秋のまつり大名行列推進委員会	
	高松市仏生山町				
	栗林公園	讃岐高松藩生駒家により、南湖一帯が築かれ、その後入封した松平家の歴代藩主により、5代百年余りの歳月をかけて修築が重ねられ完成されたもので、江戸時代初期の回遊式大名庭園の典型的地割り、石組みを持つ純日本式庭園として「特別名勝」として指定されている。	栗林公園	香川県	・観光パンフレット
	高松市				
	醬の郷(ひしおのさと)	醬(ひしお)とは塩を加えて発酵させた塩蔵品の総称のことで米や豆を発酵させた「穀醬」が醤油の原型といわれている。明治時代に建てられた醤油・佃煮工場・もろみ蔵が軒を連ね、今も現役で活躍している。登録有形文化財(建造物)が60件以上ある。	醬の郷(ひしおのさと)	小豆島うちのみ商工会	
	小豆郡内海町				

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	旧善通寺偕行社 善通寺市	重要文化財である旧善通寺偕行社(旧陸軍第11師団の相互扶助を目的とした団体の建物)は明治36年建設の洋風建築です。重要文化財を利用しながら保存し、未来へ引き継いでいくため、平成16年度から18年度の予定で改修している。改修後は様々なイベントで利用されることになっている。	重要文化財旧善通寺偕行社保存整備事業	善通寺市教育委員会	
香川県	栗林公園 高松市	国の特別名勝に指定されている庭園の中で最大の広さをもつ栗林公園は、歴代藩主が江戸時代初期から約百年をかけて完成させたお庭の国宝ともいべき文化遺産であり県民の至宝である。屈指のいやし空間でもあり、特に歴代藩主が大茶屋と呼ばれるで愛用した「掬月亭」で、抹茶をいただきながらのひとときは、まさに殿様気分を味わえる。「掬月亭」は、千利休の曾孫にあたる千宗守が高松藩初代藩主松平頼重の茶道頭として仕え、武者小路千家(官休庵)を創始した場所でも有名であり、数奇屋建築の視点からみても菱形格子や和紙貼り天井などの意匠は、数奇屋建築の第一人者ともいわれている故村野藤吾氏からも絶賛されている。	観光パンフレット等 月釜	香川県 香川県、香川県観光協会、香川県茶道協会	
	空海 善通寺市、満濃町	空海は、日本における真言宗の開祖であり、書の大家でもあった。また、土木・建築・鉱業・自然科学・医療とさまざまな分野で才能を発揮し、日本一の灌漑用ため池「満濃池」の復旧工事を完成させた。善通寺は、空海の誕生の地であり、平成18年には善通寺創建1200年目を迎える。	観光パンフレット等 善通寺創建1200年記念事業	善通寺市、満濃町 創建1200年協力プロジェクト推進委員会	
	源平屋島合戦の跡 高松市	源平屋島合戦は、一の谷の戦いに敗れ屋島に陣を張った平氏を源氏が再び破った合戦で、那須の与一と扇の的の伝説や、義経の身代わりとなって亡くなった佐藤継信の墓などの史跡が残されており、全国から歴史ファンが訪れている。			
愛媛県	遍路文化に関する誇り 県下全域	四国で生まれ、長い歴史の中で培われてきた遍路文化は、世界的な文化遺産として価値のあるものとされているため。	歴史講座 遍路学事始め 遍路と巡礼の世界	愛媛県教育委員会(愛媛県総合科学博物館) 新居浜市(市民部市民活動推進課) NHK松山文化センター	・えひめ地域学の調査研究(12・13・14年度の3ヵ年) ・えひめ地域学の調査研究報告書(3ヵ年分各1冊)
	俳句づくり等に関する文化的誇り 県下全域(特に松山市)	松山市は正岡子規、高浜虚子など多くの俳人を輩出、また、夏目漱石の代表作「坊っちゃん」や司馬遼太郎の「坂の上の雲」の舞台となった地としても全国に知られている。「坊っちゃん文学賞」は、このような文学的背景を持つ松山市が新しい青春文学の創造を目指し、1989年の市政100周年を機に創設した文学賞である。また、県下全域において、俳句を通じた文化活動が盛んである。	松山市立子規記念博物館 特別講座 愛媛人物博物館	松山市教育委員会 松山市教育委員会(松山市立子規記念博物館) 愛媛県教育委員会(愛媛県生涯学習センター)	・坊っちゃん文学賞の創設 ・子規記念博物館で展示等
愛媛県	江戸・明治期に製蠶産業で栄えた町の様子を今に伝える町並 内子町八日市護国地区	町並保存は内子町の町づくりの発端になっているもので、それが注目されることで、その他の町づくり活動へ波及し、様々な取り組みが生まれ、充実してきている。	町並保存 木俣資料館上芳我邸 街なみ環境整備事業 ボランティアガイド 観月会	内子町、町並保存会 内子町 街づくり協議会 ボランティアガイドの会 内子町、町並保存会	・はぜ採り唄 ・はぜ採りおどり ・内子町伝統的建造物群調査報告書、ハゼノキルネッサンス ・パンフレット類
愛媛県	俳句のふるさととしての誇り 愛媛県	愛媛からは、近代俳句の創始者正岡子規をはじめ、近現代を代表する俳人を数多く輩出している。現在も、子規が確立した俳句の精神を継承し、多くの人たちが俳句に親しむなど、俳句は地域文化として根付いており、県人は「俳句のふるさと」、「俳句王国」としての誇りを有している。	正岡子規国際俳句賞 芝不器男俳句新人賞 俳句甲子園 子規記念博物館	愛媛県、(財)愛媛県文化振興財団 愛媛県、(財)愛媛県文化振興財団(社)松山青年会議所 松山市	・創作ダンス「のぼさんと踊ろう」 ・短編映画「のぼさんからのメッセージ」 ・受賞作の句集、「俳句甲子園」の本・案内パンフレット、HP
愛媛県	中世における「塩の荘園」としての誇り 上島町弓削(旧弓削町)	京都東寺の国宝百合文書に多くの古文書があることから多くの中世史研究家の研究対象。毎年多くの研究者、学生が訪れる。その頃の、地名、は今も各地域でそのまま使い、寺社が残っている。	弓削島塩の里構想	上島町産業振興課	・毎年大学の研究者来島
	秋祭り「道中奴」 上島町弓削(旧弓削町下弓削地区)	秋祭りに、参勤交代のものと言えられ、毎年中学生が衣裳を着用し、参道を行列を成して神社まで行く。	道中奴	下弓削区祭典委員会 会双部会	・道中奴
	雨乞い踊り(町無形文化財) 上島町弓削(旧弓削町)	室町時代のころから行われていたと伝えられる。もともと、念仏踊りから発し、虫送り、田植えを終えて梅雨明けから20日たっても雨が降らぬ時に、雨を司る竜王に雨乞いを祈って踊った。踊ると雨が降ると評判になり、一時イベントでは、遠慮されていた。	雨乞い踊り	雨乞い踊り保存会	・雨乞い踊り
	国重要文化財定光寺観音堂	島民から左甚五郎作の観音堂と伝えられ知られていたが、昭和51年文化庁による調査で、室町末期の作で軸部、軸廻りに当初の材がよく残されていることが高く評価され、昭和52年に重要文化財に指定された。毎年多くの観光客、研究者が訪れる。	定光寺観音堂	上島町教育委員会	・建築工法

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
愛知県	国重要文化財祥雲寺観音堂 上島町岩城(旧岩城村)	唐様(禅宗様)の繊細で細部装飾の美しい室町時代中期に建造物。昭和16年特別保護建造物(国宝)に指定され、戦後国重要文化財に指定。	祥雲寺観音堂	上島町	・建築工法
	篠塚伊賀守 上島町魚島	篠塚伊賀守は、南北朝時代の勇将で、当時戦いで敗れて魚島に落ち延びてきた。島には、その名残である篠塚という地名があり、漁港は篠塚漁港といい、「篠塚さん」を祭った公園もある。また、8月15日に砂浜で行われる「てんてこ踊り」は伊賀守が落ち延びた時に、再起を期して行った訓練の名残と言われている。	てんてこ踊り	魚島教育振興会	・てんてこ踊り
	吉田磯 上島町魚島	その昔、島津藩の御用船吉田丸が、將軍家への上納米を積んで江戸に向かう途中大時化にあって座礁した。船と共に沈んだ米を求めて次第に鯛の大群が集まり、吉田磯では、鯛の水揚げが急増した。海面に満ち溢れた鯛の上に筵を敷き、そこに座って酒盛りをしたという話も残っている。	吉田磯	上島町教育委員会	・伝説
	立石山 上島町生名	立石山(通称観音さん)は、小中学校の校歌にも織り込まれている。山頂には盤座(いわくら)といわれる祭祀遺跡があり、発掘調査も行われ、弥生時代の高地性遺跡といわれている。麓には、メンヒルと呼ばれる巨大な岩が立っており古くから信仰の対象とされてきた。	観音さん例大祭	上島町教育委員会	・地域に根ざした例大祭。近隣からも多くの参拝がある。
	奥平久兵衛 上島町生名	奥平久兵衛は、松山藩の家老で久万山騒動の責任を負って生名島に配流された。久万地方では、悪家老であるが、生名島では子供たちに文字を教えたりして、住民に「久兵衛さん」と呼ばれて広く親しまれている。学業が良く出来るようにとお墓には今も線香が絶えることがない。	奥平久兵衛	上島町教育委員会	・語り草
	日本最古の温泉 道後温泉郷	一羽の傷ついた白鷺が岩間にわく湯で傷を癒し、飛び立ったという白鷺伝説や、美しい風景や優れた泉質は、「万葉集」や「源氏物語」などでたたえられました。江戸期には小林一茶が、明治は小説「坊っちゃん」の舞台にもなりました。そんな名湯の伝統を今に伝えるのが、明治生まれの道後温泉本館です。	道後温泉村まつり 放生園 にきたつの道日曜市 街角案内人	道後温泉村まつり実行委員会 松山市 にきたつの道日曜市実行委員会 松山市	・坊っちゃん ・千と千尋の神隠し
	今治地方春祭り(継ぎ獅子) 今治市	継ぎ獅子は今治地方の祭りで披露される獅子舞であるが、他では見られない独特の形式をとり、人の上に人が立ち2段3段と組まれていく。一番上に立つ子供を獅子子というが、成長して大人になり獅子の下段に立ち、またその子供が獅子子に挑戦するという形で地域の伝統として継承されている。	今治地区の継ぎ獅子の振興 継ぎ獅子の顕彰・保存 市民のまつり「おんまく」	今治地区獅子舞保存会 今治市内各地区の獅子舞保存会 今治市民のまつり振興会	・パンフレット「今治の旅」
	瀬戸内海で活躍した村上水軍の歴史・文化 今治市ほかしまなみ海道沿線	村上水軍博物館の開設や宮窪瀬戸潮流体験の取り組みによって、この地で培われた村上水軍の歴史をいかに体験してもらうことで多くの来訪者がある。こういった背景から地域住民にとっても来訪者との交流等を通じて「ほこり」(ブランド)意識が高揚している。	能島を中心とした地域活性化 来島の顕彰・保存 宮窪瀬戸潮流体験 水軍レース大会 今治地方の歴史文化の継承活動 村上水軍博物館 パンフレット(水軍探訪の旅) 水軍の守り神とされた大山祇神社	NPO法人能島の里を 発展させる会 来島保存顕彰会 宮窪水産研究会 水軍レース実行委員会 今治史談会 今治市教育委員会 瀬戸内中央・水軍観光ルート協議会 大山祇神社	・能島・来島の調査研究 ・今治の歴史、海賊の島、水軍探訪の旅
	大本神社(伊予神楽) 内深田	伊予神楽は、別名「男子四国神楽」と称し、四国神楽の宗源をなすものとして、今日に伝えられている。昭和56年に国の重要無形民俗文化財に指定されている。	伝承	大本神社	・伊予神楽 ・観光パンフレット
	善光寺薬師堂 小松	室町期の禅宗建築様式の特徴を備えた建築である。瀬戸内地方の遺構としては、貴重な物件である。昭和52年に国の重要文化財に指定されている。	維持管理	善光寺	・観光パンフレット
	武左衛門一揆 下鍵山	寛政5年(1793年)、吉田伊達藩で起きた百姓一揆の指導者である。飢饉と圧政によって農民の生活が窮乏を極めたため、憤怒し、意を決して浄瑠璃語りを身をやつしながら、3年がかりで領内の村を回って同士を募りました。一揆の背景や顛末、群像などを展示した記念館がある。	記念館維持管理	鬼北町	・観光パンフレット ・記念館
	大野作太郎 下鍵山	教育、政治、産業など様々な分野での業績に加え、世界的に有名な化石「アナシピリテスオノイ」を発見した。化石収集の足取りを紹介した地質館が整備されている。	地質館維持管理	鬼北町	・観光パンフレット ・地質館
	岩谷遺跡 岩谷	縄文時代の配石遺跡が残っている。出土品が近くの泉公民館に展示されている。昭和57年に県の記念物に指定されている。	維持管理	鬼北町	・観光パンフレット ・展示
	清水五ツ鹿踊り 清水	昭和40年に県の無形民俗文化財に指定されている。	伝承	清水地区住民	・清水五ツ鹿踊り ・観光パンフレット
	鬼北文楽 泉地区	人形の頭が、県の有形民俗文化財に指定されている。	伝承 人形頭の維持管理	泉地区住民 鬼北町	・鬼北文楽 ・観光パンフレット
	旧等妙寺跡 中野川	日本四箇戒場の一つ	維持管理	鬼北町	・発掘・調査 ・観光パンフレット

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
愛媛県	土居三島神社の御田植祭り	奥伊予の奇祭「どろんこ祭り」として知られる土居三島神社の御田植祭りは、田植えが終わった喜びを神に感謝し、五穀豊穡・無病息災を祈る素朴でユーモラスな伝統行事である。明治14・15年頃から土居地区の有志によって始められ、100年以上も継承されている。行事は牛の代掻きに始まり田植えの順序を表現したもので、小学生から成人、高齢者まで地区全体で伝統行事を守っている。県指定無形民俗文化財に指定。	どろんこ祭り	どろんこ祭り実行委員会		
	西予市(旧城川町土居地区)		御田植祭り実行委員会	御田植祭り実行委員会(土居地区)		西予市(旧城川町)
			どろんこ祭り保存館	どろんこ祭り保存館		西予市(旧城川町)
			どろんこ祭りパンフレット作成	どろんこ祭りパンフレット作成		土居小学校
			祭り行事への参加	祭り行事への参加		愛媛県
	朝日文楽	「朝日文楽」の名称は県下に高まり、海外を含む各地からの招待に応じて出張公演を行っている。また、朝日文楽の保存・伝承のための拠点として、朝日文楽会館が建設された。現在では、地元有志及び三瓶高校文楽部は郷土の古典芸能を継承しようと活動している。	朝日文楽	朝日文楽会	・朝日文楽資料館	
	西予市三瓶町朝立		朝日文楽部	三瓶高校		
	野村乙亥大相撲	野村町は江戸時代の嘉永5年に大火災に見舞われ、二度とこのような火災が起こらないようにと、愛宕神社を祀り以後100年にわたり旧暦の10月の乙亥の日を選んで33結びの火鎮祈願相撲を奉納する事を誓って始まり、この相撲を「乙亥相撲」と呼ぶようになり、現在も地方祭として地域に定着し受け継がれているため。	野村乙亥大相撲	西予市観光協会野村支部	・CD乙亥大相撲相撲甚句「まったりふるさと伊予野村」 ・乙亥太鼓	
	西予市野村町					
	河童の恩返し伝説	伝説：昔、悪さをしていた河童を殿様がこらしめて、その河童が毎朝殿様の屋敷に鯛を運んだ。 関連施設：若宮神社(河童の狛犬)	かっぱMATURI	かっぱMATURI実行委員会	・明浜こぼれ話 ・西予市内の中学生を対象にした「かっぱの姿絵コンテスト」の開催	
西予市明浜町高山						
鯨様	伝説：天保の大飢饉に、浜に大鯨が打ち上がり大勢の人が飢えを凌いだことから、鯨に感謝し鯨塚を建立した。 関連施設：鯨塚(3基)					
西予市明浜町(俵津地区・高山地区・宮野浦地区)						
近代化産業遺産の町としての誇り	別子銅山は、江戸、明治、大正、昭和にわたり283年間、住友という一企業体により銅が掘られた。別子銅山の歴史は、日本の近代化の歴史の縮図であり、採掘・選鉱・運搬・製錬にたずさわった先人の足跡を今に伝える産業遺産の数は多量であり、その種類は多彩である。別子銅山の遺産群はまち中を「生きた博物館」にしている。別子山の山中から生まれた遺伝子は「モノづくりのまち」として今も生きている。	文化財としての登録	新居浜市、新居浜市教育委員会	・歓喜の鉱山 ・未来への鉱脈 ・別子銅山と近代化産業遺産 ・広瀬幸平小伝 ・森になった街 ・遠岡 ・蘇る広瀬幸平銅像 ・新居浜市近代化産業遺産・銅の道 ・旧広瀬邸建造物調査報告書 ・別子銅山産業遺産活用モデル基本計画策定調査報告書		
新居浜市内全域		シンポジウムの開催	新居浜市			
		産業遺産の写真展	新居浜市			
		産業遺産の説明板の設置	新居浜市			
		産業遺産の文化財での落語会開催	表現の時間実行委員会			
		別子銅山に関する職員の特別研修	新居浜市			
		産業遺産のデータベース化	新居浜市			
わが国近代産業発祥の地としての誇り	別子銅山の開発、旧広瀬家住宅(国重文)、口屋跡(県史跡)、大鉛の歌奉納行事など	広瀬歴史記念館事業	新居浜市教育委員会	・古写真などの歴史資料 ・博物館としての調査研究 ・企画展目録等		
新居浜市		旧住友鉄道跡整備事業	新居浜市			
塩田の歴史	多喜浜塩田の開発、ソテツ(県天然記念物)、久貫屋敷(市史跡)、塩田用具(未指定)など	塩田学習講座	新居浜市	・塩田史の研究、資料調査 ・資料の頒布		
新居浜市(多喜浜・垣生地区)		ミニ塩田	多喜浜小学校ほか			
古い町並みが残る島	とんどおくり(市無形民俗文化財)、水軍関連遺構(未指定)、念仏踊り(未指定)、町並み(未指定)など	とんどおくり	大島公民館ほか			
新居浜市(大島地区)						
たぬきによるまちおこし	子女郎たぬきの伝説、子女郎たぬき踊りなど	ラブ金子ふるさと祭り	子女郎たぬき踊り保存会	・子女郎たぬき踊り ・たぬきに関する資料		
新居浜市(金子地区)		子女郎たぬき踊り				
外泊石垣の里	夏の台風や冬の季節風などの激しい風から、命や財産を守るため、何代にも渡りこの地区の住民がひとつひとつ積みあげてきたこの風景(石垣の里)	景観の保全	愛南町、石垣を守る会	・伝統的建造物群保存調査 ・外泊石垣の里パンフレット		
愛南町外泊		外泊石垣の里パンフレット	愛南町			
		石垣復元体験ツアー	愛南町、石垣を守る会			
砥部の里めぐり陶街道五十三次	国道33号から379号沿いに点在する自然・歴史・文化・砥部焼に関わる53のポイントを自由に回るスタンプラリーで、平成17年1月1日からの開始であるが、ポイントを回ることで、地域にある名所や旧跡、砥部焼の歴史を深く知ることができる。また、ポイントを拠点とした、地域のボランティアやNPO団体による「お休み茶屋(お接待)」やイベントなどの活動も広がってきている。	陶街道五十三次街道ポイント整備	砥部町	・各ポイントの説明ガイドブック(しらす帖)・携帯メールでの情報発信		
砥部町全域		陶街道五十三次街道しらす帖	砥部町、NPO法人とべ・TOBE、(株)えひめりびんぐ新聞社			
		おやすみ茶屋	道の駅ひろた「峡の館」、NPO法人とべ・TOBE、地域住民グループ			

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	中江藤樹(邸跡)	中江藤樹先生は、江戸初期の儒学者で、わが国最初の陽明学者である。後世長しに聖人と仰がれる藤樹先生の遺徳は、大洲地方風教の基として醇風美俗を伝え、邸社校に学ぶ学徒はもとより、多くの学徒の胸裡に無限の薫化を与えている。	文化祭・藤樹祭	大洲祭り実行委員会・教育機関	
	愛媛県立大洲高等学校内		小学生交流事業	大洲祭り実行委員会・教育機関	
			講演会	大洲祭り実行委員会・教育機関	
			児童生徒絵画展・習字展	大洲祭り実行委員会・教育機関	
			藤樹祭り記念式典	大洲祭り実行委員会・教育機関	
			小学生鼓笛パレード	大洲祭り実行委員会・教育機関	
高知県	土佐備長炭の生産地、水切り瓦とイシグロの町並み	高知県東部室戸市吉良川町は旧国道沿いに開けた町並み。国重要伝統的建造物群保存地区。室戸岬に近く、台風が常襲する過酷な気候風土。近代期に備長炭の製炭とその移出に伴う廻船で繁栄し、土佐漆喰と多段の水切り瓦の重厚な商家や民家が旧道の両側に並び伝統的な町並みを形成している。集落山側の地区には藩政期の地割りを持つ民家が点在し台風などの強風に備えたイシグロと呼ばれる防風石垣が巡る個性的な景観である。	町並み保存活動	吉良川町並み保存会・室戸市	・伝統的建造物群保存対策調査報告書 吉良川の町並み ・HP
高知県室戸市吉良川町	春のひな祭り・端午の節句	吉良川町並み保存会・室戸市			
	吉良川八幡宮の御田祭と秋の神祭	吉良川八幡宮には2つの祭がある。隔年5月の御田祭と毎年秋に行われる神祭である。御田祭は国重要無形民俗文化財指定の五穀豊稔を祈る祭典で、その歴史を鎌倉初期に遡る。拜殿で奉納される舞楽は鎌倉時代の田楽や猿楽を今に伝えるもの。秋の神祭は提灯で飾られた4つの花台や舟が繰り出し地区を練る。夜に花台が八幡宮の境内で順に回転、乱舞する。男子は15歳になると男衆の仲間入りをし、近年は町外に住む者も多いが祭には必ず帰省し参加する。地域の厚い信仰心と連帯により維持されている勇壮な祭。	御田祭	町内氏子・自治会	・舞楽「殿と冠者」から「地堅め」までの演目・花台練り
室戸市吉良川町	安芸の神祭	町内氏子・自治会			
	古い町並みを活かした町づくり	奈半利町は黒潮鉄道「ごめん・なはり線」の終着駅で、土佐日記の「奈半の泊」として知られる。古くよりの陸路・海路の要所で、背後に魚梁瀬美林などの木材の産出地があり、近代期にその集積地及び移出港として栄えた。また近代期に当地で興った樟脳生産・捕鯨・運輸などの産業は現在の町並の繁栄の基礎となり、町並みには有形登録文化財指定の建造物が点在する。古い町並みを保存し地域の活性に生かそうと発足した「なはり浦の会」では指定物件を年々増やし、近年は奈半利港で発見されたさんご礁も町の活性に一役買っている。	有形登録文化財登録	なはり浦の会	・奈半利の町並み調査報告書 ・HP
高知県安芸郡奈半利町	奈半利町道の駅	奈半利町他			
	古い町並みを活かした町づくり	田野町には藩政期に藩主のための本陣として当地の豪商岡家が立てた岡御殿がある。田野は藩政期に山内氏と共に土佐に入国したといわれる岡家を初め田野7人衆と呼ばれる商人達を中心に木材などの廻船で栄えた町である。岡御殿は高知県東部では最高の格式をもった書院造りの建物で、天保15(1844)年に建築、藩主が参勤交代や東部巡視の時に本陣(宿舎、休憩所)として使用された。敷地内には御殿・茶の間・土蔵・御成門などの建物が保存復元され藩政末期の岡御殿の雰囲気も伝えている。	岡御殿の活用	田野町づくり衆	・パンフレット・HP
高知県安芸郡田野町					
	童謡の里と焼物・武家屋敷群	安芸市土居は中世から安芸氏、藩政期に山内氏家老五藤氏の邸中であった。藩政期に一國一城の制から城は取り壊されたが、土居邸中の形態はそのまま現代に引き継がれ、篠竹の生垣や築地塀の野村家住宅(国有有形登録文化財)他の武家屋敷群が現在も往時を偲ばせ、近隣には明治期に造られた野良時計・蒙農森澤家住宅(いずれも国登録有形文化財)が穏やかな佇まいを見せている。また安芸市は「春よ来い」「叱られて」などの童謡で知られる作曲家弘田龍太郎が生まれた町でもあり、内原野焼で知られる町でもある。	国登録有形文化財登録	安芸市歴史民俗資料館	・HP
高知県安芸市					
	池川神楽	出雲神楽が伊予に渡り、伊予神楽となり、更に池川に伝わり池川神楽として今日に至るとされる。詞章も記紀の神話により脚色され、衣装も華麗で雅楽の鳥兜を着用し、近代的に演出される優雅な神楽。国無形民俗文化財。土居川沿いの集落の秋祭りに奉納されていたが、現在定期的に奉納されるのは池川神社で11月23日のみ。舞台天井に神宿りに相当する飾り物はないが、四方に見事な切り抜き紙が張り巡らされる。託宣の翁神を思わせる黒翁面の児動の舞は注目。土佐の神楽では優雅な趣。池川の社職阿部家を中心に継承されてきたもの。	池川神楽	地域住民	・HP
仁淀川町(旧池川町)池川神社					
福岡県	神楽が伝承される地としての誇り	地域全域に神楽が分布、継承されていることを地域住民が認知しており、地元市町が連携して、神楽をシンボルとした地域の活性化に取り組んでいる。	30の神楽	各神楽講	・地域内30の神楽講 ・神楽紹介・特産品紹介パンフレット、HP
	京築地域内10市町		神楽の里フェスティバル	神楽の里づくり推進協議会	
			神楽紹介、特産品紹介パンフレット	神楽の里づくり推進協議会	
			筑前いづか羅のまつり	飯塚市	
			全国座長大会	特定非営利活動法人嘉穂劇場	
			嘉穂劇場第九公演	特定非営利活動法人嘉穂劇場	
嘉穂劇場を活用した地域文化の形成		嘉穂劇場復旧工事	特定非営利活動法人嘉穂劇場		
飯塚市		劇場キャンプ	特定非営利活動法人嘉穂劇場		
		e-ZUKA トライバレー	飯塚市		
		産学官交流研究会			

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ			
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体				
	対象地域							
佐賀県	弥生時代の北部九州の拠点集落 神埼郡神埼町・三田川町・東脊振村	吉野ヶ里遺跡は、昭和61年5月からの神埼工業団地造成計画に伴う文化財発掘調査によって発見された遺跡である。全国最大規模の弥生時代の環壕集落跡、巨大墳丘墓、大規模な甕棺墓地等の発掘があり、特に平成元年2月下旬には、今から1800年前の弥生時代後期の環壕集落のありさまが、「魏志倭人伝」に記す邪馬台国の姿を眼前に彷彿とさせるということによって全国の注目を集め、その結果、異例とも言える早さで、平成2年5月に国の史跡、平成3年5月には特別史跡の指定を受けた。	平成元年遺跡保存決定	佐賀県	・吉野ヶ里を題材とした、ドキュメンタリー番組、遺跡紹介ビデオ等 ・吉野ヶ里を題材とした漫画・絵本等が刊行された ・発掘調査報告書・概報・単行本 ・パンフレット・HP・単行本等多数 ・吉野ヶ里関連グッズ			
			平成2年5月国の史跡指定	佐賀県教育委員会				
			平成3年5月国の特別史跡	佐賀県教育委員会				
			平成13年4月国営・県営吉野ヶ里歴史公園	佐賀県、国土交通省国営吉野ヶ里歴史公園事務所				
			吉野ヶ里探検隊	佐賀県教育委員会				
			吉野ヶ里考古学講座	佐賀県教育委員会				
			遺跡情報誌『となりの卑弥呼』刊行	佐賀県教育委員会				
			吉野ヶ里基金シンポジウム等	吉野ヶ里基金				
			大陸文化との交流窓口	佐賀県は、その地理的位置から大陸、朝鮮半島と我が国との交流の窓口となってきた。その中には、我が国に最も早い段階で稲作が渡来した粟畑遺跡、大陸から移入された豊富な出土品や伝世品、伝えられた技術によりいち早く国産品生産を行った安永田等の遺跡、文祿・慶長の役という不幸な交流の歴史を物語る名護屋城跡並びに陣跡など、多くの遺跡・文物があり、大陸文化との交流の痕跡を留めている。そしてそれを生かした新たな交流事業が進められている。		関連遺跡の指定	佐賀県教育委員会、市町村	・発掘調査報告書・概報・図録等 ・パンフレット・HP等
			全県下	佐賀県立名護屋城博物館		佐賀県		
唐津市末盧館	唐津市							
唐津市古代の森会館	唐津市							
唐津市出土文化財センター西の門館	唐津市							
吉野ヶ里遺跡展示室	佐賀県教育委員会							
玄海町歴史民俗資料館	玄海町							
県市町村教育委員会、上記各館による刊行物、催し等	県・市町村、県・市町村教育委員会							
肥前国風土記とその世界	全国で作られた風土記のうち、その全容が分かる五風土記の一つに「肥前国風土記」がある。この風土記に記された古代の遺跡が今もよく残されている。その主なものとして、基肆城跡、肥前国庁跡（肥前国府）、肥前国分寺、寺浦廃寺、大願寺廃寺等のほか、埴土壘跡、神籠石など古代の遺跡も多数存在する。	史跡や重要文化財等の指定		佐賀県教育委員会、市町	・発掘調査報告書 ・パンフレット・HP等			
全県下	基肆城跡の整備（計画）	基山町						
	肥前国庁跡の整備	大和町						
	埴土壘跡の整備	上峰町						
	おツボ山神籠石整備（計画）	武雄市						
	佐賀県立博物館	佐賀県						
	五州二島の太守龍造寺隆信	鎌倉期、佐賀平野には多くの土着が台頭したが、その中から勢力を伸ばした龍造寺氏は、大友氏と対立していたが、元龜元年の今山合戦で大友氏を退けると、肥前地方全域を手中に治め、天正6年有馬氏を帰属させ、島津・大友とともに、九州を三分する勢力となった。佐賀南部には、この時代の姿を伝える城跡などが残されている。	城跡や関連文物の指定	佐賀県教育委員会、市町		・調査報告書 ・パンフレット・HP等		
	佐賀県南部を中心とする地区	勝尾城下町の調査・整備（計画）	鳥橋市					
		姉川城跡等の調査・整備	神埼町					
		中近世城館跡緊急分布調査	佐賀県教育委員会					
		佐賀県の中近世城館	佐賀県教育委員会					
佐賀県立博物館		佐賀県						
松浦地方諸氏の祖松浦党		嵯峨源氏に系譜を持つ松浦源氏がこの地方に勢力を持ち、元寇の際は松浦党が活躍したと伝えられる。南北朝以降は波多氏を棟梁として、岸岳城を居城として活躍した。波多氏最後の城主波多親は秀吉により処罰され、松浦党の歴史は終わる。この地方には関連した城跡や石造物、伝承などがよく残る。	城跡等の指定	佐賀県教育委員会、市町	・調査報告書 ・郷土研究誌、パンフレット・HP等			
唐津市・伊万里市・東松浦郡・西松浦郡		岸岳城跡の調査・整備	唐津市					
		獅子城跡の調査・整備	唐津市					
		中近世城館跡緊急分布調査	佐賀県教育委員会					
		佐賀県立博物館	佐賀県					
	「松浦党研究連合会」の活動	松浦党研究連合会						
	「松浦史談会」の活動	松浦史談会						
	「伊万里市郷土研究会」の活動	伊万里市郷土研究会						
	文祿・慶長の役と名護屋城	豊臣秀吉（太閤）による朝鮮侵略の兵站基地が東松浦郡の上場地方を中心とする地区に設けられ、名護屋城を中心に日本各地から参集した大名の陣跡が分布し、特別史跡に指定されている。この戦争により朝鮮半島からもたらされた焼き物など高度な技術は、我が国に大きな影響をもたらした。	名護屋城跡並びに陣跡の特別史跡指定	佐賀県教育委員会、唐津市・玄海町		・調査報告書 ・パンフレット・HP等		
	唐津市・玄海町	佐賀県立名護屋城博物館	佐賀県					
		陣跡確認調査	唐津市、名護屋城博物館					
「名護屋城跡並びに陣跡」保存整備事業		名護屋城博物館						
日韓少年文化交流事業		佐賀県教育委員会						
名護屋城博物館「出前講座」		名護屋城博物館						
なごや歴史講座		名護屋城博物館						
史跡探訪会		名護屋城博物館						

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	葉隠のさと	龍造寺隆信が島原の乱で戦死した後、龍造寺氏を支えた鍋島氏が、江戸時代に入り佐賀藩主となった。鍋島氏は、龍造寺氏の村中城を広げ佐賀城を築いた。この佐賀城は江戸時代を通じて、佐賀藩 36 万石の政治の中心地となった。佐賀藩士山本常朝の談話をまとめた武士道書『葉隠』は、佐賀を表すキーワードとして様々なところで使われている。	葉隠関係遺跡の保護	佐賀県教育委員会・佐賀市	・調査報告書 ・郷土研究誌、パンフレット・HP 等
	佐賀市及びその周辺		佐賀県立佐賀城本丸歴史館 佐賀県立博物館 徴古館 「葉隠研究会」活動 「多久市郷土研究会」の活動 「小城郷土史研究会」の活動 「鹿島史談会」の活動	佐賀県 (財)鍋島報効会 葉隠研究会 多久市郷土研究会 小城郷土史研究会 鹿島史談会	
	全国的ブランド肥前陶磁器	安土・桃山時代から江戸時代にかけて肥前地方では陶器や磁器が作られ、その製品は日本国内だけでなく、世界にも輸出された。一般に陶器を唐津焼、磁器を伊万里焼・有田焼と呼んでいる。これら焼き物の生産地は、現在にも引き継がれている。	陶磁器焼成窯跡、製作技法の保存	佐賀県教育委員会・市町村	・調査報告書等 ・パンフレット・HP 等
	県西部を中心とする地域		佐賀県立九州陶磁文化館 有田陶磁美術館 今右衛門古陶磁美術館 有田ポーセリンパーク 伊万里市陶器商家資料館 伊万里・鍋島ギャラリー 有田町歴史民俗資料館・有田焼参考館	佐賀県 有田町 (財)今右衛門古陶磁美術館 VOC 伊万里市 伊万里市 有田町	
	日本近代化の礎を築いた幕末・維新期の佐賀	幕末佐賀藩は、早くから西洋文化に目を向け、教育改革を行った優れた人材を輩出すると共に、日本初の反射炉を築き西洋式の大砲を鑄造したり、蒸気船を造るなど、様々な西洋文化を移入・実践した。佐賀藩で育った人物は明治政府の中心人物となり、佐賀七賢人などと称される。	関連遺跡の保存	佐賀県教育委員会・市町	・調査研究書 ・図録、パンフレット・HP 等
	佐賀市を中心とする全県下		佐賀県立佐賀城本丸歴史館 佐賀県立博物館 大隈記念館 多久市郷土資料館 武雄市歴史資料館 小城市歴史民俗資料館 佐野常民記念館	佐賀県 佐賀県 大隈記念館 多久市 武雄市 小城市 川副町	
	唐津市民の誇り唐津曳山	唐津神社神祭の御神幸にお供する曳山は、現在 14 台が保存される。現在は 11 月 3 日を中心とした日に催され、多くの人出がある。	曳山行事及び曳山の保護	佐賀県教育委員会・唐津市	・HP 等
	唐津市		唐津曳山展示場	唐津市	
	対馬藩田代領に発達した文化	この地方は、慶長 2 年幕府領となり、同 4 年所領交換により対馬藩領となった。朝鮮との貿易を背景とした文化が栄え、特に田代売薬や江戸後期の権蔵培は有名である。	「田代の売薬習俗」の記録作成等の措置を講ずべきものへの選択	鳥栖市	・郷土研究誌等
	鳥栖市・基山町		中富記念くすり博物館 「鳥栖郷土研究会」の活動	中富記念くすり博物館 鳥栖郷土研究会	
	石炭産業	18 世紀中頃唐津炭田が発見されて以後、石炭は佐賀県の発展と切っても切り離せないものとなった。幕末佐賀藩の経済的基盤にもなり、又近代以後、鉄道や道路、住宅や社会施設など、石炭産業に伴って整備されたインフラも多い。その経営主が作った住宅や庭園等の文化財は、近代佐賀の文化を物語る優れたものである。	関係文化財の指定等	佐賀県教育委員会・市町村	・パンフレット等
	佐賀北西部		佐賀県立博物館 多久市歴史民俗資料館 伊万里市歴史民俗資料館 江北町郷土資料館 唐津市相知町歴史民俗資料館 唐津市歴史民俗資料館 「佐賀県の近代化遺産」調査	佐賀県 多久市 伊万里市 江北町 唐津市 唐津市 佐賀県教育委員会	
	浮立などの民俗芸能	県内には、数多くの民俗芸能が伝承されている。特に肥前浮立は種類も多く各地で多彩な芸能が伝承されている。また、浮立の他に、田楽系、御田舞系、獅子舞系、狂言・歌舞伎系、盆踊り・盆口説き系など、各地で特徴ある民俗芸能が伝承されている。	重要な民俗芸能等の調査・指定	佐賀県教育委員会・市町村	・各地で行われている民俗芸能 ・調査報告書 ・パンフレット・HP 等
	佐賀平野一帯		佐賀県立博物館 佐賀市歴史民俗館 多久市歴史民俗資料館 伊万里市歴史民俗資料館 鹿島市民俗資料館 浮立の里展示館 みやき町の館	佐賀県 佐賀市 多久市 伊万里市 鹿島市 富士町 みやき町	
佐賀県	歴史上の人物（佐賀の七賢人）	佐賀の七賢人（鍋島直正・江藤新平・大木喬任・大隈重信・副島種臣・島義勇・佐野常民）は、幕末から明治維新にかけて中心的な役割を果たしたため。	大隈重信旧宅・大隈記念館	佐賀市	・施設の紹介パンフレット、HP
	佐賀市（佐賀藩）		佐賀県立佐賀城本丸歴史館 佐野常民記念館 江藤新平銅像祭り	佐賀県 川副町 (社)佐賀観光協会	

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
東京都	やきものの地としての誇り	清楚で気品に満ちた磁器や、素朴なぬくもりに溢れた陶器。歴史と伝統に育まれた佐賀のやきものがこの地に勢揃いし、陶器市には全国からやきものファンが集まり、やきものの地として周知されているため。	有田陶器市 秘窯の里大川内山	有田町、有田商工会議所 伊万里市、伊万里鍋島焼協同組合	・施設の紹介パンフレット、HP
	伊万里市、有田町		佐賀県立九州陶磁文化館 鍋島藩窯秋まつり	佐賀県 藩窯秋まつり実行委員会	
	伝説（黒髪山の大蛇退治、佐用姫伝説） 有田町、山内町、唐津市	黒髪山に住んでいた大蛇を、弓の名手として名高い鎮西八郎為朝が退治したという物語、悲恋物語（佐用姫伝説）	有田蛇踊り 黒髪神社例大祭（流鍋馬奉納）	有田蛇踊り保存会 黒髪神社	・万葉集 ・有田館では、陶磁器製からくり人形が、歌舞伎調で大蛇退治伝説を演じる
	伝説（水堂さん：無病息災・家内安全） 白石町	水堂安福寺は、通称「水堂さん（みつとさん）」と呼ばれ、霊水堂から湧き出てくる霊水を求めて、奈良時代より引き継がれている。霊水の功徳は平安時代に高倉天皇のご病気を平癒させた伝説や、豊作祈願・病氣平癒の祈願の霊水として有名。	水堂出水法要 HP でイベントの紹介	安福寺 白石町商工会	・高倉天皇に水堂さんの水を捧げた平重盛の塔
	伝統芸能	国・県の重要無形民俗文化財に指定される等、各地で受け継がれてきている伝統芸能は認知度が高い。	かしま伝承芸能フェスティバル 武雄の荒踊り 白鬚神社の田楽 広瀬浮立	かしま伝承芸能フェスティバル実行委員会 武雄市 白鬚神社 広瀬浮立保存会	・伝承芸能フェスティバル、武雄の荒踊り、白鬚神社の田楽等
	鹿島市、武雄市、佐賀市（久保泉町）、唐津市（飯木町）				
長崎県	弥生時代の大集落跡で、中国の文献「魏志倭人伝」に記述がある「一支国」の中心遺跡としてのプライド 「舌岐市(国特別史跡「原の辻遺跡」)	舌岐・原の辻遺跡は、平成12年に国の特別史跡に指定された、弥生時代の大規模な多重環濠集落跡であり、「魏志倭人伝」に記載された「一支国」の王都であることが特定され、国の中心が明らかになったのは、日本で原の辻遺跡が初めてである。現在舌岐市において原の辻遺跡の復元整備事業を実施しているところである。	原の辻 大学講座 「Dr.ハルの原の辻をもっと知ろう塾」 原の辻遺跡復元整備事業 原の辻遺跡パンフレット	長崎県教育委員会、原の辻遺跡保存等協議会 舌岐市 長崎県教育委員会	・原の辻遺跡調査研究（発掘調査） ・原の辻遺跡パンフレット、原の辻遺跡を紹介するHP
	朝鮮半島との結びつきが強い、数多くの歴史文化遺産や自然が良く残っている島としてのプライド 対馬市(国指定史跡「金石城跡」・「清水山城跡」・「対馬藩主宗家墓所」、国特別史跡「金田城跡」)	対馬市厳原町には、対馬藩主宗家にゆかりのある文化財が良く残っており、8月第1土・日曜日に行われるアリラン祭りは、地元の有志や韓国からの参加者が当時の衣装を身につけ、朝鮮通信使の行列を再現したもので、対馬は朝鮮半島とのつながりが深く、独特の文化が継承されている。	史跡の保存整備事業 アリラン祭り 古文書読み方講座	対馬市 厳原港まつり対馬アリラン祭り振興会 長崎県立対馬歴史民俗資料館	・史跡の調査研究（発掘調査） ・調査報告書、史跡等を紹介するHP
	出島以前のわが国唯一のオランダ貿易港であった異国情緒豊かな街としてのプライド 平戸市(国指定史跡「平戸和蘭商館跡」)	「平戸和蘭商館跡」は、わが国の歴史上、鎖国以前の国際貿易の拠点という重要な史跡であり、平戸固有の歴史と文化をまちづくりに活かす上で、重要な核となる歴史遺産である。禁教令に伴う建造物破壊の後、町人地に組み入れられ、往時の様相を失っていることから、貿易最盛期の景観を再現し、平戸を代表する歴史文化遺産として公開活用することを目的として、今後復元整備事業を行う予定である。	史跡の保存整備事業	平戸市	・史跡の調査研究（発掘調査） ・調査報告書、史跡等を紹介するHP
	やきものの歴史とその文化を有するまちとしてのプライド 佐世保市（三川内）、波佐見町	佐世保の三川内は約400年の歴史を持つ陶芸の里で、唐子絵、白磁透彫り、木原刷毛目といった技法が伝えられており、5月1日から5日に三川内焼はまぜん祭りが行われ、やきものを焼く時に使う小道具「はまぜん」供養催事のほか、三川内山一帯の窯元の公開や大安売りなどが行われている。また、波佐見町は、豊田秀吉の朝鮮出兵に従軍した大村喜前が帰国する際に持った朝鮮の陶工らによって、最初の窯が開かれたといわれるが、江戸時代は主に日用和食器の大量生産地として栄え、現在も国内で使用される和食器の1割強を生産している。当時の登窯が現在36基確認されているが、古窯の数の多さや、保存状況が良いこと、世界に類を見ない全長160mを超える窯が存在するなど価値が非常に高いと評価され、国指定史跡「肥前波佐見陶磁器窯跡」に指定されている。	史跡の保存整備事業 三川内焼はまぜん祭り 桜陶祭 中尾山まちづくり 伝習館・陶芸の館での体験	波佐見町 佐世保市、はまぜん祭り実行委員会 波佐見町 波佐見町 波佐見町	・窯跡等の調査研究（発掘調査） ・調査報告書、史跡等を紹介するHP
	島原の乱の最後の舞台となった原城跡を中心に地域固有の歴史文化を有するまちとしてのプライド 南有馬町(国指定史跡「原城跡」)	キリスト教の布教と迫害の歴史を今に伝え、「島原の乱」の最後の舞台として著名な国指定史跡「原城跡」はわが国の歴史文化を大きく転換させる契機となった事件を象徴する歴史の史跡である。また、原城マラソン大会や原城一揆まつりなど往時を偲ぶイベントが開催されている。	史跡の保存整備事業 原城マラソン大会 原城一揆まつり	南有馬町 南有馬町 南有馬町	・史跡の調査研究（発掘調査） ・調査報告書、史跡等を紹介するHP
	江戸時代の武家屋敷の街並みを残すまちとしてのプライド 雲仙市(国選定重要伝統的建造物群保存地区「神代小路」)	国見町神代小路伝統的建造物群保存地区は、江戸時代中期の地割を良く残す武家町で、神代鍋島家当主の屋敷である旧鍋島邸を中心に、敷地内には江戸時代の主屋や長屋門等による武家屋敷の構成が保たれており、小路沿いに生垣や石垣等によって特徴ある景観を構成するなど、歴史的風致を良く今日に伝え、わが国にとって価値が高いということから平成17年7月に国選定重要伝統的建造物群保存地区に選定された。なお、平成12年に「神代小路まちなみ保存会」が結成され、地域の活性化に向けた多様な取り組みを積極的に続けている。	街並み保存活動	雲仙市(旧国見町)、神代小路まちなみ保存会	・街並みの調査研究 ・調査報告書

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
	鎖国時代、西洋への唯一の窓口であった歴史を有するまちとしてのプライド	出島は、寛永13(1636)年、幕府がキリスト教布教をおさえるため、長崎市中のボルトガル人を一定の域内に住まわせるために構築した、15000㎡の人工島である。寛永18(1641)年に平戸から和蘭商館が移り、以後、出島は開国までの218年間、日本の鎖国下において、西洋への唯一の窓口としての役割を果たすことになる。現在、長崎市は平成18年3月の完成を目指し、カピタン部屋や水門等5棟の復元や南側の石垣を発掘、復元し、往時の姿に近づけようと取り組んでいるところである。	史跡の復元整備事業	長崎市	・ 史跡の調査研究(発掘調査) ・ 調査報告書、史跡等を紹介するHP	
	長崎市(国指定史跡「出島和蘭商館跡」)		「出島かわら版」等の広報誌の作成	長崎市		
熊本県	緑川流域の石橋群	現在、熊本県にはアーチ式石橋(目録橋:めがねばし)が約320基あり、そのうち緑川流域には80を超える大小さまざまな石橋が残っています。これらの石橋は、当時の石工、商人、住民など地域の多くの人が知恵と力を合わせて造りあげた結晶で、地域の誇りとなっており、現在も通行や農業用として親しまれながら地域住民に活用されています。	通潤橋史料館	山都町	・ 通潤橋史料館で布田保之助の通潤橋に賭けた夢を再現した映像を放映 ・ 緑川流域の石橋群魅力再構築事業報告書 ・ 上益城地域振興局で「緑川流域の石橋群」のHP作成	
	上益城地域、下益城郡美里町、八代市など		石匠館	八代市		
			緑川流域の石橋群魅力再構築事業報告書	熊本県		
	馬門石(まかどいし)による地域づくり		熊本県宇土市産出の阿蘇ピンク石(馬門石)が古墳時代、海路で畿内まで運ばれ、有力者の石棺と使われていたことになちなみ、馬門石を使ったまちづくりを考えていた地域づくり団体「熊本県青年塾」が、石棺文化研究会や宇土市等とともに石棺や古代船を復元し、古代の輸送を再現するプロジェクト「大王のひつぎ実験航海」を実施しました。	石橋物語-旅からはじまるものがたり-		熊本県
				全国石橋サミット in 上益城		熊本県
				観光ボランティアガイド「石橋の語り部」養成		熊本県
		大王のひつぎ実験航海		大王のひつぎ実行委員会(石棺文化研究会、熊本県青年塾、読売新聞社、宇土市ほか)		
	宇土市		よみうり・西部フォーラム「くまもと創造2005」-歴史と口漫画誘うまちづくり-	読売新聞社		
			「千人で運ぶ大王の石棺」	大阪府高槻市		
	ときの道づくり	鹿本地域では、阿蘇外輪山から有明海へ流れる菊池川周辺に歴史文化が花開きました。田原坂・康平寺・装飾古墳館・八千代座・鞠智城等の歴史遺産を結ぶベルト地帯を歴史浪漫散策道「ときの道」と位置付け、各史跡案内人のネットワーク化を図っています。	馬門石ガイドブック「宇土馬門石歴史散歩」	宇土市		
パブリック・アート・スカルプチャー・シンポジウムIN宇土			宇土市			
歴史公園鞠智城、豊前街道、田原坂等の歴史・文化遺産の整備			熊本県、山鹿市、植木町			
米米窓門ツアー			下町窓門会			
山鹿市、鹿本郡植木町		各史跡案内人のネットワーク	山鹿市観光案内人の会など8団体			
		山鹿灯笼を核としたイベント	山鹿灯笼まつり実行委員会、山鹿温泉観光協会			
		和紙を活用した地域振興推進事業	熊本県			
阿蘇地域の景観と歴史・文化	阿蘇地域は、熊本県の北東部に位置し、阿蘇五岳をはじめ、世界最大級のカルデラやそれを囲む外輪山、更には広大な草原や森林、水源や温泉といった豊かな自然に恵まれた美しい地域であり、その多くは阿蘇くじゅう国立公園をはじめとする自然公園に指定されています。また、神話や神楽等の多くの伝統文化にも恵まれており、豊かな自然と文化が相まって、年間1,900万人もの観光客が訪れる県内最大の観光地となっています。	スローな阿蘇づくり	(財)阿蘇地域振興デザインセンター、熊本県、阿蘇郡市7市町村、交通事業者			
		阿蘇の自然環境の維持保全「グリーンストック構想」	(財)阿蘇グリーンストック			
		中江若戸神楽定期公演	阿蘇市、地域住民			
		火振り神事	阿蘇神社			
		南阿蘇村谷人たちの美術館	阿蘇カルデラスーパーマラソン大会実行委員会			
阿蘇市、阿蘇郡		南阿蘇村谷人たちの美術館	南阿蘇村谷人たちの美術館実行委員会			
水俣地域の再生と創造	水俣地域は、四大公害病のひとつである水俣病という深刻な環境破壊を経験し、社会、経済など地域全体が疲弊しましたが、地域再生への取り組みを行うことが住民共通の「誇り」となるよう、21世紀の世界的課題である環境問題克服のモデルとなる環境先進の地域づくりを目指しています。	第四次水俣・芦北地域振興計画	熊本県、水俣市、芦北町、津奈木町、国			
		国立水俣病研究センター、熊本県環境センター、水俣市立水俣病資料館など	熊本県、水俣市、国			
		ゴミの21種類分別収集	水俣市、自治会、地域住民			
		子どもエコセミナー	熊本県教育委員会			
		水俣病公式確認50年事業(H18)	熊本県、水俣市、国			
		環境学習情報交流センターを中心としたネットワーク構築	熊本県、水俣市ほか、NPO法人水俣教育旅行プランニング			
		水俣病語り部ビデオなどの作成	熊本県、水俣市			
水俣市、葦北郡			・ 石牟礼道子全集「不知火」 ・ 新作能「不知火」 ・ 水俣病に関する映像資料や語り部のDVD ・ 環境センター等における蔵書 ・ 環境センター等における蔵書やHP ・ 環境センターにおける環境シアター			

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域を活性化させた 地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝える コンテンツ		
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体			
	対象地域						
	21世紀相良文化の創造	人吉球磨地域は、鎌倉時代に遠州（現在の静岡県）相良から入国した相良氏によって、明治維新まで約700年にわたり治められました。日本三大急流の球磨川や人吉温泉などに代表される豊富な自然を有し、相良700年の歴史・文化に培われた独特の文化圏を形成しています。	文化財・史跡の宝庫（鎌倉仏教文化を偲ばせる青蓮寺、桃山様式を誇る青井阿蘇神社など21件）	熊本県、各市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・『旅愁』『故郷の廃家』（犬童球傑作） ・犬童球傑顕彰音楽祭 ・KUMAKO I六調子ダンスフェスティバル ・山江村「マロンてれび」 ・湯前漫画美術館（那須良輔記念館） ・うんすんカルタ大会 		
	人吉市、球磨郡		相良三十三観音めぐり	相良三十三観音協議会、ひとよし・くま旬夏秋冬キャンペーン実行委員会、人吉球磨地域観光推進協議会など		くま川下り（株）など	
			球磨川下りとラフティング	球磨焼酎と焼酎文化		球磨焼酎酒造組合など	
			犬童球傑と那須良輔	石倉を活用した地域づくり		多良木町、NPO法人多良木石倉本舗、あさぎり町、やったる会、山江村、マロンてれび	
			ウンスンカルタの復興	KUMAKO I六調子		鍛冶屋町通りの街並み保存と活性化を誇る会 NPO法人KUMAKO I六調子振興会	
熊本県	山鹿灯籠まつり	祭の由来とされる「景行天皇伝説」（その昔、菊池川一帯に立ち込めた深い霧に進路を阻まれた景行天皇のご巡幸を山鹿の里人がたいまつを掲げてお迎えした。その時以来、里人たちが行在所跡（大宮神社）に天皇を祀って、毎年たいまつを献上した。）を地域住民が熟知している。奉納される山鹿灯籠は室町時代の「金灯籠」に始まり、その後、神造り・座敷造り・城造りなど多様な様式で、木や金具は一切使わず、和紙と少量の糊だけで大変精巧に作られている。（熊本県伝統工芸品指定）「よへぼ節」にあわせ、頭に金灯籠を載せて踊る山鹿灯籠踊りは千人灯籠踊りとして幻想的で優美である。平成4年度に山鹿灯籠踊り保存会、平成15年度に鹿本農業高等学校郷土芸能伝承部が、くまもと県民文化賞を受賞。平成13年度に、山鹿灯籠まつり実行委員会が第9回地域伝統芸能大賞（財）地域伝統芸能活用センター）を受賞。	奉納灯籠展示 奉納灯籠踊り 山鹿灯籠めぐりスタンプラリー 景行天皇の奉迎儀式・たいまつ行列 千人灯籠踊り 郷土芸能伝承部 山鹿灯籠民芸館	山鹿灯籠踊り保存会 山鹿灯籠まつり実行委員会 山鹿灯籠まつり実行委員会 山鹿市観光振興課 熊本県立鹿本農業高等学校郷土芸能伝承部 山鹿市観光振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・童話「山鹿灯籠」（田中美代子） ・よへぼ節 ・山鹿灯籠 ・山鹿灯籠踊り ・山鹿市の祭礼調査（熊本大学地域貢献特別支援事業） ・山鹿灯籠まつり（山鹿市HP） 		
山鹿市							
熊本県	郷士の偉人・宮崎兄弟	明治から大正にかけて、自由民権運動や土地制度改革、中国革命などに活躍した、荒尾市出身の偉人、宮崎四兄弟。その生家は、荒尾市の中心部にあり、現在は資料館と公園になっている。地域の偉人をしっかりと勉強し、誇りをもって訪れた人たちに「おもてなしの心」で案内しているのが「サキの会」の皆さん。「女性の視点」「母の視点」での案内は、「とても分かりやすい」と訪れた人たちにも好評で、小中学校にも外部講師として出かけている。	観光ボランティアガイド、イベント企画、講演 資料館、公園 八郎ふるさとハイク	ボランティアグループ「サキの会」 荒尾市八郎列車実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ ・パンフレット、資料館HP ・観光ボランティアガイド 		
熊本県荒尾市							
	受け継がれる近世の歴史	江戸時代に参勤交代の街道として栄えた豊前街道には、酒蔵、米蔵、味噌蔵などが残っている。また、豊前街道に立つ八千代座は、江戸時代の芝居小屋の姿を残した全国でも数少ない貴重な文化遺産である。街道を歩けば、当時の活気を肌で感じることができる。	観光ボランティアツアー 古墳から八千代座まで奥深い歴史体験（観光案内） 熊本県立装飾古墳館 八千代座	下町惣門会 山鹿市旅先案内人の会 熊本県 熊本県山鹿市	<ul style="list-style-type: none"> ・八千代座 ・HP ・観光ボランティアガイド 		
熊本県山鹿市							
	田原坂に散った勇者の思い	公園には、戦没者の慰霊碑や美少年像、弾痕の家などがあり、「西南の役」の勇敢な戦士たちを振り返ることができる。	観光案内 田原坂資料館	植木町観光ガイドの会 植木町	<ul style="list-style-type: none"> ・資料館資料 ・パンフレット、HP ・観光ボランティアガイド 		
熊本県植木町							
	大和朝廷が築いた“いにしへの世界”	鞠智城は、7世紀に大和朝廷によって建てられた古代山城。唐と新羅の連合軍から九州の大宰府を守るために大野城（福岡）、基肄城（佐賀）、金田城（長崎）が造られたが、鞠智城はこれらの城に食料や武器、兵士などを補給する支援基地であった。また、貯水池跡からは木簡や建築用材などの貴重な遺跡が数多く発見されている。	観光案内 歴史公園鞠智城・温故創生館	歴史講演鞠智城説明ボランティアの会 熊本県（文化課）	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、HP ・観光ボランティアガイド 		
熊本県山鹿市							
	先人達の心を伝える清和文楽	清和文楽人形芝居は、遠く嘉永年間（1848-1854）より伝承され、現在熊本県に残る唯一のものである。当時、君太夫他6名の浄瑠璃の上手な人たちがいて、人形を買い求め芝居の稽古に励み、神社の祭典等で村人に披露し好評を博していた。一時姿を消しかけた時代もあったが、愛好家の人形浄瑠璃にかけける情熱が伝承芸能として認められ、昭和54年には清和文楽人形芝居保存会が県無形文化財の指定を受けている。	清和文楽人形芝居の公演 清和文楽館	清和文楽人形芝居保存会 熊本県山鹿市	<ul style="list-style-type: none"> ・清和文楽人形芝居 ・パンフレット、HP 		
熊本県山鹿市							
	焼き物の里	熊本県・小代山の麓には今も小代焼の窯元が点在する。小代焼の起源は江戸時代初期で、朝鮮陶工の影響を受け、藩主御用窯として栄えた。一時は衰退したが、昭和初期に復興され、現在に至っている。茶や黒の地に白の組み合わせが特徴で、「朝鮮唐津」ともよばれる。陶土は小代山の土を用いている。	イベントの企画・運営、観光素材の開発 マップの作成	荒尾・玉名地域窯元振興会 熊本県（玉名地域振興局）	<ul style="list-style-type: none"> ・焼き物 ・パンフレット 		
熊本県荒尾市・玉名地域							

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
	地域の伝統芸能「牛深ハイヤ節」	牛深市の伝統芸能「牛深ハイヤ節」は江戸時代から酒盛りの唄として歌われ、「ハイヤ」は「南の風」(ハエ)という意味で、その名のとおり南国のビートのきいた軽快なリズムが特徴。この牛深のハイヤ節は、阿波踊りなど全国に点在しているハイヤ節のルーツとも言われている。牛深ハイヤ祭りは大草の春を彩るイベントで、ハイヤのリズムによって若若男女が町中を踊りあるく総踊りや船団パレードなど盛りだくさんの催しが開催される。	観光キャンペーンへの出演、後継者育成	牛深市民踊保存会、牛深高校	・ハイヤ踊り	
	熊本県牛深市		牛深ハイヤ祭り	牛深市		
	熊本城 400 年と都市創生・歴史の見える魅力ある街づくり	日本三名城の一つに数えられる熊本城は、天正 16 年(1588)、肥後半国の領主として熊本に本拠を置いた加藤清正によって築かれた豪壮雄大な構えの城である。なかでも「武者返し」と呼ばれる美しい曲線を描く石垣は有名です。この熊本城は復元整備を進めており、2007 年の築城 400 年という祈念すべき年に、甕る熊本城の素晴らしさと、歴史に培われた文化、豊かな自然に恵まれた熊本の魅力を広く全国に発信するため、官民一体となって祈念事業の開催を計画している。	熊本観光ボランティアガイド	くまもとよかとこ案内人の会	・城の復元 ・パンフレット、HP	
	熊本県熊本市		熊本城の復元	熊本城築城 400 年祈念事業実行委員会 熊本県熊本市		
大分県	西洋音楽発祥の地としての誇り 大分市・竹田市ほか	西洋音楽発祥の地として、16 世紀に我が国にはじめてもたらされたヴィオラの演奏を聞き入る子どもの彫刻や、西洋音楽を我が国の近代音楽にはじめて取り入れた瀧廉太郎を記念する音楽祭などが県内で開催されている。	別府アルゲリッチ音楽祭	別府アルゲリッチ音楽祭組織委員会	・彫刻	
	宇佐神宮が全国 4 万余りの八幡社の本宮である誇り 宇佐市		ザビエル生誕 500 年記念イベント	NPO 法人豊後ルネサンス		
	天領日田の誇り 日田市	江戸時代に天領として栄えた日田には、絢爛豪華な文化が継承されている。豆田地区などを中心に、町並みや、ひな祭り、夏祭りなどが当時の繁栄を今に伝えている。また、咸宜園を創設した広瀬淡窓など優れた学者、儒学者、教育者が出て、多くの弟子を育成した。	ケベス祭り	岩倉社	・修正鬼会保存会	
	一万円札の顔としての誇り 中津市		日田祇園祭り	日田山鉾振興会		
	文化芸術ｽｰﾌﾟの伝統ある地としての誇り 県下全域	音楽では、作曲の瀧廉太郎、清瀬保二、オペラの藤原義江、立川清登、絶対音感早期教育の園田清秀などを輩出。文学では、童話作家久留島武彦、作家の野上弥生子のほか佐藤義美や吉丸一昌は作詞家としても活躍した。ｽｰﾌﾟでは 69 連勝の名横綱双葉山、神様仏様といわれたプロ野球の稲尾和久投手などの出身地である。	天領日田おひなまつり	日田市豆田町、隈町ほか	福沢諭吉記念祭	中津市ほか
	中津市		福沢諭吉記念祭	中津市ほか		
大分県	豆田町歴史的町並みの残る日田市 日田市	豆田町は、天領として栄えた日田市のかつての姿を残す町である。ここに住む人々は、この町に住んでいることに誇りを持ち、伝統的な建造物を守り伝えてきた。その努力の結果、重要伝統的建造物群保存地区(通称伝建地区)に選定された。	伝建制度の説明パンフレット作成	日田市	・日田祇園祭 ・日田市豆田地区伝統的建造物群保存対策調査報告 ・日田市豆田町伝統的建造物群保存地区概要	
大分県	滝廉太郎を記念した音楽のまちづくり 竹田市	竹田市は滝廉太郎が少年時代を過ごした場所である。竹田市では「滝廉太郎記念館」の設置、市内の全ての幼、小、中学校等が参加する「滝廉太郎を偲ぶ音楽祭」、「滝廉太郎記念音楽祭全日本高等学校音楽コンクール」の開催などに取り組み、音楽のまちづくりをすすめている。	滝廉太郎記念音楽祭	竹田市		・竹田市 HP、カレンダー、パンフレット
	日本のアンデルセン久留島武彦を記念した童話の里づくり 玖珠郡玖珠町	日本のアンデルセンといわれ、全国の子どもたちに夢を与え、おとぎ話を語り続けてきた久留島武彦は玖珠町で生まれ育った。久留島武彦の業績を記念して、毎年 5 月 5 日に日本童話祭が開催され、現在では「祭りから町づくり」をテーマに童話の里づくり運動に発展している。	滝廉太郎記念音楽祭全日本高等学校音楽コンクール	竹田市、竹田市教育委員会、大分県教育委員会	・玖珠町 HP、久留島武彦による講演の現代語訳を冊子化	
	学びの輪梅園の香るまちづくり 東国東郡安岐町		わらべの館	玖珠町		
	福沢諭吉を記念する学問の里づくり 中津市	慶應義塾の創始者福沢諭吉は「学問のすゝめ」で西洋の科学に基づいた学問の大切さを説くとともに、「心身の独立を全うし、自らその身を尊重して、人としてその品位をはずかしめない」という「独立自尊」の精神を説いた。同市では成人式で「独立自尊」の文字を刻んだキーホルダーを新成人に配布したり、慶應義塾と連携して全国高等学校弁論コンクールを毎年開催したりするなど学問の里づくりに取り組んでいる。	日本童話祭	玖珠町教育委員会、童話祭実行委員会	・玖珠町 HP、久留島武彦による講演の現代語訳を冊子化	
	庄内神楽 由布市庄内町		三浦梅園資料館	安岐町教育委員会		
	梅園の里	江戸時代中期の学者三浦梅園は医を家業とし、天地造化に深い疑問を抱き終生その解明に没頭し、糸理学と称する一大哲学体系を樹立した。また、梅園は科学者であるとともに天文学、生物学、医学、政治経済学、政治道徳学、文学にまで探求を広げた。梅園の精神は町民の誇りとしてたたえられているとともに、学校教育や社会教育の中で受け継がれている。	梅園の里	安岐町	・「梅園先生をたたえる歌」 ・ビデオ ・「少年少女のための梅園先生」小冊子 ・資料館職員による出前講座	
	福沢諭吉を記念する学問の里づくり 中津市		弁論大会	安岐町教育委員会		
	福沢諭吉を記念する学問の里づくり 中津市	慶應義塾の創始者福沢諭吉は「学問のすゝめ」で西洋の科学に基づいた学問の大切さを説くとともに、「心身の独立を全うし、自らその身を尊重して、人としてその品位をはずかしめない」という「独立自尊」の精神を説いた。同市では成人式で「独立自尊」の文字を刻んだキーホルダーを新成人に配布したり、慶應義塾と連携して全国高等学校弁論コンクールを毎年開催したりするなど学問の里づくりに取り組んでいる。	梅園祭(法要、講演会、書道展、詩吟等)	安岐町教育委員会	・「少年少女のための梅園先生」小冊子 ・資料館職員による出前講座	
	福沢諭吉を記念する学問の里づくり 中津市		三浦梅園の墓清掃活動	安岐町文化財愛護少年団		
	福沢諭吉を記念する学問の里づくり 中津市	慶應義塾の創始者福沢諭吉は「学問のすゝめ」で西洋の科学に基づいた学問の大切さを説くとともに、「心身の独立を全うし、自らその身を尊重して、人としてその品位をはずかしめない」という「独立自尊」の精神を説いた。同市では成人式で「独立自尊」の文字を刻んだキーホルダーを新成人に配布したり、慶應義塾と連携して全国高等学校弁論コンクールを毎年開催したりするなど学問の里づくりに取り組んでいる。	福澤諭吉記念祭全国高等学校弁論大会近郊小・中校書写展	中津市、慶應義塾	・中津市 HP、旧居パンフレット	
	福澤諭吉を記念する学問の里づくり 中津市		福澤諭吉・記念館	中津市		
	福澤諭吉を記念する学問の里づくり 中津市	慶應義塾の創始者福沢諭吉は「学問のすゝめ」で西洋の科学に基づいた学問の大切さを説くとともに、「心身の独立を全うし、自らその身を尊重して、人としてその品位をはずかしめない」という「独立自尊」の精神を説いた。同市では成人式で「独立自尊」の文字を刻んだキーホルダーを新成人に配布したり、慶應義塾と連携して全国高等学校弁論コンクールを毎年開催したりするなど学問の里づくりに取り組んでいる。	論吉の里「中津」健康マラソン大会	中津市	・中津市 HP、旧居パンフレット	
	福澤諭吉を記念する学問の里づくり 中津市		論吉の里「中津」健康マラソン大会	中津市		
	福澤諭吉を記念する学問の里づくり 中津市	慶應義塾の創始者福沢諭吉は「学問のすゝめ」で西洋の科学に基づいた学問の大切さを説くとともに、「心身の独立を全うし、自らその身を尊重して、人としてその品位をはずかしめない」という「独立自尊」の精神を説いた。同市では成人式で「独立自尊」の文字を刻んだキーホルダーを新成人に配布したり、慶應義塾と連携して全国高等学校弁論コンクールを毎年開催したりするなど学問の里づくりに取り組んでいる。	公演(定期公演、ミニステリアスライブ、出張公演)	庄内町神楽座座長会	・かくらグッズ ・庄内神楽 ・ビデオ ・庄内町 HP、配布用冊子	
	福澤諭吉を記念する学問の里づくり 中津市		庄内神楽祭り	庄内町神楽座座長会		
	福澤諭吉を記念する学問の里づくり 中津市	慶應義塾の創始者福沢諭吉は「学問のすゝめ」で西洋の科学に基づいた学問の大切さを説くとともに、「心身の独立を全うし、自らその身を尊重して、人としてその品位をはずかしめない」という「独立自尊」の精神を説いた。同市では成人式で「独立自尊」の文字を刻んだキーホルダーを新成人に配布したり、慶應義塾と連携して全国高等学校弁論コンクールを毎年開催したりするなど学問の里づくりに取り組んでいる。	平成 18 年版庄内神楽カレンダー	庄内町神楽座座長会	・庄内町神楽座座長会 ・庄内町 HP、配布用冊子	
	福澤諭吉を記念する学問の里づくり 中津市		体験交流会	庄内町神楽座座長会		
	福澤諭吉を記念する学問の里づくり 中津市	慶應義塾の創始者福沢諭吉は「学問のすゝめ」で西洋の科学に基づいた学問の大切さを説くとともに、「心身の独立を全うし、自らその身を尊重して、人としてその品位をはずかしめない」という「独立自尊」の精神を説いた。同市では成人式で「独立自尊」の文字を刻んだキーホルダーを新成人に配布したり、慶應義塾と連携して全国高等学校弁論コンクールを毎年開催したりするなど学問の里づくりに取り組んでいる。	県立碩南高等学校神楽クラブ	県立碩南高等学校	・庄内町神楽座座長会 ・庄内町 HP、配布用冊子	
	福澤諭吉を記念する学問の里づくり 中津市		町内保育園神楽クラブ	町内 3 保育園		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
宮崎県	ひむか神話街道	「神話と伝説のふるさと」といわれる宮崎は、古事記や日本書紀に記されている日向神話をはじめ、歴史ロマンを彷彿とさせる数多くの伝説や史跡にあふれ、歴史資源の宝庫となっている。ひむか神話街道は、神話や伝説に彩られたまちや村をつなぐ道として平成15年6月に誕生した。沿線には、天孫降臨、海幸彦・山幸彦などの神話や平家落人、百済王などの伝説が数多く残されている。	道路及び道路標識の整備	宮崎県	・ひむか神話街道オンラインウェブによる歴史資源ビデオの配信 ・ひむか神話街道50の物語集・100の伝承地マップ
			広域案内板の設置	宮崎県	
			ひむか神話街道50の物語集の作成・配布	宮崎県	
			ひむか神話街道100の伝承地マップの作成・配布	宮崎県	
			ひむか神話街道全線開通式典の開催	宮崎県、沿線14市町村等	
			名称の公募	宮崎県	
			シンボルマーク・ロゴの作成	宮崎県	
	ひむか神話街道地域力・魅力向上プロジェクト	「ひむか神話街道」宮崎県北協議会			
	天岩戸神社	ひむか神話街道の北の起点となっている。西本宮と東本宮があり、西本宮はアマテラスオオミカミがお隠れになったと伝えられる「天の岩屋」を御神体として祀っている。西本宮参道脇には勾玉など古代高千穂地方の貴重な資料展示した「徴古館」がある。毎年9月の天岩戸神社の秋の大祭では、タヂカラオの像の前で壱一枚をいかに遠くへ投げるかを競う岩戸投げ大会が行われている。			
	高千穂町				
	天安河原	アマテラスオオミカミが「天の岩屋」にお隠れになった際に、八百万の神々が集まって会議を開いたところと伝えられている。ここにある洞窟は、別名「仰慕窟」とも呼ばれ、訪れた人々によって、祈りと神々への崇拝の念がこめられた無数の石が積み重ねられている。			
	高千穂町				
	浅ヶ部八十八箇所霊場	天保3年に凶作による大飢饉に見舞われ、悪病も流行し、村人は困り果て、翌年、村の有志がこれはいかんと奮い立ち、四国の八十八箇所霊場の巡礼に旅立ち、八十八箇所の各寺院の巡拝を行い、御朱印と土をもらい受けて持ち帰り、浅ヶ部の山里に安置したのが起源となっている。地元浅ヶ部公民館長さんを中心として、霊場巡りのコースの整備や来訪者へのガイド活動などに取り組みされている。			
	高千穂町				
	三ヶ所神社	天孫降臨の地とされる二上山の祠を山麓に遷した神社である。本殿の脇障子には司馬遷の「史記」にちなんだ彫刻が施されているほか、毎年9月の例祭には国の重要無形民俗文化財の「荒踊」が奉納される。また、二上山の南面9合目には奥宮が建立されており、ここからは祖母嶺山・阿蘇五岳などの山々が一望でき、春は高山植物のアケボノツツジなど雄大な自然を満喫できる。			
	五ヶ瀬町				
	椎葉平家まつり	秘境の名にふさわしい椎葉村には、源氏方の那須大八郎と平家の鶴富姫の悲恋の伝説が残っており、毎年11月に二人を偲んで「椎葉平家まつり」が盛大に行われる。3日間にわたって歴史ロマンを再現するこの祭りのハイライトは「大和絵巻武者行列」で、源氏方の騎兵やひえつき節踊り、山法師踊り、椎葉神楽などのパレードが村の中心部を練り歩く。			
	椎葉村				
	師走まつり	南郷村には、朝鮮半島で滅ぼされた百済の王族が流れ着いたという百済王伝説が伝えられ、毎年旧暦の12月には、離ればなれに祀られている王親子の対面の儀式である「師走まつり」が盛大に行われる。第一皇子福智王を祀る木城町・比木神社から父親禰嘉王を祀る南郷村・神門神社まで巡行が行われ、二つの神社によるまつりという非常に稀な形態が今に続いている。南郷村での迎え火は高さ10mに及ぶ。			
南郷村					
西の正倉院	南郷村では、「百済の里」づくりが進められ、その一環として建てられた博物館であり、奈良の正倉院と同一の唐花火鏡が発見されたことから建築が計画された。建築に際し、宮内庁所蔵で門外不出の正倉院の図面の入手や建築基準法の建設大臣の特別許可などの乗り越えるべき幾多の課題があり、完成に至るまでは非常に険しい道りであった。その威風堂々とした佇まいに見る者は圧倒される。				
南郷村					
西都原古墳群	広大な台地上に、4～7世紀に造られた大小300余りの古墳が点在しており、中でも最大のものは、ニギノミコトの御陵とされる男狭穂塚と、コノハナサクヤヒメの御陵とされる女狭穂塚である。春は菜の花と桜、秋はコスモスが訪れる人の目を楽しませてくれる。また、毎年11月には千人を超えるたいまつ行列で有名な西都原古墳まつりが盛大に行われ、県内有数の観光地となっている。				
西都市					
記・紀の道	西都市には、ニギノミコトとコノハナサクヤヒメにまつわる伝承地が、西都原古墳群を囲むようにして点在している。これらの地を結ぶ道程約4kmは「記・紀の道」と名付けられ、徒歩で約1時間をかけて巡ることにより、歴史ロマンを満喫することができる。具体的な伝承地としては、ニギノミコトが流れ着いた「御舟塚」、二人が出逢った「逢初川」などである。				
西都市					
佐野原聖地	ウガヤフキアエズノミコトが天下を治めたところと伝えられ、神武天皇などウガヤフキアエズノミコトの4人の皇子の生誕地とされている。「佐野原」の地名は、神武天皇の幼名「サノミコト」に由来するものといわれている。地元には、佐野原聖地の保存会があり、清掃活動などに取り組んでいる。				
佐土原町					

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	みそぎ池	御池（みいけ）とも呼ばれ、イザナキノミコトが黄泉の国で受けた汚れを清めるため、禊ぎを行ったところと伝えられている。この池がある市民の森公園は、四季折々にハス、ハナショウブ、アジサイなど様々な花が咲き、市民の憩いの場として親しまれている。また、近くには江田神社があり、お祓いの祝詞の発祥の地として全国に知られている。			
	宮崎市				
	宮崎神宮	神武天皇を主祭神として祀り、カムヤマトイワレヒコノミコトの孫のタテイワタツミノミコトが創建したと伝えられている。鬱蒼とした松、楠、杉の森を抜けて社殿を臨む玉砂利に立つと、不思議と清らかな気持ちになれる。毎年10月下旬に行われる大祭は「神武さま」という名で親しまれ、県内有数の初詣客が多い神社としても知られる。			
	宮崎市				
	鶴戸神宮	神武天皇の父ウガヤフキアエズノミコトの生誕地であると伝えられ、ウガヤフキアエズノミコトの母豊玉姫が、我が子を思っただけに「お乳岩」や、海の宮から乗ってきた亀がそのまま岩になったといわれる「亀石」がある。この「亀石」の楕円形に向かって願いを込めて投げた「運玉」というものがあり、参拝客などにとって恒例の運試しとなって定着している。			
	日南市				
	潮瀬神社	山幸彦に懲らしめられた海幸彦が舟で満潮の流れに乗って迎っていたのがこの地で、後に宮居を定めたと伝えられている。山幸彦と争った海幸彦を主祭神として祀る全国で唯一の神社である。山幸彦と海幸彦の争いが釣針の貸し借りに端を発したことから、地元では縫い針の貸し借りはしないという風習が残っている。			
	北郷町				
	田野天建神社	日南市油津に漂着した百済の王が田野の里に入った時に、村人が建てた御殿の跡といわれている。村人に手厚く迎えられたこの王は、穏やかに暮らしていたが、ある日、愛馬ごと井戸に落ちてその生涯を終えたとされ、その後、村人は王を偲び、この地に宮を建てて崇めたとされている。			
	田野町				
	弥五郎どん祭り	隼人族の首領と伝えられ、南九州の巨人伝説の一つにも数えられている「弥五郎どん」の伝説が残されており、年に1回の祭りでは、身の丈4mの弥五郎どんが練り歩き、その様は社観である。弥五郎どん伝説の残る野正八幡宮の近くには、「弥五郎どんの館」という資料館があり、弥五郎どんの実物大のレプリカなどが展示されている。			
	山之口町				
旧後藤商家交流資料館	幕末に薩摩藩の御用船で財を成した後藤五市の三男伊助とその息子の五兵衛が明治33年に建てたもので、当時は醤油屋や養蚕業が営まれていた由緒ある建造物である。平成13年に道路拡幅工事に伴って撤去されるところだったが、これを契機に、町民が中心となって保存・運営を検討した結果、NPO法人が設立され、移転・修復が行われた。現在は、歴史を偲ばせる貴重品が展示されている。				
高城町					
東霧島神社	高千穂峰をとりまく霧島六社権現の一つで、イザナキノミコトが火の神カグツチを切った跡と伝えられている。その際に、イザナキノミコトが使った「十握の剣」はこの神社の御神宝として崇められている。境内には、巨石が綺麗に三つに切り分けられた「神石」や鬼が一夜で造ったといわれる「鬼岩階段」が残されている。				
高崎町					
高千穂峰	ニギノミコトが降臨されたという神話の残る標高1,574mの山であり、登山客にも人気のスポットである。山頂には天孫降臨を物語るかのように「天の逆針」が突き立てられている。この「天の逆針」を動かしたりすると祟りがあるとの言い伝えがあり、かの坂本龍馬が新婚旅行でここを訪れた際に引き抜いたというエピソードが残されており、それが原因で殺されたのだという話もある。				
高原町					
宮崎県	神楽などに代表される伝統芸能	本県には天孫降臨神話や歴史ロマンをほうふつとさせる伝承が数多く残されており、固有の文化として親しまれている。宮崎の神話、伝承のなかでもその核となるのが古事記・日本書紀のなかの「日向神話」であり、これらは地方特有の伝承や地名、豊作・豊漁を祈る予祝行事などのように現在の生活に直結しているものが多いという特徴がある。	みやざきの郷土芸能「再発見」事業	宮崎県、実施市町村、県・実施市町村・有識者からなる実行委員会	・ふるさと再発見シリーズ「みやざきのうたと芸能」「みやざきの神話と伝承」
県内全域					
国民的歌人・若山牧水の出身地としての誇り	人間や自然への溢れる想いを歌い、日本の短歌史に偉大な足跡を残し、国民的歌人として今なお多くの短歌愛好者から親しまれている若山牧水が生まれ、大学進学までの幼少・少年期を過ごした町である。	若山牧水賞事業	若山牧水賞運営委員会（県、東郷町、延岡市、新聞社等で構成）	毎回の若山牧水賞記録集及び若山牧水賞受賞作品	
鹿児島県	島津日新齋（日新公）のおしえ・伊呂波（いろは）歌	戦国の武将島津忠良（日新公）のおしえは「日新公のいろは歌」として地域住民が熟知し、教育の中でも「いろは歌を活用した心の教育の推進」等教育行政の施策体系でもうたわれている。また、日新公は、いろは歌の思想を普及させるため「薩摩琵琶」・「妙音十二楽」を奨励し、多くの琵琶歌をつくった。薩摩琵琶、妙音十二楽は現在県指定文化財に指定されている。また、県指定民俗文化財の土（さむらい）踊りは、日新公が出陣の前に部下に踊らせたものが伝えられたものである。	いろは歌を活用した心の教育	南さつま市教育委員会	・市民劇「日新公いろは歌」「日新公物語」 ・薩摩琵琶「武蔵野」「迷悟もどき」など、「土（サムライ）踊り」 ・漫画「日新公物語」、絵本「いにしへのいろは言葉」、絵カルタ ・「島津日新公いろは歌」「西郷、大久保、稲盛和夫の源流島津いろは歌」 ・日めくりカレンダー
南さつま市（旧加世田市）	いろは歌カルタとり大会		南さつま市青年会議所		
	いろは歌に関する歴史講座		南さつま市教育委員会		
	いろは歌まつり		南さつま市教育委員会		
	いろは歌講演会		南さつま市教育委員会		
	いろは歌灯籠歌集フェスタ		いろは歌灯籠歌集フェスタ実行委員会		
	いろは歌プロジェクト		南さつま市		
	薩摩琵琶弾奏会		南さつま市教育委員会		
	妙音十二楽		妙音十二楽保存会		
	土（さむらい）踊り		土踊保存会		
薩摩琵琶弾奏会	薩摩琵琶同好会				

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ	
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体		
	対象地域					
鹿児島県	諸鈍シバヤ 大島郡瀬戸内町	大島郡瀬戸内町の加計呂麻島の中心地、諸鈍の大屯神社に伝わる誇り。平家の落人、平賀盛が敗戦の心を慰め、集落の人々と交流するために披露した誇りが原形との説もある。				
	川内大綱引 薩摩川内市	中秋の名月の夜に行われる、薩摩川内市の代表的な行事。綱の長さは約350m、重さは約5ト。島津義弘が藩士の士気を高めるために行ったといわれ、約400年前から続くといわれる。				
	曾我どんの傘焼き 鹿児島市	曾我兄弟が父の仇を討ちとったことにちなんだ行事で、旧暦の5月28日に甲突川河畔で古傘を燃やす。				
	平瀬マンカイ 大島郡龍郷町	旧暦の8月初めの丙の日に、ショチョガマと一緒にされる、稲作の儀礼。夕方の潮満ち時に行われる。				
	妙円寺詣り 日置市(旧伊集院町)	島津義弘率いる島津軍は関ヶ原の戦いで敗れたが、徳川本陣の真っ只中を敵中突破し、すさまじい退却戦を展開した。妙円寺詣りはこの時の苦闘をしのぶ行事。青少年は鹿児島市や薩摩川内市など県内各地から歩いて参詣する。				
	おなん講 薩摩川内市東郷町山田	男性が女装し料理から給仕まで行う。男たちは朝から鶏料理と里芋の田菜の伝統的献立を準備し、奥さんの晴れ着を着て、接待に当たる。主婦たちは「塩気が足りない」などと大いばりで日頃のうっぷんをはらす。江戸時代から伝えられるユニークな行事				
	十五夜ソラヨイ 川辺郡知覧町	中秋の名月の旧暦8月15日に、豊作を祈って行われる知覧町の伝統行事。満6歳から14歳までの男の子がふんどしにわらで作った笠と腰巻をつけて、山笠の周りをグルグルまわるもの。				
	せつべとべ 日置市(旧日吉町)	6月初旬に日吉町八幡神社のお田植え祭りで行われるもの。若い男性の集団が白はちまき、白じゅばん、白足袋で神田に入り、かけ声をかけあい歌を唄い、泥まみれになって飛び跳ねる。				
	トシドン 薩摩川内市甑島、種子島、屋久島	12月31日の夜、子どものいる家に長い鼻の面をつけた神様「トシドンサマ」がやってくる。トシドンは子どもをおどしたりさとしたりして1年の反省をさせ、よい子になることを誓わせ年餅を与える。甑島、種子島、屋久島に伝えられている伝統行事。				
	初午祭り 霧島市(旧隼人町)	霧島市隼人町の鹿児島神宮で行われる五穀豊穡を祈る祭り。旧暦1月18日(現在はその日に近い日曜日)に行われる。五色の布や鈴で飾りたてた馬が、三味線と太鼓に合わせて踊る。その鈴の音は春のまえぶれのよう。鹿児島に春を知らせる、全国に名高い祭りである。				
	ひな女祭り 阿久根市	この1年、ひな女(長女)として生まれた女の子を祝う行事。旧暦4月8日に、親戚の人が晴れ着を着せられはちまきをめられた女の子を逆向きに背負ってファンヤ節を踊り、飲みや踊れやの宴会となる。阿久根に残るユニークな行事。				
	水カラクリ人形 川辺郡知覧町	知覧町の豊玉姫神社の六月燈で上演される。水車を動力に使った人形カラクリで、多数の木製歯車を使う装置と、人形の構造に特色がある。一つだけの水車の心樑が伝える力を、様々な形の歯車によって、それぞれ違った力に分散し、人形たちを動かす。				
	弥五郎どん祭り 曾於市(旧大隅町)	曾於市大隅町の、岩川八幡神社の大祭。名物「弥五郎どん」の浜下りが行われる。弥五郎どんのモデルは武内宿禰とも隼人の頭領ともいわれる。高さ4.85mの巨人。腰に4mと3mの刀を帯び、木車に据えられて町中を練り歩く。				
	流鍋馬 肝属郡肝付(旧高山町)ほか	高山の四十九所神社では、10月19日の例祭に奉納され、末吉町二ノ方の住吉神社と吹上町の大汝無違神社では11月23日に行われる。中でも高山町では850年続いている行事である。馬を走らせながら三つの的を三回、弓で射るもの。その的中度によって翌年の豊作を占う。射手は地元元少年が務める。				
	六月燈 県内各地	新暦の7月1日から、大きな神社、寺院から小さなほごらに至るまで、それぞれの日を決めて縁日が行われる。まさに鹿児島県の夏の風物詩である。第19代藩主光久が上山寺新照院の観音堂を建立したおり、灯籠をつけさせたのがはじまりとか、牛馬の疫病や田の害虫駆除の民間行事が変化したものだとはいわれているが、定かではない。				
	沖縄県	沖縄戦から見た平和への祈り 沖縄県全域	さる太平洋戦争において日本国内では唯一の戦場となり、地域住民を巻きこんだ悲惨な地上戦が行われた。県民の多くが犠牲となった経験から、過去の戦争への慰霊、将来の平和への祈りは沖縄県民の心の中に常に息づいているものである。	平和祈念資料館 ひめゆり平和祈念資料館 平和祈念堂	沖縄県	
		エイサー(沖縄全島エイサーまつり) 沖縄全域(沖縄市)	沖縄では、旧盆に地域の青年会により太鼓を打ちならし勇壮・優雅に道々を練り歩くエイサーと呼ばれる盆踊りが催される。その型はそれぞれの地域に代々受け継がれており、県内には多様なエイサーが存在する。この県内各地のエイサーが一同に会し演奏する「沖縄全島エイサーまつり」が開催され県内外からの観光客でにぎわう。	エイサー 沖縄全島エイサーまつり	各地青年会 沖縄市 県内各地	
糸満ハーレーと海人の町 糸満市		糸満市は古くから海人(ウミンチュ)の町として独自の漁民文化をもっており、毎年旧暦5月4日には大漁と安全を祈願するためにハーレー(爬竜船競争)が行われている。糸満ハーレーは現在においても、伝統的な地域性と神事性を色濃く残しており、港町として栄えた糸満の社会文化の形成・伝承に大きな影響がある。	糸満ハーレー	糸満ハーレー行事委員会		
アンガマに代表される芸能の島 石垣島		石垣島では旧盆に地域の家々を巡り歌舞や問答を行うアンガマと呼ばれる行事が各地にある。死者を弔い祖先を敬う内容は県内各地に共通する精神性が息づいている、と共に他の伝統行事と同様、それぞれ地域の青年団が主体となつて行われることから、歌や三線の伝統芸能の育成や芸能の島としての魅力の形成に大きな役割を担っている。	アンガマ	石垣市各地域青年会		

都道府県	歴史的な地域の誇り		歴史的な地域プライドを活かした地域づくりの取り組み内容		地域の誇りを伝えるコンテンツ
	名称	誇りの内容	取り組み名称	取り組み主体	
	対象地域				
	種取祭が育む竹富島の文化 竹富島	竹富島の種取祭は約600年の歴史があるとされ、国の重要無形文化財に指定されています。来年の豊作を祈願する祭で島のあらゆる芸能が奉納される。毎年9月から10月のこの時期には島内外、県内外の出身者が帰郷し祭の開催にあたるなど、まさに島全体で伝統芸能を伝承し、祭を守っている。	種取祭	竹富町等	
沖縄県	伝統工芸を継承する人々 沖縄県全域	「紅型」や「芭蕉布」、「壺屋焼」、「琉球漆器」などの伝統工芸が、沖縄県民の生活の中に息づき、その技能と思いを継承する人材は、郷土の誇りと考える。	おきなわ県民カレッジ自主企画講座	沖縄県教育庁生涯学習振興課	・おきなわ県民カレッジ自主企画講座
	伝統芸能を継承する人々 沖縄県全域	琉球舞踊や三線、組踊りなどの伝統芸能が、沖縄県民の生活の中に息づき、その技と思いを継承する人材は、郷土の誇りと考える。	おきなわ県民カレッジ自主企画講座	沖縄県教育庁生涯学習振興課	
沖縄県	多良間の豊年祭 多良間村	多良間の豊年祭は、八月踊りとも称され、旧暦の八月に行われることを地域住民は認知しており、毎年、行われる。地域住民は豊年祭の準備・踊りの練習・行事に参加するものとされ、生活の一部となっている。	多良間の豊年祭	多良間村、多良間村民俗芸能保存会	・琉球舞踊、組踊 ・「多良間の8月踊り」、「多良間島の文化財」
	竹富島の種子祭 竹富町（竹富島）	種子祭は、竹富島最大の年中行事であり、行事の期日・内容・踊り等を地域住民は熟知しており、厳粛な神行事である。祭は10日間続くが、その準備・踊りの練習・行事への参加が地域住民の生活の一部となっている。	竹富島の種子祭	竹富町竹富、竹富島民俗芸能保存会	・琉球舞踊、組踊 ・「竹富島種子取祭」
	安田のシヌグ 国頭村字安田	安田のシヌグは、ウンジャミと一年交代で旧暦7月に行われ、男の集団が仮装して神になり、村や家々を徘徊するというのが儀礼の中心であると地域住民は熟知している。安田のシヌグの準備、参加が地域住民の生活の一部となり、多くの出身者が地域に戻り行事に参加する。	安田のシヌグ	国頭村安田、安田古文化財保存会	・琉球舞踊
	与那国島の祭事の芸能 与那国町	与那国島の祭事の芸能は、ウブンダと呼ばれる翁が祝詞を述べた後に芸能が奉納されるものと、ミルク（弥勒）が大勢の者を引き連れて登場し、芸能を奉納するものがあることを地域住民は熟知している。また、祭事は大きな地域行事であり、生活の節目の一つである。それぞれの行事、祭事が人々の生活のリズムを形成している。	与那国島の祭事の芸能	与那国町各字、与那国民俗芸能保存会	・琉球舞踊、組踊 ・「与那国島の祭事の芸能」
	西表島の節祭 竹富町（祖納地区・星立地区）	西表の節祭は、旧暦の8、9月の己亥の日に行われ、「農民の正月」にあたる厳粛な神行事であると地域住民は認知している。また、地域住民はすべてに優先して参加するとされ、節祭の準備・役割・行事が生活の一部となっている。	節祭	西表民俗芸能保存会、星立公民館	・琉球舞踊、狂言 ・「西表島の節祭」
	宮古島のパーントゥ 宮古島市字平良島尻・字上野野原	パーントゥと称されるのは仮面で、悪疫や悪霊を追い払う行事であり、旧暦の決まった時期に行われることを地域住民は熟知している。神女達の祭祀から行事の準備、実施が地域住民の生活の一部となり、仮面もだいに保管されている。	島尻のパーントゥ 野原のパーントゥ	宮古島市島尻 宮古島市野原	・仮面 ・「島尻のパーントゥ調査報告書」
	塩屋湾のウナガミ 大宜味村字田港、屋古、塩屋、白浜	塩屋湾のウナガミは旧盆あけの亥の日に行われ、神を迎えるの儀礼、航海・漁労・イノシシ狩りの模倣儀礼が行われることを認知している。神女達の祭祀儀礼から行事の準備、実施までが地域住民の生活の一部となっている。	ウナガミ	大宜味村塩屋、屋古、田港、白浜	・沖縄北部のウナガミ映像記録
	伊江島の村踊 伊江村	伊江島の村踊は、伊江村の各区に伝承される村踊りの総称で8区が毎年輪番で取り組み、芸能発表会で披露している。地域住民は熟知している。地域住民は、実行委員会を作り、練習に取り組み、発表会を実施している。	伊江島の村踊	伊江村、伊江村民俗芸能保存会、伊江村民俗芸能発表会実行委員会	・琉球舞踊、組踊
沖縄県	我が国に中国から甘藷導入した偉人「野国總管」 嘉手納町	嘉手納町が生んだ偉人「野国總管」は、西暦1605年に甘藷を中国福建省から我が国に伝えた。甘藷は、我が国における発祥の地として嘉手納町から全国に伝播し、飢饉や戦中戦後の食糧難から幾多の人々の命を救い、大きな貢献を果たしてきた。近年、甘藷は健康食品としても注目され、健康に対する機能性が大きく広がろうとしている。	野国總管甘藷伝来400年祭 こども芸能祭 野国總管甘藷展示会 全国甘藷物産市 道ジェネー 野国いも栽培講習会	野国總管甘藷伝来400年祭実行委員会	・イメージソング「野国のおいも」等を収録する ・紙芝居「野国總管物語」を制作、小学校等で活用する。 ・副読本「野国總管と甘藷」
	「琉歌の里」 恩納村	恩納村を代表する女流歌人「恩納ナビー」は、沖縄文化の黄金時代の18世紀の初めに活躍した人である。沖縄には古くから、8.8.8.6音からなる琉歌と呼ばれる歌があり、恩納ナビーは恩納村の豊かな自然を背景に、多くの優れた琉歌を生み出している。恩納村では、平成2年に「恩納ナビーを慕う会」により琉歌大賞を公募し、県外や海外からも多くの作品が寄せられた。琉歌大賞は、恩納ナビーの情感あふれる歌を誇りとし、その流れを現代に蘇らせようと始められた企画であり、恩納村は「琉歌の里」の名が定着しつつある。	琉歌大賞 恩納ナビー舞台化脚本作品募集	恩納ナビーを慕う会 恩納村、恩納村教育委員会	・公募作品の新聞紙上への掲載 ・脚本を歌劇として舞台化し、上演する。
	きむらかつ子まち宣言 うるま市（旧勝連町）	勝連は、おもしろそうして「きむたか」と称されている。世界遺産である勝連城の最後の城主であり、領民から慕われた阿麻和利（あまわり）。世界に羽ばたくその心を思い起こし、引継ぎ、志高い次世代の子を育む町民の誓いを宣言する。きむらかつ子とは、沖縄最古の歌謡集おもしろそうしに、勝連や勝連城を形容した「きむたか」に由来し、それは、心豊か、気高い、品位があるを意味し、勝連の高い生活文化を称えたものである。	現代版組踊「肝高の阿麻和利」の公演	あまわり浪漫の会	・現代版組踊「肝高の阿麻和利」の公演